

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-131)、
廃棄物管理施設(106)、MOX 燃料加工施設(2-87))」

2. 日時：令和5年12月13日(水) 10時00分～12時20分
15時00分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他10名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年12月11日及び12月12日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)
- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に係る整理

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設工認申請の対応状況については、次回審査会合における説明の範囲を明確にして、当該範囲に応じた資料の構成や内容の整理を進める。
- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理については、設計基準対象施設との要求事項の紐付け等のために必要な作業とその目的、各作業間の関係性等を明確にして、具体的な構造設計等を説明する全体像を整理する。
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に係る整理については、事業変更許可における新規制基準対応以外の変更事項も含め、各設備の具体的な構造設計等を可能な限り一体として説明できるよう全体像を整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年12月11日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年12月12日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	公開しました。規制庁山口です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日はヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の、
0:00:20	そこに申請について資料をもとに、事実確認を行うものになりますとまず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室から、
0:00:30	フジワラハバサキオノヤマグチ。
0:00:39	達成側管理課が遅れて参加します。あと、
0:00:44	止めるから、
0:00:46	コサクカミデ椎野オオオカアライ。
0:00:51	以上になりますとそれでは日本原燃の方から出席者の紹介。
0:00:56	骨子と本日の議題の構成を説明して資料の説明開始してください。
0:01:04	はい。日本原燃事務局の
0:01:07	日本原燃側の出席者を紹介いたします。
0:01:11	Steeringチームより、ケットク、
0:01:15	ノモト、
0:01:16	イシグロイシハラ。
0:01:19	あとウェブから参加いたしますのを、セガワタカヤ。
0:01:23	あとサポートメンバーといたしまして、オガセ、
0:01:27	当然設計様よりウノ様。
0:01:30	六ヶ所よりMOX及び再処理の事務、事務局参加させていただいてございます。
0:01:37	ご確認いただきます資料でございますけれども、昨日ご提出差し上げました審査会を資料ですね。
0:01:44	こちらの方のご確認をいただきたいと思っております。
0:01:48	それでは説明の方開始よろしくお願ひいたします。
0:01:52	平均濃度でございます。それでは先ほど一番の方のパートからご説明差し上げたいというふうに思っております。それでですねご提出いたしました資料のですね、
0:02:04	前回からのまず変更点でございます。前回のヒアリングでの弘前いただいた事項を踏まえましてですね、
0:02:15	主に書いてございますのが、閉鎖を集めた後の分析のパートの構成を書いてございます。で、具体的にはですね分析のパターン
0:02:27	分析のパートでございますけれども、4、
0:02:32	26ページから後が物流担当になるわけですがけれども、とですね今回その分、

0:02:39	最近は 26 ページに記載した後、まず周辺グループの分析について、引き継がれ、27 ページ、28 ページ。
0:02:52	10、30 ページ 30。
0:02:55	ページ三十二、三十、3、
0:02:59	3435 というふうに 7、
0:03:03	構成いたしまして、36 ページで、全部のまとめと、昔のまとめをまず書くと、それから、37 ページから今度は 10、14 グループ、
0:03:16	御説明をちょっと一連ですね、入れさせていただくといったような、そういう構成にさせていただきます。
0:03:24	ですね、衛藤小のですね周辺グループの記載の中で、例えば岩盤物性の
0:03:34	御説明なんかはこの試験特有の話ですね一条は事業の御説明というところなんですけれども分水浄水にかかるパートにつきましては、ここはですね少し一番全体を聞いたところ、分析といったようなところをあまりちょっと切り出してもわかりにくくなると。
0:03:49	いうところがございますので、ちょっと全体として、こういう分析ができると一体のところを書いているということでございまして、ということ 24 の方はですね、その周辺グループの
0:04:01	説明と、のところでまとめて全体について説明をしてきたと。
0:04:07	いうようなところでございます。先ほどのと同様に、NT942 ページのところをまとめを一旦頭に移していくと、こういう構成にさせていただきます、
0:04:18	そのあとにですね、43 ページのところ、このですね、収入と 24 のそれぞれですね、データの分析を踏まえた資金、基盤特徴とらえた構造のこういう、
0:04:31	警戒事象といったところをまとめてございますけれども、そのですね、他ですね整理の方針についてもですね、今もう、我々分析進めているところでの、
0:04:44	この分析の方針が、それぞれA24 と、相違してるところそれから同様のところといったようなところがこういうふうな頭の整理になりますと、
0:04:56	いたところ、このところで記載させていただいております。これご覧いただきますと、43 ページ、ご覧いただきますとわかりますように、周辺と同様の分析をそれぞれのデータの
0:05:08	ヨリキのデータに基づいて分析はするんですけれども、手順ですとかいったようなところは方向性は同じような分析をやって参りますと。
0:05:18	いったような見通しというところをこれは記載させていただいているというところでございます。
0:05:23	ですのでですね、これを、

0:05:26	これをもとに、今後、肅々と本設置を進めて進めていますがこれまとめて参りまして、次回はですねこの、例えば 42 ページのような、こういうですね、分析の結果というのが、このすべての市場について、
0:05:41	当間奈良部といったような姿になるのではないかという形でちょっと進めていくというイメージで、コウ令和書いているというところがございます。
0:05:50	で、変更点としては以上なんですけれども、昨日のヒアリング、
0:05:57	をいただいたときに、江藤、ちょっとご議論をいただいて、それを踏まえてちょっと直そうというところのところがまだちょっと反映できてございませんので、
0:06:08	そこをですね、今、こういうふうに反映するつもりであると。
0:06:12	みたいなのところのちょっとご説明をちょっと次にさせていただきたいと思えます。
0:06:16	まず 1 点目ですけれども、
0:06:19	藤。
0:06:20	そい地盤岩盤の物性キーの設定におきまして、惻隠検層コウを、一方向です、
0:06:32	ロッカーに小さくあるものを周辺のものを含めてなかったというところがありまして、ちょっとここ、昨日もちろん通り、古事記列で少し地下等の考え方が統一できてないと。
0:06:46	いたようなところがございまして、ちょっとこれも申し訳ない検討いたしまして後方向も同じ考え方で周辺のものも入れる形に整理して、データをご提示すると。
0:06:57	いったようなことにしようと思っております。それを踏まえましてですねこの資料としてはどういう形なのかというと、このですね、
0:07:07	この 23 ページ、例えば 23 ページのですね、
0:07:15	気にしております。清子。
0:07:18	今日このうちですね、グループヒガシヤノD六甲平均グループの北川onフクイコウ及び、ちょっと不当に離れております。江藤オオノ、肥後郷。
0:07:31	それから全中学校についても、追加として、データを追加することにしてございまして、ですのですね 10 ページ目、
0:07:46	ところなんかです。
0:07:50	まず、母集団のデータ使っております。ここにはもう心配いたしますので、同様にですね、45 ページのところ、旧検査の結果の名前が戻ってますけどそちらを振り返って、
0:08:02	それぞれの

0:08:05	タケヤグループの振り分けに相当する部分ですね、ここについてもこの19 ページ以降ございますけどもここにも、訴訟コウノ、周辺のもの、今追及すると。
0:08:17	いったようなものを追記して参りたいと思います。それからですね、19 ページと、23 ページのところですね、このデータ振り分けの考え方が書いてございまして、
0:08:29	今ちょっとご提出してるバージョンでは、園木陽子とH加工と少し考え方を変えているような記載になってるんですけどもここは統一した考え方に振り分けましたと。
0:08:42	ということになりますので、グループの範囲内における、受ける教訓に加えてグループ周辺の機器及び追加のボーリング孔、
0:08:52	ドイスタッフの考え機器をすることということで、もう一つの方針に基づいて、記載やると、というような、キタニアノ改めようというふうに考えてございます。
0:09:04	で、それに基づきましてですね、今回示しておりますAとかBのところが、何か変わるかということこちよっと様々ですね、そういうふうな影響が生じたところですね、ここの記載は変わってこないと。
0:09:18	いったようなことになるというふうに考えてございます。
0:09:21	それが1点ね。それから、表層地盤の方の
0:09:27	北井でございますけれども、こちらですね、少し考え方がですね、昨日県の中でも、イセイセということで、いただいておりますけれども、
0:09:39	ここですね。そうですね。
0:09:42	まず、全体ですね我々頭の整理といたしましては、金、今回埋め戻しの、
0:09:52	そしてその金庫物を相手にしたものであって、こいつが施工の上で、その管理として、概ね見たような感じされてると。
0:10:06	ということは調査としてはあるわけですけども、
0:10:09	その時期とそれから、こちらイトウ無線の見通しも念頭に置きながらですね、25 区域では、まず全然差を一つの母集団として扱うという仮定を置いて、
0:10:22	ここは計算していくかといったような頭になるかというふうに考えております。ですけども、一つとして、与えるのかどうかといったようなことは、そのあと分析でやっていくということで、
0:10:34	先生昨日案の議論でも、私も何をもって判断しているのかが不明確であると、いうことをいただいておりますそういったちょっと我々もしやべり方ガーダーといいますかご説明が少し、

0:10:46	ぐらぐらしたところはあったんですけども、まずこの母集団をどう扱うかということの判断は、我々藤委員の判断の、企業としては、
0:11:00	そのコウ的なばらつきが、このウタのある程度の一定の範囲内にあるということでこれを同じ母集団としてとらえられるというのがこれが判断基準だというふうには考えてございます。
0:11:11	その上でですね、これをサブといいますか補強する話といたしまして、遺産株主で、フジイ0は、平均に近づく請求99年1年と以降で、
0:11:24	見たところ、近づく傾向があると言う実は、それを補強するような見通しを与える事実として、これは申し述べる話になるのかなというふうに思っております。
0:11:38	そういうことを踏まえますと、表層地盤についてのas-isといいますのは、中でばらつきを持つ一つの母集団としてとらえることができるというのが、我々のこの見解になるのかなと。
0:11:51	いうふうに考えているところでございます。
0:11:54	変更点それから、今ちょっと反映できてないところの、修正方針の衛藤。
0:12:03	すいません。先ほどの競争のところはですね、そういうところも踏まえまして、30%、25ページと35ページの記載をちょっと改めて参りたいというふうに考えてるところでございます。
0:12:13	ご説明は前半は以上でございます。
0:12:18	経験、
0:12:19	それで反対シンボについてはから、
0:12:23	はい。
0:12:26	藤規制庁カミデてですね、耐震で、
0:12:31	まず、
0:12:34	7ページなんですけど、
0:12:37	岩石コア、
0:12:40	能、
0:12:41	調査、あと総合評価なるもの以外は終わってると言いつつ、
0:12:46	参考の方に行くと単位体積重量がまだ取れてませんみたいな説明どういう状況なのかっていうのをちょっと改めて教えてもらえます。
0:12:57	前のことでございます。トタン解析自体はこの室内試験で、最終それデータの一环となっているということでございます。
0:13:08	はい。規制庁神です。だから岩石コアを用いた減衰値の測定っていうだけじゃ本当は足りなくて、もしくはその項目として減衰と、
0:13:19	競争しか出していないのが、
0:13:22	足りないってことですか。

0:13:24	前のことがございます。そうですねこちら減衰としての項目として書いてございますので。そうですね。物とし、
0:13:31	がないのでそこをちょっと、
0:13:32	わかりやすくなるといいますかちゃんと正確にご理解いただけるような記載を考えたいと思います。
0:13:39	はい。規制庁菅です。タイトルは追加調査の進捗状況って、下限水と表層だけ書けばいいというわけじゃないですから全般的に追加調査としてどこまで進んで何か終わってないのかっていうのがわかるようにしてください。
0:13:54	案件のことでございます。承知いたしました。
0:13:59	はい。規制庁加来です次 8 ページなんですけど、今後の対応が、
0:14:09	よくわからなくて、まず表層今後の対応がまず二つに分かれてるんですけどこれはどういう観点で分かれてるんですか。はい。味の素でございます。えーとですね、この
0:14:21	右側の方はこの基本基盤モデルの設計方針及び結果ということで、と書いてるんですけども、そこに 3 までの地盤の物性を把握したり、その地盤のデータの把握と、
0:14:36	いうところについて、まだ残っているところというのがございますんでそれを左側に書いてるというところでございます。
0:14:51	はい、規制庁カミヤということは表層については今回でもう全部出し切りっていうことですね。はい。ありがとうございますそのように認識でございます。
0:15:03	はい。わかりました。今後の対応の右側が、
0:15:08	何か不正。
0:15:10	もうちょっと正確に表現してもらいたくて。
0:15:14	ええ。
0:15:15	まず、全部の話をしているのか、今回そのAとG14 は先出してるじゃないですか、その対象はまずどうなりますか。
0:15:25	権限を持ってございます。右側の基本地盤モデルの設定ですね国交は、今、AMG14 も基本地盤モデルについての言及まではできておりませんから全地盤についての全グループについての
0:15:40	ものが、これ今後の対応になるという認識でございます。
0:15:45	規制庁深見です。せっかく次 14 やっているんだから他のグループと、その差分はつけた方がいいと思うんですね 24 は、
0:15:58	これだけです。この部分だけそれ以外は一式出てきますっていう、なんかそういうまず書きぶりにしてもらいたいと思うんですけど、じゃないと全部、また、出てきますって言ったら今回聞く意味なくなっちゃって、

0:16:12	いかがですか。はい。承知いたしました。県ノモトでございます。そうしますとここへあれですねえと、Wenchuan分析のところまでは、A14は関連してございますので、
0:16:24	今回審査会合の欄とそれから今後対応の左側の欄ですね、ここで今回審査会合でいいというようなご説明、それから交代のところではそれ以外が御説明といったようなそういうふうな仕分けの記載で、ちょっと今回そこまでは終わってるといえるような形で、
0:16:41	記載を改めたいというふうに思います。
0:16:47	はい。規制庁神です。その上で、
0:16:51	知事の分析結果終わってます。終わりますって今言われましたけど、本当に全部終わってるんですけど。安全のことでございます。そういう意味ではですね、まだ重水そうですね。
0:17:03	分析としてはアサノデータが、だからそろっていない。非線形の部分だけは、まずは、まだですね完了したというところには至ってはいませんが、
0:17:20	ただここもデータが追記されれば、この傾向であろうというところは見えているかなというところまでは申し述べることができるちょっとぐちゃぐちゃ言いましたけれども、
0:17:33	改善完了というところには至っていないということかというふうには思っております。以上です。
0:17:40	はい。規制庁亀井です。
0:17:42	バンド物性とか、その非線形のところも完全完了ではないんですけどそんな大したことではなくてと思ってるんですなんで、それぐらいのものが残っていますと、ということと、
0:17:55	岩盤の減衰に関しては岩石コアのところだけ残ってますと。
0:18:01	ということがAG14の分析の状況、それ以外、
0:18:06	もう立山それも含めて、次回実績と、
0:18:10	いうところでまずわかるようにしておいてください。
0:18:13	はい、新沼でございます。承知いたしました。
0:18:17	はい。規制庁亀井です。その事を踏まえた基本地盤モデルのさ、
0:18:24	設定方針及び、
0:18:26	結果っていうのはどう、どういう。
0:18:30	どんな説明が、
0:18:32	あるんですかね。
0:18:34	元のことでございます。ですね、この分析のところまででas-isのですね、地盤がありようというのを整理はいたしましたので、それをもとに、設計に用いる

0:18:45	地盤モデルの設定をこういうふうにして参りますというそれを設計に対する配慮として、こういう検討して検討いたしますという方針と、それに基づく結果ですね、江藤結果として、
0:18:59	セキに用いる呉物性は、こういうふうな形で設定いたしますという我々の考えをお示しするというふうなことを考えてございます。
0:19:10	規制庁神です。設定方針というのはどういうものを指すのかよくわからないんですけど、
0:19:19	36 ページにあるこのAのまとめた表っていうのはこれは、
0:19:26	どっちなんですか、分析なんですかそれとも基本地盤モデルの説明の範疇なのか。
0:19:33	前の方でございます。これは分析でございます。
0:19:40	はい。とりあえずは、そういう仕分けとして、
0:19:46	分析だから、この後、
0:19:52	分析でだからas-isの受自治体の地盤というところはこれぐらいだという整理をして、それから
0:20:00	基本地盤モデルを作る方針があるってことですか。それでも、
0:20:05	あれじゃないですか、分析終わっちゃえばそのまんまもうモデルになっちゃうんじゃないかと思うんですけどな。何が必要なんでしたっけその間に、県ノモトでございます。ここで設計の適用を踏まえた判断を加えるのがその次の段階の地盤モデル作る段階だと思っております、
0:20:22	一番大きなのは、減衰定数ですね、これas-isとしてはこういうふうにデマチ下までが分析にはなるんですけども、これも元にですね設計での実際の
0:20:34	適用を踏まえて、これまでも少し議論させていただいた我々、最終的にはもう1 定検ついて、やりたいとかいったようなところですか、ここに、そうすると工学的にですねどういう保守性を持たせようとか、
0:20:49	必要なところがこの次の段階になるというふうに考えてございます。以上です。
0:20:55	規制庁算です。基本人、そうするとあれですか。基本地盤モデルっていうのが設計に使うモデルなんですか。そうじゃないんですよね。なんかそこがまたよくわからなくて設計を見据えてこうするんですって言われちゃうと、
0:21:08	地盤の実態はこうだっていう話とまた何か若干乖離するような感じがするんですか。日本原燃の五島でございます。ここですね従前のですね開放から定義として、
0:21:22	設計に使う地盤モデルを基本地盤モデルと呼んできておましてそれをちょっと変えるとか、

0:21:30	ワダと思ってこのまま踏襲してございます。で、そのこのところの定義はですね 6 ページの一番冒頭のところ疇津谷説明のところでも、
0:21:40	ちょっと書いては思っ、うちから入力地震動の算定に用いる地盤モデルすなわちこれ設計に使う地盤モデルだという意図で基本地盤モデルという言葉は今使っているところでございます。ちょっと名前が、
0:21:53	いまいちだよねっていう話は、確か長谷川管理官からも言っていたいたんですけどもちょっと借りづらくて改正できないというのが今実態でございます。
0:22:02	規制庁亀井です。わかりました。なので、そう思うとこれ設計に使うものですと、
0:22:09	ということですね、分析のところでもうas-isのところは基本的に話が終わるということなんですけど、
0:22:18	そうすると、
0:22:22	何だろう、30、
0:22:26	6 ページがその結論as-isのも、もうモデルもつくれるようなものと、
0:22:32	思うと、
0:22:44	はい、山口ですが教えた切れてしまう。
0:22:48	ですけど、
0:22:51	スミエさんてますか。
0:23:02	それは一線は強いです。神谷さん、野瀬と入れてしまったんですけど亀井先生、聞こえてますでしょうか。
0:23:15	はい。規制庁神です今、私の話。
0:23:18	うまく入ってませんでした。
0:23:21	社長会議室です通信が多分よくなくて、切れてしまってこっちでは、聞こえてない状況でした。
0:23:30	はい。衛藤ノモトさんから、設計に地下使うものですよと言っていたことに対して
0:23:41	分析でも、もはやas-isのデータというのは結論が出ているはずで、そのあと 36 ページなんですけど、
0:23:49	これがその結論なのか、例えばその減衰が何名何%っていう話もなければ、
0:23:58	あとこの間の話だと
0:24:02	ある程度その地盤の断面図みたいなもので、こういう地盤になっていますという話も含めてと思ってたんですけどその辺の反映状況はいかがですか。
0:24:13	元野本でございます。ですね、減衰定数についてはここの分析でいくと、どこまで踏み込むかというところではあったんですけども、

0:24:27	ここですれ一つのものを何か決め切ると、ということじゃなくてちょっと次のですれステップで、このデータを用いてやりたいということで、
0:24:38	ここではですれas-isとしては、
0:24:44	こういう形であると言ったようなところに、すいませんちょっと件数に関してはここで娘ところはちょっと止めたいかなというふうに思っているところがございます。
0:24:55	校舎のですね岩盤物性の方でございますけども、これは岩盤の方の不水準で例えば 36 ページですと、このですね側道。
0:25:05	速度構造について、これは協会も含めてアカセっていうのはこれ平均化した値ということで、こいつをas-isの沸石しますと、いうことは言っているつもりのものございまして、
0:25:21	データとして、
0:25:25	そうですね計算するときの量としてはこういうことかなと思って今書いているものでございます。以上でございます。
0:25:32	広井です。
0:25:36	規制庁神です。もう管理官と浜崎さんの声も聞こえていると思いました。その 36 ページとかで管理官、浜崎さんから何かあれば、
0:25:46	真崎にその話をしてもらってもいいんですけど、
0:25:53	規制庁の長谷川ですけれども。
0:25:58	ちょっと別、
0:26:01	全体の流れがわかってないんで、すごい細かい話だけ言っちゃうと、
0:26:07	Aの岩盤物性の値でちょっと気になったのが、表層の部分。
0:26:13	23 メートルより上のやつで、左の三つぐらいのデータっていうのは、
0:26:19	有望視。
0:26:22	ちょっと、
0:26:23	これ使っているのかどうかよくわかんないで、単純に平均してるんで、これはちゃんと吟味してもらいたいですっていうのが、
0:26:33	ですと。
0:26:34	それから減衰のところで、横棒の要は一定値みたいなのが、だから、この一定値多分出てこないんだよね。
0:26:46	辨野でございます。これは同定の丸井生データの一環だというふうにご我々とらえております。これデータからじゃこれだからどっかに考察があるわけね。
0:27:00	この一律になるような根拠を持ったデータがあるってことね。いえ、衛藤でございます。これは同定の結果でございますのでリニアとバイヤーだから、それがだから、今はちょっと、

0:27:12	このページの話で言ったけど、これ前のページからずっと繋がってる話を言ってるんでしょ。はい。
0:27:19	だからもう 32 ページの、
0:27:21	ところから、地震観測記録あったら、
0:27:24	もうそんな、
0:27:27	あれだし、このリニアとバイリニアも計算値なのか、何なのかもよくわからない。
0:27:34	はい。リニア梅林アノアノaマツダから市立のやつが、ここは同定結果だとか言って言ってるけど、同定結果も何も地震観測記録のところだっが入ってるじゃん。
0:27:47	これはちゃんと根拠あるんですか。
0:27:52	網野でございます。ちょっとお答えになってる感じで、ここに、東北の感覚では、今まで皆さんがとったデータから見て、はい。
0:28:02	周波数によらず、元推定値っていうのは、そんなものは、今まで 1 回も見してもらったことがないと言ってる。
0:28:14	前のことでございます。ちょっとすみません、誤解がありますが前回までのこのですね、想定のお説明同定ってなんですか。
0:28:26	観測記録に基づいて、この減衰定数をですね、だから観測記録に基づく、と、一定値っていうのが導き出されるわけですね。
0:28:36	観測記録を基にですね想定するときに、その減衰の形というのは、まず最初に仮定を置いています。それが林野型場合ナガター一定だったと。
0:28:46	いやこれは前提条件として、仮定を置いてですね、なぜかっておかなきゃいけない。それはリニア行って、鳥羽委員やそれはいやだから、なぜかとおかないといけないのが、今まで目作ってきたんだけども、結果、
0:29:03	ちゃんとこれからするわけだから、なぜ、最初に仮定をしないと減衰が出てこないんですかって言うのが、そこは僕はよくわからない。
0:29:17	だから絶対に基づいて、そっからちゃんと導き出してくださいねっていうのが、そもそも科学的技術的にやっていくという世界で、まずデータが主なんだと。
0:29:31	はい、おっしゃる通り、最初から家庭がなぜ入っている。
0:29:35	それがこの世界の常識なんですかっていう。
0:29:38	そういう意味ではですね、御社の通りあるヒラタ観測データに基づいて直に同定すると、ということなんですけれども、同定する時のその計算条件として、
0:29:49	まずそのリニアを前提とするのかアマヤに締結するのか、一定するかというのは、こちらは最初に、やはり条件を決めて、と協定するという

	のが、一般的なやり方であると、我々、データがなくても、データがまるつきり何もなくても、
0:30:08	減衰は決められるってということね。そう、そういうことは言ってごさいません。わかった、それが常識なんであれば、それが常識であることを、
0:30:19	ちゃんと説明してもらったらいいい、いいです。ここは戦いましょう。以上、
0:30:25	以上、いえ、もう次以降、
0:30:29	それで、もうちょっと私はもうもういいからだから、時間がないから次に進みましょうという、僕は別に細かい話言っただけだから、大きな流れがあった方が、
0:30:43	はい。規制庁浜崎ですそう。
0:30:46	えっとですねまず 20、32 ページの話ってというのはこれ前までは説明があったんですけども、贈呈するにあたっては何らかのこのモデルをば考えなきゃいけないということで既往の文献に従ってリニアとか坂一定っていうものを、
0:30:59	はい。適用してみましたよってただ位置付けなんですね、その説明が今回抜けちゃって、やはりこの結果ありきになっちゃってるんで、きちんとそこを説明してくださいってのは 32 ページ。はい。はい。それから 36 ページに関して、これ、モデルのまとめると、
0:31:14	いう話なんですけども、先ほど管理課言われたように、同じ例えば減衰しても一定件数が出るわけじゃない。はい。で、PS 検層とか等を踏まえると、あんまり減衰しやすい形を傾向見られないわけなんで、
0:31:29	基本、地盤モデルとしては、やはり周波数依存で考えるってのは結論じゃないよ。
0:31:36	この一定っていうのは意味がわかんないっていうのが、次の話なんですよ。36 ページの段階では、さっきの話と違う、すみません、古作ですけど。
0:31:44	何か、
0:31:45	話が、それぞれが混乱しているんですけど、
0:31:50	私はどちらかというと原燃の
0:31:54	考えてることは理解はできて、
0:31:57	36 ページ別にこれに特定しますなんていう。
0:32:02	ことじゃないと思っていて、
0:32:04	ただ、現実の理解としてはこうですって言えばいいだけで、その時に、今、浜崎さんが言っていたように、減衰定数としては、
0:32:16	こういう特徴がありますと、いうことを言えばいいんですけど。
0:32:20	ええ。
0:32:21	と書いてる文章がそうになってないっていうのがまずよくなくて、

0:32:26	物性値の方もその平均化した値って言われてるけど平均化した値って何だろう。
0:32:33	ということでこの地盤はこういうものですっていうふうには言わなきゃいけない。
0:32:38	そこが書かれてないと。
0:32:40	ということだと思いますし、点検についても評価がカノウて、
0:32:44	評価したんじゃないかねえのかよっていう感じになっていて、先ほどまだデータがとかっていうような話ありましたけど、ある程度の見通しを言わないところで説明が他区としてしたということにならないかと。
0:32:57	いうふうに思います。ちょうどハセガワですけど
0:33:00	まだ減衰減衰定数に戻ると、
0:33:07	先ほど言われたフィッティングでの同定とかっていうので、
0:33:10	そういう結果は出てはいるものの、
0:33:14	それ全体としては、先ほどのPS検層なり何なりを踏まえるとここだと思いますと言えばいいけど、ということだし表層もう
0:33:24	タダ物性値って書いてあるだけで何言ってるかわからないと、ということなんじゃないかなとは思っています。
0:33:30	以上です。
0:33:32	規制庁の長谷川ですけど、おんなじことを言ってるのが違うのかわからないんだけど、このページを 36 ページと 37 ページを見ると、
0:33:42	36 ページをの話をしていて、次からが、G14 グループの話になるとすると、これがまとめになるんですね。
0:33:53	だから億劫らが注文したまとめの方法とかまとめのイメージと、まず違うんですと。
0:34:01	いうだこれは僕らにしては、少なくとも、
0:34:06	この周辺の直下の地盤がこんなイメージになってますという結論の見せ方とは多分違う。
0:34:16	なので、コサク空の話がそコサクはこれでいいと言ってるんだけど、これはすいませんコサクですけどうん、これでいいとは言っていないはいいっていうのはイメージ、イメージ、イメージとしては理解は、いや、言葉の話でそうになってないよ。
0:34:33	僕らの話からすると、今のこのイメージがそんなにおかしくなければ、
0:34:41	裏のイメージ的には 36 と 37 の間に、結論を、
0:34:47	が入ってこないといけないのかなあと。
0:34:53	は、

0:34:54	全部でございます。理由は、as-isとしての結論がここに書かれるべきってところがこれ、結論がきちんと明文化されていた。いや、だからまずは欲しいんですよ。
0:35:06	で、これを注文したはずなんですよ。
0:35:10	すいません三宅さんを、私、これずっと正しいと思うんで、ちょっと私の指示が悪かったのがあるほど、それで、後で我々のイメージは出します。
0:35:22	皆さんがもう書いてる図の中で入ってるんでそれが1枚も入ってないので、すごい気になっておりますはい。
0:35:30	深さ方向があって、Vsがあって、減衰で減衰は又吉層はどう考える。
0:35:36	深さ方向のVsがほぼ、これ、こういう分布になります。はい、そう、そうなります。はい。その表のような、違う数字が入っていたり、
0:35:48	考え方になる可能性もあるんですけど。はい、その表の意味。
0:35:52	はい。見せちゃうわけです。
0:35:55	探せるノダね、許認可、
0:36:04	はい。
0:36:08	規制庁カミデですけど天然の内容の構成を、
0:36:13	確認したいんですが、いいえ。
0:36:19	細かいんです。
0:36:25	規制庁カミデですけど、今、音声聞こえてますか。
0:36:29	大丈夫ですよ。どうぞ。
0:36:32	はい。原燃の対応の方向性なんですけど、先ほど古作が言ってたように、あとは今の原燃が書いているように、アンドウ、
0:36:42	あまり結構特定せずとりあえずデータを並べるだけというのが、今回の会合なのか、管理官が言っていたように、ある程度もう一步踏み込んで、
0:36:53	この辺が確からしいこの辺が、実態表してるんじゃないかというところにもう一步踏み込んだ説明までするのか、そこの方針だけまず聞かせてもらいます。どっちにしますか。
0:37:04	に上げてますけどもすいません、私の気持ちは一本化の甲斐会長のつもりでくると、不足していたというご指摘がありましたので、ここを一步踏み込んだこと書きたいと考えております。
0:37:19	はい、規制庁カミデとりあえずわかりました。他、この関係で、なってなければ補足です。ごめんなさい。一步踏み込んだっていうそのどういう、
0:37:29	その次のページにどういうことを書くのかっていうのは、本庁の方で、少し具体イメージを共有したいんですけど。

0:37:38	それがあつたにしても 36 ページのこの下の段の日本語で書いてあることってというのは余りにも、分析結果としておかしいと思ってますので、その点もas-isとしての表現にしてください。
0:37:51	以上です。はい、現状でございます。承知いたしました。
0:37:56	はい。規制庁野崎です。今、36 と 37 現状の間に入れる。
0:38:01	モデル、グループとしての採取、イメージですね追加のイメージは、例えば今申請書の中にもありますけれども、基本地盤モデルという表があります。
0:38:16	はい。解説公認申請における、こういうイメージの問題、縦軸が深さで、横軸に岩種であったり、ローであったりVsであったり、
0:38:28	数字が実際入るんですけれども、入らないものに関しては、考え方になることもあり得るんですけど、
0:38:36	これが
0:38:38	グループとしての 3 歳、今回の最終結果というのが、イメージです。それでよろしい。
0:38:45	はい。
0:38:46	すいません。衛藤。ちょっとウエダの向こうで聞いている 6 月にも共有したいのでちょっと言いますけれども、とですね昨日ヒアリングいただきました佐伯タケノ 08 の 38 ページの第 1 回のクボにおけるコジマモデルの表がございます。
0:39:03	それに相当するようなもので、今回as-isどういう解釈になるのかというところのものをイメージと、こういうイメージのものをミズターウノであるということをおっしゃっていただくということでございます。以上でございます。
0:39:21	それが一番
0:39:23	施設ハバサキです。あとですね、その表がメインなんですけども、その表をよりわかりやすくという観点なんですけど、
0:39:30	例えば、今回の会合資料で言う 31 ページの、
0:39:36	真ん中が、これはAですかね、そういう地層区分の、
0:39:42	真ん中ですね、真ん中のような、Aですからですね。
0:39:47	へえ。
0:39:48	周辺グループの越智層区分のわかる断面図。
0:39:52	それをこの表の隣に添付していただくと、より全体のイメージが掴みやすいということですよ。
0:40:01	はい。現状でございます。はい。31 ページの真ん中 9、例えば旧王子ウエダた中央値、AAAのAグループの直下の地層断面図です。はい。

0:40:17	藤。日本原燃の大賀です。若生が5月です割り込んですみません。今ハバサキ単位イメージ持たれたのってのは28ページの右上にあるような、周辺の南北の断面切ってるんですけどこれをモデル、
0:40:30	それから今回の資料の結論のところにも合わせて表と一緒につけるといようなそういうイメージでよろしいでしょうか。はい区長浜崎です。青井さんの言う通りです。
0:40:39	はい。了解いたしましたありがとうございます。
0:40:47	ちょっと時間があつたんで規制庁アオキですけど、ちょっと話題が違うんですけどいいですかそれ何点か指摘したいんですけども、まず、伊井です。
0:40:58	6ページの始まりのところですね、今回の説明の、
0:41:05	文章が①と②が、必ずしもこの今回の内容になってないんじゃないかって、①については、けども、
0:41:18	この資料でいうと、2ポツの話ですよ、データ取得及び信頼性の確認の話、2ポチの中で今回やられてるわけなんで、
0:41:27	いや、今の①の文章これ信頼性の確認なんて全然入ってない。
0:41:32	だからその趣旨、内容に沿った、
0:41:37	文章にしてくださいということが一つで、②についても同様に、追加データを含め云々って書いてあるんですけども、これに関しては丸さんとアノサンポちと4ポチの話だと思います。
0:41:48	データの適用性と分析で分析の中はAとGへと。
0:41:53	24日、ごめんなさい、24。
0:41:56	について今回、分析結果を説明しますと、
0:42:02	いう構成になるのが6ページだと思いますけれども。はい。よろしいですか。はい、承知いたしました。そうですね。今回ご説明することもちょっと大分とか、が今回
0:42:12	わかるような記載に改めます。はい。はい。千原田崎です。あともう1点だけちょっと、さっきの話載せまして19ページから既往のデータで、既往のそのPS検層のデータで使っていないものを、
0:42:27	埋めますというような観点で、そうすると19ページからの速度構造のところも若干変わってくわけですよ。
0:42:35	入ってない。
0:42:36	調査法の話が入ってくるということで、そうですねはいポツのところにはなりますし、この後ご提示するその構造のデータも全部追加されていくということになります。19ページのその考え方も変わってくるんですけど、

0:42:50	それで、23 ページまではいいんですけど、データの敷地への、すみません。はい。すみません。規制庁、磯野 23 ページの、
0:43:02	既設コウも含めますっていう話は、
0:43:06	一旦排除せずに並べて
0:43:10	まず、そのグループに含めるべきかを、
0:43:15	主査を選択するっていう話なのか、もういきなりもうとにかく平均化のナカマに入れちゃうのか、その辺がちょっとよくわかんなかったんですけど、どういうつもりですか。
0:43:27	全然ノモトでございます。一旦グループに入れた後ですね、そのグループに当てて、入れた後の分析の中で、それ、それぞれのボーリング孔を平均化して良いものかどうかという分析を、
0:43:42	そのあとでやっていくことになりますそのナカ分析するアノナカマに入れるということにこのためにはなるということですので、その近傍のものもその中に入れていくということをここでは説明することになります。
0:43:56	と、一旦ナカマに入れるっていう表現が何か、
0:44:02	どう思っているかお互いあれなんですけど、いずれにしてもただ近いからといって、いきなり平均化の対象にするんじゃなくて入れていいものかどうかはしっかり、
0:44:12	見極めた上で、入れ、入れるなり、
0:44:18	他で代表できるんだったらもういいですっていう話も含めて入れないの話をし、まず考えていくってそういうことですか。
0:44:26	検討させていただきます。少し具体的なイメージで申し上げます。この断面での判断としては、とですねそれぞれ
0:44:34	グループに、近傍のものも含めます既往今後、
0:44:39	事になる。
0:44:43	行かれる。
0:44:44	昨日のヒアリングでも少し申し上げましたけれども、近傍にはあるけれども、断層間人トイメンにおるということで、明らかにその地盤のですねありようとして、異なるものの規定になってると。
0:45:00	思うのは、それは最初からこれは
0:45:08	流れている。
0:45:11	いたします。
0:45:13	ですけれども、比較的近傍にあって、同じ比較的同じ地盤の上に乗っているとされるものについては、まずはグループ
0:45:21	で、
0:45:22	そのあと、そのボーリング
0:45:24	具体的なですねがん地質構造を確認して、一緒に

0:45:30	はい、わかりました。
0:45:32	そうすると、違わなければとりあえず入れるってことで、そうすると、
0:45:36	PAのところ、家は直下が潤沢なのでD3とか入れてませんでしたけど、そこの考え方とは若干違って、直下なりでいっぱいあっても近いものも仲間に入れてましてそういう方針ですと、
0:45:50	現在もございますその通りでございます。
0:45:54	はい、わかりました。浜崎さん。
0:45:56	はい。室長山崎です。で、23 ページまでで一た敷地への適用サンポ地の内容がですね、2425 で
0:46:06	表しがこう説明されていると、いう理解してますで、20、25 に関してはこれ表層の話なんですけど、
0:46:15	24 の話が、これ岩盤物性の話なのか左下はこれ減衰の話ですよ。
0:46:23	左下のエザワ検査結果ってこれ、
0:46:25	減衰の話です。はい。はい。要は、はい。
0:46:30	適用性の件、適用性データの適用性ということで、まずやっぱり岩盤物性については減衰であるのが減衰については必要性についてコウという、
0:46:41	構成になるのかなと思ってるんですけども、特に 24 ページがどっちつかずになってるんで、そこは、
0:46:49	そうですね。うん。下の方でございます。ここを我々資料作成しながら、ちょっと困ってこういう構成になったというあれがございましてですね。
0:47:00	何かと言いますアノをボーリング掘ったえさ検層、えさ検層でも使いますし、LERF計測してのがまずかったんだけど、それが、
0:47:12	入れるかどうかの検討というのは、その下のですね、事実、
0:47:17	元に判断いたしますハタは同じになると、ということなんで、それを繰り返し繰り返し繰り返すというのは、ちょっとノイズふやしてしまうかなと思ひまして、同じPS検層としてのデータとしての判断、同じ判断になるものは、少しまとめた形でご説明しようとする、
0:47:33	えっとですね、多分 19 ページでのところでいきますと、このケース検層とエザワ検層が、同じグループで判断しなくちゃいけないということで、そういう意味でですね、とわざわざすみません何かをわかりにくくても、
0:47:47	入れないけど 19 ページだったらこの試験ごとにはですね、A1 とかいうとかB率とか、ナンバリングしてるのは、それを後でちょっと整理した形でご説明したいという意図でここはまず、
0:48:00	はい。室長ハバサキです。この 3 ポチっていうのはつなぎのところなんですね、次の 4 の具体的なデータの分析に繋がる場所ですね。はい。

0:48:09	今野さんの説明が 24 ページの図だけでわかるのかどうかというところで、あと、
0:48:17	地盤モデル構想構造についても、
0:48:21	さっきの基本で使っていないものも含めるような形で、若干これ変わってくるんですよ。
0:48:28	無理だね。
0:48:29	県でもこれ与那嶺は変わりませんけれども、他のところは、
0:48:35	そういう説明がここのつなぎのところは必要かなと思ってて今例えば 3 時間仕組んだとか、野本さんの趣旨がこの 24 ページからは読み取れないんですけども、そ、これ、
0:48:49	今の趣旨が全部入ってるということでもいいですか。20 ページ。いや、よければ
0:48:55	もうこれでよろしゅうございますか。濱崎さんおっしゃっていただいているのはですねと、この 4 日野ドイに結びつくものなのかが全然ちょっと溶け込んでしまってわかかわからなくなってるよねとおっしゃっていただいているんだと思いますので。そうです。
0:49:18	わかんないと。
0:49:33	いかがかなという
0:49:34	けども、
0:49:36	はい。はい。義務づける道この①だとかそういったところも関連してですねある程度想像つくんですね。ですけど、綺麗に 4 ポチに繋がってないなというところなので、
0:49:49	大きく判断するところではない。具体はもう次の 4 ポチで見てくださってことになるんですね。
0:49:58	もう少しできる範囲でご説明をクリアしていただければと思います。はい。承知いたしましたちょっとわかりやすい記載を工夫を、今アイデア出てないのも含めてです。
0:50:09	我々の方でちょっとプレッションして、終わりということをちょっとやりたいと思います。はい。
0:50:15	全体的な話として後私細かい話ばかりなんで、全体的な話としてはハバサキから以上です。
0:50:24	規制庁、上出です。
0:50:27	あんまり細かい話もするつもりなかった。
0:50:30	がんバーン物性についてはさっきどういうものを入れるんですかって話だけで私はよかったです。アオキ。
0:50:40	成長側から丸誠の話なんか聞きたいことあります。もう大丈夫。

0:50:46	はい。特になければ、土岐、金土肥清家清のところ、29 ページですけど、セトルを比較するとき、建屋の一次固有周期をもって、
0:50:58	あるんですけど、これって
0:51:02	スロッシングとかダンパー使ってるそうともいけないんじゃないのって いう気もするんですけど、ものに応じて、ちゃんとそのクライテリアは
0:51:12	判断しますっていう話なのかすべからく一次固有周期なのかっていう考 え方を教えて。
0:51:20	はい。金城でございます。ここはそうですね相対的に見てタケノ紀子優 秀作で判断しようという、市の判断しようというふうに思っておりました。
0:51:37	なぜならば、わかりました。今のぼけに対するなぜならばお答えできな いってことは、この辺りちょっとそれどうお答えすることあるかなというの はすいません今ちょっとお考えください。はい。
0:51:52	はい、規制庁アガツマアノ。
0:51:54	答えになった。
0:51:55	西郷で困るだけ。
0:51:57	オカ非線形性は大丈夫ですか。
0:52:04	はい。特に後継ぎ減衰の方ですけど減衰は、
0:52:11	ナカザワって話はもう大体 7 月なので、特別今、私から確認したいとこ ろはないですか。別所袴田先生。
0:52:31	相場です。減衰ということでもないんですけど、26 ページに書いてある ことと先ほどの
0:52:41	と、36 ページですか、下リンクしてないような気がして、
0:52:51	やはり 26 ページが目的なのであればそれに対応してるのかっていうの を示すっていうことじゃないかなと思いますので、
0:52:59	整理をしておいてください。はい。元ノモトでございます。はい。そうす ね着目点に応じた分析結果はこうであるという作成だけ後アノと、次に ならなきゃいけないということだというふうに思いました。
0:53:12	荒田。
0:53:13	いいよね。
0:53:16	はい。規制庁菅です。あとそういえばあれですね。
0:53:20	32 ページだと、
0:53:23	さっきも話あった周波数依存性なしの減衰の赤線がこう引っ張ってます けど 34 ページに行くとなくなってるというのもよくわからなくて、アノな くていいとは思いつつ、どういう考え方なんですか。
0:53:39	元の方でございます。えっとですね、34 ページのところ、

0:53:47	アノを書いてございますが、これその分析に必要なぜ、分析でここ左側書いてございますけれども、この分析の時に、使うデータだけを伸ばして書いてるといったような作りになっていると。
0:54:01	いたようなところになってございます。
0:54:05	駄目です。
0:54:07	規制庁上出です。
0:54:13	うん。この辺はさっきも話をしたんでは、細かく感じないんですけど、次、そのあと表層のところなんですけど、
0:54:24	表層は、
0:54:26	今日さっきもお話ありましたが、35 ページのですね、やっぱり左し、右下の図、
0:54:35	なんですけど、
0:54:38	既往の、
0:54:42	1990 年以前、青丸の深いところですね、これ。
0:54:50	追加のデータ取れなくて、まっすぐ好転がおりにてるんですけど、一方でその左側の文章を見ると、各施工時、いずれも深度依存を示すってなってるんですね。
0:55:05	結構この大事なポイントはしんどい図を示してないのに、なんでこういう行きなのかなあとと思うんですけどそのあたりどう考えてます。
0:55:14	県ノモトでございます。確かにですねこの 1990 アノコウアベスミエと青丸の方が、確かに今データ転送性でこういうふうになカザキのアノ店になってると。
0:55:27	いうことであってで、ちょっと相対的に見て 1 イソダということを書いてはいるんですけども、ちょっとそこに対してどうなのかということの考え方先ほど申し上げたように、個々のデータ点数がちょっと少ないがための、これあらわれじゃないかと我々は考えておるわけでございますけども、
0:55:45	そういうところをちょっと、ちゃんとわかるように書くのかなというふうには思っております。以上でございます。
0:55:52	規制庁神です。少ないからこうなってるんだと思うんですけど、でも結局追加で取れなくて、じゃあどうすんですかって話なんですけど、少ないから仕方ないですね、全部平均してあげますってそういうことですか。
0:56:06	少ない。そうですね。ありていに言うとそういうことですくないんだけども傾向としてこういう傾向ですよねと。
0:56:14	今見えているDたのですね、ばらつきはその時設計の中ではその設計で考慮すべきばらつきとして扱うということになりますといったようなことなんだというふうに考えてございます。

0:56:27	はい。規制庁、水間の考え方はわかったので、オカ規制庁側からもう少し確認しつつ答えが、お願いします。
0:56:42	はい、規制庁上津バックになれば私の方からは、
0:56:50	オカ 24 として何か確認したいところありますか、規制庁側から。
0:57:02	g中よ。
0:57:05	次 14 から後は、まず A のところを、
0:57:08	ちゃんとしたことによって、同じようになるわけだから、ここはまず知らない。
0:57:16	今回 90 っていうのも、一通りは、先ほど
0:57:19	この辺間に合わないんですけどもうやめた方がいい。
0:57:23	別のことをまずちゃんと集中してやり終わった方がいいと思います。
0:57:30	次 14 を出したからといって、何のメリットもないわけだから、まずは、ちゃんと周辺のグループをしっかりと、あと数日しかないんだから、まずやって、時間が余ったら 44 同じようにしてやればいいんじゃないですか。
0:57:46	ちょっとここは検討させていただきます。いえ。うん。
0:57:56	はい、規制庁かミズサキ 14 とかいいですね。
0:57:59	あと最後、43 ページとかっていうのはどう、どうしますかっていうか、何だ、これを示すことによって、
0:58:09	何だろう、次の会合でこういうところが説明しますよっていう表なのかと思うけどそうでもなくて、
0:58:17	なんか、もともとこの表で説明して趣旨みたいのもちょっと説明してもらっていいですか。技能でございます。
0:58:24	報告のここまで説明で 24
0:58:28	で、
0:58:29	渡説明してるわけですけども、その他のですね残りの地盤についての分析のですねたどる道筋といいますかやり方というのは、どの、ここで示したものと、
0:58:44	同じものをイワモトというのが、こういうふうな形になりますので整理したものでしてこの結果といたしまして、時事を呼んでやっていたのと同じ手順を踏んで、分析をするというふうに皆分類されるので、次はですね、ステージに沿って、整理した結果を、
0:59:01	ご提示するということかということでやり方まではここから先、
0:59:11	はい。規制庁亀井です。だから、ここで言いたいのはプロセスとしてはもう次 14 も含めれば、J14 で全部紹介で聞いているのであとは結果示すだけですってそういうことが言いたってことです。
0:59:24	前のことでございます。はい檀国井の世古です。

0:59:30	規制庁の長谷川ですけど、44 ページは、大分、我々の考えと少し違ってると。これは小中さん。
0:59:38	だから、相変わらずここが多分ずれていて、なぜ、
0:59:44	まずas-isのモデルをしっかりちゃんとやりなさいと。
0:59:47	言っているところがまだあんまり消化できてなくて、as-isのモデルと、次の話っていうのはもういわゆる解析だとか、
0:59:57	設計だとか設計のために解析をしないといけない中で、様々なプログラムととかの、
1:00:07	何て言うのかな。
1:00:08	特徴だとか、いろいろなことを踏まえて、いわゆる工学的モデルになるわけですよ、地盤物性としては、工学的なモデルと、もろもろの解析上の都合だとか、
1:00:20	いろんなものが配慮されていて、どんどんどんどんas-isから少しずつas-isを元に作っていくっていう意味合いが強いんだよね。
1:00:30	なんだけれども、ここで改めてこの箱の中が非線形をやるだとか地盤物性のばらつきを設定するとかっていう、そういったことが実はもうところ、
1:00:42	うん。
1:00:43	それはas-isのモデルの中で、
1:00:47	ちゃんと見ておくべき。
1:00:49	ものかなと思っているんで、ちょっとここは議論の余地ありますね。
1:00:57	気がしています。
1:00:59	はい。議員の方でございます。的にその工学的な判断に属するところをここに切り出したつもりではあったんですけど。そうですね。
1:01:10	ちょっと我々もは、もう一度再精査いたします。
1:01:13	工学的なばらつきって何。
1:01:16	加来そうですね。物性のばらつきはデータが出てくる話ですので、そういう意味では出たから、自然に出てくる話と、
1:01:24	いうところかなというふうには思います。だからそういう意味では、as-isの中で、全部ちゃんと考察を終えておくっていうことなんだと思います。うん。そうですね。
1:01:37	あれ、ちょっとそうですねばらつきはそういう形にしています。はい。いやそうじゃなくてだからばらつきはそういう形でたら何でもね、全部について我々は言わないといけないから、だからずれてるって言うわけ。だから相変わらずas-isのモデルが、
1:01:53	どのような位置付けになってるかっていうのを理解しない限り、最終的に我々とはちょっと違ってるとんじやないかと。

1:02:04	なんじゃないかと思うんですけども前のページを自重できるかできないかあるんですけど我々が言ったところだけ直すなんて、そんなやり方もさ、
1:02:17	ゆ言わないで欲しいんだね自分たちでちゃんと考える、こっからもう我々何も言わない、大丈夫。
1:02:24	金利のことでこちらない。
1:02:27	申し訳ありません。
1:02:30	日本のケットクですけども
1:02:33	前のページ、次回の会合で合図の概略というか、イメージを出して、それをそのas-isに基づいて、工学的モデル、要は設計の解析に使うのをどう、
1:02:45	売っていくかっていうのをこの枠の中に書くべきであって、またこの1からですね、
1:02:51	向こうの物性値のどうのこうのっていう話でもそこにはas-isがありきで、次の話っていうのをちゃんとここの中に記載するっていう理解いたしましたのでちょっと修正させていただきたいと思います。以上です。
1:03:08	規制庁カミデサトウ、44 ページだと、分析結果なんか瀬古アノ分析だけ最初提示するって言ってましたけど、
1:03:19	そうじゃなくて、これを含めた、さっき言った 36 ページのまとめなりその一方、進んだas-isの状態っていうか、
1:03:30	それが全体では一通り出てきますっていう説明になると思ってればいいですかね。
1:03:35	はい、網野でございますその通りでございます。
1:03:40	はい、規制庁アベスマートアダチ 14 が出てくるかどうかで大分なんか、
1:03:45	イメージが違う位相、すいません。小阪です。43 ページ、先ほど少し触れられましたけど、
1:03:54	まじ 14 が出てないでも違うとは思いつつですね。
1:03:58	今後のやつを単純に同様の整理をしますと言われても、それでいいのかっていうのをデータ見ないと何とも言えないんですけど、これ出す意味本当にあります。
1:04:07	元のことでございます。そうですね特異なものが出ませんということだけ言ってるというように、これは等しいのかなというふうには思いますよ。これやはりですね、今、今までの話を総合すると、
1:04:20	事業できたとしても、次回、こう一色つけた中でちゃんとお示しする話で、一緒かどうかは別に、答えでわかると思いますので、ここでは、
1:04:33	まだ燃料で終わらして次なんか走れるわけじゃないかなという気がします。少し、最後、再検討させていただきたいと思います。

1:04:42	はい。補足です。次回にしっかり説明してくださいっていうのは、これまでもストップですので、その方向で整理をしていただければと。
1:04:52	以上です。
1:04:56	はい。規制庁深見です。私からも耐震関係一通りこれで以上ですけど他規制庁側からありますか。
1:05:07	はい。規制庁カミデ特になれば、
1:05:11	まとめ最後にしていたばかりですか。次の、
1:05:21	はい、宮でございます。それでは 72 ページ以降に装置のシミズになります。
1:05:28	基本、青字のところが前回から修正をさせていただいたポイントですね。
1:05:34	まず 73 ページは、
1:05:36	イダ分として、大枠を語るようにしていきますよ。前回
1:05:43	審査会合の指摘事項を踏まえていろいろ書いていましたがそのパートは、後ろの方のパートに預けるという意味で、概略の記載に整理し直したということでございます。
1:05:56	74 ページは、今回やるのが、2-2 のところですね一番最後の今後の説明というところ、
1:06:06	整理方針をお示しをするというところで、それを踏まえた、次回以降は、ボックス説明グループ 1 に関係性評価等の説明をしていきますよと、いうことで整理をさせていただきます。
1:06:20	75 ページからが設計説明文で説明グループの設定になります。76 ページ、ここは前回の審査会合での指摘を踏まえて、
1:06:32	大きく 2 点、やることの方を目的ということプラスそれに対してどういうことをやってきたのかと。
1:06:40	いうことを整理をさせていただいて、77 ページ以降につなげるということで、整理をさせていただきました。
1:06:48	77 ページの青字は赤い法人も 7078 のところ若井法人も青字で残そうと思ってます。
1:06:58	徳田クボアノ、変更はしておりませんということで変更しなかった、いたりが 78 ページで指摘終わったところを直せないところが 1ヶ所ありまして、
1:07:08	説明グループさんのところで、括弧書きで蒸発乾固云々と書いてありますが、これ前回、ちょっと具体的な田井農事故状態というよりは、重大事故等の
1:07:20	の対象に用いる設備ということと対策支援に必要な設備という関係で整理してはということもあったのを、私が直し忘れてましたすいません。

1:07:30	はい。あとは、70 頁 80 ページ以降は、
1:07:43	11 日にお出しをしている資料の状態に合わせて修正をさせていただいてます。
1:07:49	80 ページを見ていただきますと、
1:07:53	前回から直したところですね今大井になってますこれは黒字に最終的にはさせていただいて、アップロード赤、赤がSA関係の関係の整備ということで最終的にはオオキ、
1:08:07	はい。
1:08:10	それぞれが説明グループの関係のパートでございます。88 ページからが、対処に廃棄物管理施設の外部処理に関して説明グループ一井の構造設計に係る対応状況ということでございます。
1:08:25	はい。89 ページのところは、まずは、竜巻のところ、2 月 3 月の審査会合での話を後ろに書いておりましたが、これを前に持ってきて、全体の流れの中におさめたと。
1:08:39	ということ。
1:08:41	あとは、
1:08:43	丸の三つポツの三つ目ですね、再処理廃棄物管理の説明グループ 1 の不測定で継続して検討していくことが何かと。
1:08:52	いうことを、代表選定も踏まえたような関係性のところを定義をして、
1:08:58	記載を拡充させていただいたということでございます。
1:09:03	9911 は、後ろの方にあったやつを前に持ってきたということでございます。これはスケジュールページの頭の方にあります説明グループ 1 の関連条文を対象としているということを明記させていただいてます。また、
1:09:17	90 ページの下の表の下ですね赤字のところの会説明がなかったので、衛生関係のことを示してます、いうことを書かせていただいているということでございます。
1:09:29	はい。92 ページ以降が舞台の説明図になります。92 ページは、
1:09:38	前回からの追加をさせていただいてます。ただ共通事項、12 月 6 日の日ヤノ時に、ご指摘を受けてた、この図で何がそもそも説明したいのかと。
1:09:51	いう津波の 40 メートルのところ、以上の
1:09:54	上におきますというところのための説明書の関係性を踏まえて、線を追加をしたいと。
1:10:01	いうことで整理をさせていただいてます。
1:10:04	93 ページ、もうこれも前回審査会合資料としての案を出すべきから追加になります。ただ

1:10:11	これも、6 日の日のヒアリングで、図面関係の、
1:10:19	ご指摘があったところなのですが、これ確か浜崎さんからご指摘あって、この断面図と平面図で、設備の色塗りが合わないっていう、断面がですねこの断面しかなくてどこも、
1:10:33	説明がうまくできないので、平面図だけに、設備の絵をつけさせていただきました。
1:10:40	あとは壁のところとか風土で期待するところは、若干線が薄かったので、付させていただいたということでございます。
1:10:49	94 ページ、これは図自体を差しかえをさせていただきました学内の説明としての関係性を踏まえて、何をどういうふうにつけているかがわかるように
1:11:00	フェーズを書き直しているということでございます。
1:11:04	はい。若干まだ説明が、
1:11:08	してるなと思っているのは、
1:11:10	引き上げ動線とかの下側に、右左下に図、表があるんですが、平均間隔 10 メートルって書いてありますけどこれ事実だと、確か。
1:11:20	20 何メートルだったかの間隔があったはずで、それとの関係で 10 メートルがいいんだということの説明を、
1:11:26	いずれしないといけないんですけどまだこれがファクトが書いてあるだけで、あの要求との関係がうまく示せてないということは思ってますので、引き続きブラッシュアップしていければと思います。
1:11:38	95 ページは得なアノフダという場合ですね、ぼ緑の四角の中で防護対象施設の中に冷却等々ということで、防護対象との関係を示させていただいてぐらいの修正でございます。
1:11:51	はい。96 ページこれも修正ございまして、前回、この廃棄の流れみたいのに関係の図を書いてなかったんで、その全体の
1:12:03	系統としての流れと、今、堆積滞留する場所を設けて非抜き出しができるようにというところ位置関係というのがわかるように整理をさせていただいたということで、
1:12:16	はい、97 ページこれも前回から首藤修正してます右上に
1:12:22	鉄塔と更新の間、どうなっているのかっていうところで引き出し線を今、飛田伊藤線を設置してますんでその関係の図を書かさせていただきましたのと、
1:12:32	あと炉心がどういうふうについてるかっていうのがわかるように、記載を拡充させていただきました。
1:12:39	はい。

1:12:40	98、19 はウダ直してなかったと思います 100 ページは、吹き出しの ところの説明を拡充した修正をしております。
1:12:53	はい。
1:12:55	101 ページこれも前回から同じ図をつけてましたが若干青い点線の火 炎中心線。
1:13:04	これが妙に形状がおかしかったところを流したいということの修正をして おります。
1:13:11	はい。構造設計の説明会での説明グループ 1 に関するところの修正は 以上でございます。
1:13:18	はい。102 ページからが解析評価等に係る説明方針のところのパートに なります。
1:13:25	まず 103 ページこれ前回、2 ページぐらいに分かれて説明していたもの を、リードとして全体枠がわかるようにということで、学会しつつ、かつ、 キーワード化して修正をしたということでございます。
1:13:40	はい。
1:13:41	104 ページ納付を今、追加を今回しました。
1:13:47	が、まだ悩んでいるところではあります。
1:13:50	資料 4 としての最終ゴールをどこに持って行ってそれが何と関係するの かっていうのをイメージ化したいというのが目的でした。
1:13:59	今、ついているのがこの 104 ページのフローでいきますと評価項目の 一覧を整備するというのと 100 評価項目を設定するということ。
1:14:09	あとは評価方法評価条件との説明を、一礼していきますよというところ までは、
1:14:14	例示も含めてついてるんですが一番最後の添付書類の構成等というこ とで、こういった代表性類型化した上で選んだものに対して評価条件 から、評価方法評価条件の設定から評価結果までの一連の説明した上 で、
1:14:30	添付書類でどういうふうに整理をしていくかというところまでをこの資料 4 であって、申請書、申請書という場合には 0 っていうのもあるんだらう と思うんですが、
1:14:40	そういったものに反映していくというスコープ、
1:14:43	にしていこうかなというところで今、枠に書かさせていただいておりま す。
1:14:49	はい。
1:14:50	105 ページからが、先ほど、これもちょっとすいませんまだ整理がうまく いってないかもしれ

1:14:56	103 ページで言う 123 と 104 ページのフローが、うまく一致しないのでこの関係性は整理をした上で、
1:15:03	105 ページからは先ほど 103 ページであった 1 から順番に、説明をしているという流れになります。
1:15:11	はい。
1:15:12	副大きく変えたのは 108 ページで言う。
1:15:17	2 ポツのところですね。
1:15:20	まずは、評価というタイプ、この設計項目になっているものを抜き出した上でこれを評価方法等を踏まえて、類型化をすること。
1:15:32	さらに、その評価項目類型化して出てきた評価項目というものに対して、構造設計等の説明との関係を踏まえて、説明するタイミングを決めていきますよと。
1:15:45	いうことを、108、109 まで目を整理をさせていただきます。
1:15:50	その考え方に従って出てくる把どういうふうな組み合わせになるのかっていうところを 110 ページ以降の表で、
1:15:58	先ほどあった(1)から(5)との、
1:16:01	関係性を踏まえて、吹き出しをつけて示させていただいているということでございます。
1:16:08	はい。114 ページが、参考値の話ということで、
1:16:13	115 ページからが、114 ページにあります十条の①の漏えい防止に係る評価の流れを書いています。これは
1:16:28	ヒアリングやったからあれですけど、これは、
1:16:32	月曜日ですね、11 日にヒアリングをさせていただいたものを踏まえて、116 ページだけを直してる状態になります。
1:16:41	直した趣旨は、この漏えい防止に係る評価っていうのは漏えい液受け皿通り施設外漏えいをご指摘がありますということでその全体の枠ってのがどういう関係性になるのかっていうのを示させていただくという意味で、修正をしております。
1:16:55	117 ページ以降は、そういう意味でいくとあくまで漏えい、増益受け皿の話で、ストーリーを進ませさせていただいていると。
1:17:06	ということでございます。
1:17:10	はい。
1:17:11	全体修正としては以上のポイントになります。はい。説明以上です。
1:17:17	伊勢です。それでは、設計についてはご確認をお願いします。
1:17:25	規制庁の荒井です。
1:17:30	全体的なっていうかほぼほぼ、
1:17:33	書き方とかそういうところだけだと思うんですけども、

1:17:38	最初に、
1:17:42	73 ページ目。
1:17:44	いいですかね。
1:17:47	これ、
1:17:49	次回会合にあたってやってきたことっていうのをサマリーで書いているんですけども、
1:17:54	ちょっとそれがわかるようにですね 74 ページ目の最初のすみつき括弧みたいな形で、
1:18:02	過去の審査会合を踏まえて今回整理したっていうのはわかるようにスズキ括弧で過去の審査会合の経緯みたいなのを最初の一行目に出してもらえませんか。
1:18:11	はい、乳井支店でございます。はい、承知いたしました。
1:18:15	はい。
1:18:16	もう一つは 74 ページ目は単純な話で、
1:18:21	今回の審査会合というところで、ポツ三つ下にあるんですけど、ちょっとリンクするページが違ってるとような気がして、はい、すみません。はい。
1:18:33	やっぱりその適正化をお願いしたいと思います。
1:18:37	本当はちょっと先ほど説明があったと思うんですけど 77 ページ目で、うん。
1:18:43	最初の、
1:18:45	ポツの 3 行目の後ろから大井の※で書いてると思うんですけども、
1:18:50	※はお米の青字部分が前回号での説明からっていうので、これ前回会合ってことでいいんですよ。
1:18:59	前回とか前々回、前回、10 月の会合からの修正ですね。はい。はい。ちょっとそこを特定するようにお願いしますっていうのと、
1:19:10	あとは、
1:19:13	同じような話で 80 ページ目の体裁の話なんですけど、
1:19:17	下の、
1:19:19	四角枠が米の、
1:19:22	説明書きの吹き出しで消えるんです下階 5 になると。
1:19:26	前回資料からの変更で、入園者でございます。はい。算家ます。この青字が黒字なり赤太字は赤字。
1:19:36	のものと他のものと合わせるので、
1:19:39	そうすると多分赤字の説明を開始しないと。
1:19:43	多分そうだと、はい。

1:19:45	いるので、特有の設計書くんですかね、ちょっと凡例はおまかせしますけど。
1:19:52	はい、お願いします。
1:19:56	とは、
1:19:58	90 ページ目、
1:20:01	計 11 ページイイダ 89 ページ目で、
1:20:05	ポツが、
1:20:07	四つあって、三つ目のポツですね、一番内容、記載が多いところで、
1:20:15	行目で以下の点で不足等がありってところなんですけども、
1:20:21	以下の、
1:20:24	点ていうよりも以下の不足等がありっていうふうにしてもらって、
1:20:28	それで、どういう観点での不足が足りアノ足りないところは、
1:20:35	あるのかってところで、外部衝撃等の、
1:20:39	関する説明漏れ等を防止する観点で、以下の不足があるみたいな書き方にしてもらえませんか。
1:20:46	はい、西田でございます。
1:20:52	落ちました。はい。
1:20:54	はい。
1:20:57	後は、90 ページ目 91 ページ目は体裁の話なんですけど、
1:21:03	90 ページ目で、何か青のハッチングの色が、一行目と 3 行目と 2 行目という目で違うような気がするんですけど、これでいいとかってあるんですか。ないです。合わせあわせますって言うか、これから変えたんだ。
1:21:18	思い出した。ですね。
1:21:21	同じようにします。もともと考えたのはSAが今回入ってないところなんか示せないかなと思ったんですが、もうそんなことをやってもあんまり意味がないので、同じように、
1:21:33	はい。わかりました。はい。お願いします。
1:21:37	あとは資料 4 関係で、104 ページ目ですかね。
1:21:43	解析評価等のところで、
1:21:46	新たにフローをつけ、
1:21:50	つけましたというところで、最初の四角囲みの評価一覧表で、次の評価項目の設定ってあるんですけども、評価項目の設定自体は評価項目一覧表の中で知ってるんじゃないのかなって思ってて、
1:22:06	評価項目の設定というよりも 2 番目について評価項目の種類とかそういうタイトルになるんですか。
1:22:14	正確にウノインダでございます。これもすいません、私が土着じゃないって言うかもしれません表の説明を整理します。今、

1:22:25	評価項目一覧表って言うてるのが、タイトルがよくないかもしれませんこの場合でいくと、
1:22:33	まず資料2で評価のフラグが立ってるものを1回全部集めますっていう表があって、その上で、下で、2番目で言うてる類型を踏まえて、
1:22:45	その下に結びつけていく単位をどうするかっていうことで、フラグを立てをする表がもう1個出てくる。
1:22:52	いう意味で、思ってたその辺の関係性を整理して、記載を、
1:22:57	言っていきたいと。
1:22:59	規制庁わかりました。ちょっと評価項目一覧表っていう名前が少し通常のヒアリングからかぶってたのでその違和感を感じたんですけど、ちょっと資料2から抽出したっていうところがわかるような形で、
1:23:12	書き直すっていうところで理解しました。
1:23:15	全体的については私からは以上です。他、規制庁側からよろしく願いいたします。
1:23:25	成長課です。
1:23:26	ちょっと今の図、104ページの図、
1:23:29	次いで、ここへ三つ目の格好で、
1:23:34	評価方法評価条件等の説明ってこれは、
1:23:38	二つ目の三つ目ってどんなんか、どこら辺でサカイがあるんだ。
1:23:46	元の評価条件、はい。
1:23:48	命ずるということ。
1:23:52	はい、日本インダでございます。まずすいませんこれは書きながら、途中で文章が切れていると。
1:24:00	整理をしますが、
1:24:01	まず類型をするために、評価条件とか評価方法をどう流していくかということを考えてそれを合理的に説明するために、ある種累計をしていきますよと。
1:24:14	いうことが2番目の四角では言いたいことです。
1:24:17	あくまでこれは航空を類型化するということにとどまっていて、中身の部隊は、3番目の四角なのでそれがわかるように、整理します。
1:24:27	はい。次10日です。
1:24:30	言いたいことはちょっとわかるんですが、二つ目で評価条件オンに基づいてる結果、
1:24:35	しようとしていて、三つ目で、評価条件をまた設定しようとしていて、ちょっとそこが、
1:24:43	何か流れとして不自然な印象。
1:24:48	はい。

1:24:49	西田でございます。
1:24:51	が、おっしゃっていることはわかりました
1:24:54	行って戻ってみたいに見えるんですね。はい。ちょっと頭の整理も含めてさせていただきますとはいえ、思っていたのは、ある類型化をしようと思うと、評価プロセスだったり条件の設定の仕方だったりそういったものに着目して、
1:25:10	あれですね、
1:25:13	資料 1 から 3 の中でもう資料サーのことを意識しながら資料 2 で代表を選ぶみたいなのと同じような感覚で、私は思って書いてました。はい。
1:25:23	はい。江藤カシマそういうこともあると思いますが、ちょっと今では、
1:25:28	今の表現だと今、議論してるような、
1:25:32	混乱を招くような表現に、
1:25:34	なっていますので、ちょっとそこら辺がわかるように、
1:25:38	していただければと思います。評価項目一覧表も
1:25:42	結局フィードバックがここでは入ってくるということも含め、
1:25:46	入っていただくといいのかなと思った次第です。はい、西田でございます。はい。累計、まずはそうですねおっしゃっていただいたように評価というフラグが立っても 1 回並べて、
1:25:58	評価項目の設定の中で、累計をしながらどれを下側に流していくかというんでもう 1 回、1 回、評価項目いただき戻りっていう流れですね。
1:26:09	そういったものがわかるような、はい。整理します。はい。
1:26:13	はい。店長課ですよろしく申し上げます。私からグループ 1G、最初にグループ 1 の方、
1:26:21	のコメントに入ってしまうんですが説明グループとかの方で、規制庁側から確認等あります。
1:26:28	規制庁の藤原です。
1:26:31	ナツメグループの関係ですけども、今日午後にヒアリングがあるのでこの関係については、こちらで確認しようと思っておりますが、空の話でいくと、
1:26:43	今回付けられてるのか
1:26:46	整理した表の整理の方向性、
1:26:51	方針。
1:26:52	なんですけど、
1:26:53	80 ページから始まっているところで、まず、本説明グループで説明を行う関連条文っていうところがあって、その隣に、

1:27:03	うん。説明グループですね、行う今日はこのうち、別のグループで説明を行う項目っていうのがあるんですけど、私が認識してたのは、この説明グループで説明を行う関連条文といったところに、もし例えば、
1:27:17	81 ページなんかでいうと、8-36 っていうのが入った場合、
1:27:22	次の右隣は、そのの、
1:27:26	他のグループで説明を行うものがここに入ってくる。
1:27:30	という認識。
1:27:31	だったんですけど。
1:27:32	整理の方針はそれであるんですか。衛藤。もともとのところは、このグループ 1 で説明するものが並び、その中で、もちろん歳入の部分があるけれども、タダ 1 の分は、最初の方が代表にありますよみたいな話がまずここに、
1:27:46	やはり、その横右隣のところは、8 と 3836 条の部分のグループ 2 とか 23 とかっていうのがあればそっちに、はい。
1:27:57	という整理方針がいいですかね。
1:28:00	もうすでに公開してるわかつちやたらね。はい。はい。ですね例えばそうですね、81 ページの頭アノ。
1:28:10	80 ページが続いて、いきなり 11 条、11 条 35 条、12 条。
1:28:16	13 条かな、出てくるところを、ここに書くと。
1:28:21	それがどういう関係か。
1:28:25	まず、単純に言えば、
1:28:27	36 条絡みで、全体として説明しなきゃいけないものっていうのをどういう扱いにするかっていうところをちゃんと定義をして、していかなきゃいけないと思うのでそこを含めて、
1:28:39	入れさせていただきますもともとおっしゃっていただいてやりたかったのが、地上部分関連条文があってそれを今回説明する部分と、他の説明グループと抱き合わせてる部分っていうのをちゃんと整理をしますっていうのが求めていなかった。
1:28:53	はい、規制庁の中でさっきおっしゃられた通り、後で追加して整理をしていったところが多分違う入れ方をしていってるので、先ほどおっしゃっていたようなアクセスルートの話は、アクセスルートっていう枠で何かの整理が入ってしまってる。
1:29:08	なのでもともとの整理方針からずれてしまって、ここで説明したい目的が少しぶれてきていると、いうふうに認識してます。
1:29:16	あと、先ほどおっしゃってたことに関連するのか、なんですけど、この条文のまとめ方、

1:29:22	ていうのも、これ江藤、例えば先ほど言った 836 であれば、別の今日の午後のヒアリングにもあります井清とDBで抱き合わせでできるもの。
1:29:33	その系統なので、8 と 36 をコラボして、説明すべきものっていうのがあわせて説明できるものはこれであって、プラス、赤字で示して、SA 特有なものっていうのが出てくるのかなという。
1:29:45	認識なんですけど、ていうふうな整理をしていくと、
1:29:49	全般それはそういう整理になっているのか、何か別の整理が入ってきているのかっていったところで、おそらくこの説明すべき項目を整理するっていうので、途中からもう少しなので、
1:30:00	観点とかを追加して、ここにやっぱり入れ込んだほうがとか、いう話が出てきてしまっているの、そちらの方の、何か、当初から考えているところからずれ始めてるような気もしていて、
1:30:12	今気になってるのは、
1:30:14	耐震であれば、もともとのDB 上部、
1:30:18	DSAにも条文があり、かつ江藤 36 条の重大事故等対処施設、
1:30:23	の方があある。
1:30:23	そしたらそのコラボっていうのはSAの、
1:30:26	要求事項の整理表でも、丸をつけて整理しますよみたいな話は、
1:30:31	なんでこういうまとめ方は理解できるんですけど、
1:30:34	津波のところは何と 34 条だけが入っていて、36 条というのは別にある。
1:30:40	別に審査にかかるんですよ。
1:30:42	そういう整理のコラボの仕方っていうかその説明すべき項目の整理の仕方っていうのも、きちんと何か、
1:30:53	コラボする条文についてこうするとか、そういう整理がちゃんとないと、もちろん抜けモリノ観点でやってて、かつ、あとはグループが関係してくると、グループ間で、
1:31:04	どういうふうに仕分けをするのかみたいな話があって、それをきちんと整理する必要がある。
1:31:09	のでこういう整理をしていただいていると思ってますけど。
1:31:12	そういったところが素直にシュッとこう入ってくるものに今何夏に何か複雑になってきているので、ちょっと今一度整理の方針をきちんと考えた上で、そのルールにのっとって整理をするっていう、
1:31:25	された方がいいのかなと今回の資料を見ていて思ったのでお伝えしておきます。
1:31:30	はい、日本インダでございます。はい、ありがとうございます。関連別のグループで説明するところの関連条文、

1:31:38	差し込み方は、いただいてもともと考えた思想に合わせてやるということだと思います。
1:31:46	これ確かにですね今回すぐ括弧を大分合体して整理をした結果、大分よくわからないってところがあるので、そういったところは、もう一度精査をしていきたいと思います。あと、
1:32:00	津波のところはおっしゃってた 77 条 34 条がいて、さらにこれは今現状は 36 条と七条 34 条の基本設計方針の住み分けのままやっているので、まずそれが正しいかどうかという、
1:32:15	議論が、当然審査の中でもあるのかなと思ってます。現状設置場所に対しては、34 条を受けて書いていて、使用環境については 36 条に飛ばしますみたいな、基本的ヨシノ形態なんていうところを今、素直に受けて書いているので多分それがいいのか悪いのかという議論もあるかな。
1:32:34	説明グループ 1 で説明するときには、同じ津波だからやりますよと言って整理はしてますけど、その辺の整理をちゃんとしないといけないという認識がありますので
1:32:44	無条件であったとかここでの整理のし方針ですね、もう一度ちゃんと整理、決めて、それに従ってなってもらってないものと、ちゃんと整理していきたいと思います。
1:32:55	清町の藤原ですよろしくお願いします。
1:32:57	ついでに、念のためお伝えすると、津波であれば、一つ目、7、34 条のところ、他の話があるんですけど 36 条でも、
1:33:07	屋外保管ってところまで書かれていて、保管についてもど、どう説明するつもりなんだっていう、何でこれをも整理が必要だと思っているので、全体的に、はい。
1:33:17	整理方針をちゃんと固めた上で整理していただけたらと思います。
1:33:22	はい。金ユリ社でもね。そうですね 82 ページのところですね、括弧書きで報告がよかって書いちゃうと、そういう意味の話をしたのか他の話をしたのかよくわかんなくなる。その辺も、はい。
1:33:35	はい。
1:33:36	規制庁の千葉ですよろしくお願いします。説明グループについて多く野瀬アノ。
1:33:41	確認は以上です。
1:33:45	補足です。
1:33:47	いろいろと説明いただいたので背景は理解しましたが、基本設計方針がどう書いていようが、ここはコラボして説明しますということの整理があるので、

1:33:59	まとめられないっていうことは全くないんだろうなというふうには思います。
1:34:04	オオモトで、
1:34:07	なんですけど、
1:34:11	77 ページ。
1:34:16	に書かれている、青字部分ですね、何かやたら長く文章書いてるんですけど、
1:34:24	1.2Ssって、耐震とコラボしないっていう方針になったってことですか。
1:34:31	宮城ニシダでございます。まず、コラボしないのかって意味でいきますと 80 ページあるというこれはもうそういうつもりで、隅括弧も整理をしました。
1:34:41	その隅括弧整理した結果を、
1:34:44	私がちゃんと 77 ページにフィードバックをしてない結果かなと思いますので、
1:34:50	全体整合とれるように修正をしていきます。
1:34:55	はい。補足です。ここがやっぱり肝なので、表、後ろで書いてありますからって言われても困るんでしっかりと書いてください。趣旨がわかるように、
1:35:07	とですね、同じくですけど、その下のオクな伊井の機器配管についても青字が構造設計と書いてあって位置的分散、いや 1 木戸さんは 1 ですよっていう感じがするんですけど。
1:35:21	これ何ですかね。はい。日本原燃瀬谷でございます。まず
1:35:26	イトウシノで書いてるものが違うので、合わせます。はい。配置設計だけじゃなくて
1:35:36	構造強度。
1:35:38	いうものも含めて、健全性の話ですね、も含めて、コラボする部分がありますので、まず今の業態では、括弧の前に書いてる対象と、括弧内が出ないと。
1:35:49	ということで全体がわかるように整理をします。はい。
1:35:55	はい、細田です。そこは用語の整理っていうことだと思いますけど、現状どういう。
1:36:01	表現にしてるかって他の場所でこうしてこういう方向でっていうのをご説明
1:36:23	そうですね 80 頁。
1:36:29	4 ページのところの、今の 36、
1:36:33	日程、多様性知的分担ハザードに対しての、
1:36:39	1 定期分散の話と、あと

1:36:43	オカで言っている赤字がもうコラボした場合黒になってしまうので 83 ページで言う外傷と 32 コラボんところの構造強度を確保する。
1:36:53	いうところもあります。
1:36:55	ので、
1:36:56	そこも含めて、
1:36:59	整理が必要かと思っておりますのでそういったものが全体がわかるような記載をさせていただければと思います。はい。
1:37:08	小崎です。今の説明からすると、
1:37:13	超概略のSAの構造設計とかっていう表現ではなくて、その内数として説明する内容として共同なのか、位置的分散なのかと。
1:37:24	いうことで具体的に書かれると、
1:37:28	どちらの方を選択するのかっていうのはその中の説明の中でこういうものはこうでというふうに言われるってということですかね。はい。
1:37:36	はい。おっしゃっていただいて、
1:37:39	はい。補足ですわかりました。そしたら、それが理解できるように 77 ページ。
1:37:48	後で言います。
1:37:50	で
1:37:51	もっと入口になって、この質問でちょっとあれなんですけど、74 ページの一番上には再処理廃棄物管理の一つと並んで、
1:38:04	それは三つポツがあるんでいいんですけど、
1:38:08	75 ページワー、これ何で三つ施設を書いてあって、再処理廃棄物管理になるんですかね。
1:38:17	はい、乳井瀬谷でございます。
1:38:19	これは、すいません、私がコピペをしてしまったところの間違いですね。はい。
1:38:27	そういう意味でいくと今おっしゃって 75 ページ、88 ページ、
1:38:35	あと、
1:38:36	102 ページに同じようなタイトルがありますけど 102 ページは木材を大にしながらも全体の施設に今後展開していくので、3 施設書いてもいいかなと思いますけど。
1:38:47	75 と 88 は上は再処理廃棄物管理施設に限定したというか対象を明確にした記載にさせていただければと思います。
1:38:58	はい、そうです。よろしく申し上げます。102 ページ今言われたように、解析評価の説明方針としては、再処理も一緒だということだとすると、
1:39:10	表、真ん中に書いてある表題もMOXIにかかるっていうのかなあっていうのがちょっと、はい。

1:39:18	悩ましい。
1:39:21	素行整理しようとする等、やっぱり最初の目次から含めてちょっと検討が必要かなというふうには、
1:39:29	はい。イメージございますはい。ありがとうございます。はい。全体ちょっと見て、はい。整理します。はい。
1:39:42	成長化ですとか、説明グループの設定とかの話でもしないようでしたら、あ、すいません、規制庁カミデでちょっと、77 ページで、
1:39:54	外部、建物構築物といって外部衝撃、耐震NEAT。
1:40:00	言っているいろいろ書いてるんですけど、
1:40:02	78 に
1:40:06	どうどうだけですわね、
1:40:08	チェックマークの二つ目ですかどうどうの耐震っていうのはなぜかこれだけ 78 ページなんですけど、どういう考え方なんですわ。
1:40:16	はい。新美ニシウラでございます。まず、
1:40:21	現状の考えをまず申し上げますと、外部衝撃の関係で、労働側の結局近く、
1:40:28	構造物なので、あまり防護対象だったり防護設計の対象にならないということもあって、
1:40:34	薬品の漏えいに関係してくるパートのところのグループのところ、道路については説明しようと思っているのが現状の整理になります。
1:40:51	はい。規制庁カミデです。
1:40:55	ただ最初は 70 何、77 ページです。
1:41:02	アイシンって言ってますわね。はい。そうですね。はい。耐震に関係する建物構築物は喜多通りなんじゃない。
1:41:11	書き方含めて整理します。すいません。はい。
1:41:14	現状の整理がいいかどうかも含めた中で議論してください。
1:41:19	と規制庁カミデです。どっちでもとは思いつつも、
1:41:26	一旦、一通り話をしておく方がいいんじゃないのってするので、
1:41:31	整理をしてください。ちなみに、
1:41:35	屋内の機器配管のところ、外部衝撃ってなって今度耐震化抜けてるんですけど、これは何ですか。
1:41:44	はい、西田でございます。これ耐震は溢水関係等も含めて、全体の屋内の機器配管はグループ 2 で一応ということで今、もともとの整理の仕方を考えてました。
1:41:57	溢水からの応募という意味も含めて、全体屋外は、説明グループ 1 をメインに、屋内は説明グループ二名。
1:42:09	で整理をしようと思ってました。

1:42:12	はい。規制庁加賀です。それならそれで 78 にそこが明確になってない。はい。
1:42:18	はい。おつきい訳として外者は、最初にナカは次に行っても、それならそれでっていう感じなので、はい。綺麗にしてください。
1:42:30	はい。与儀西田でございます。はい。承知いたしました。
1:42:34	はい。規制庁神です。以上です。
1:42:39	規制庁甲斐です。よろしければ、具、再処理のグループ 1、今回サンプルつけていただいている、まず前、
1:42:48	大論文ですが、92 ページ目から各社サンプルをつけていただいているんですが、
1:42:54	これらがなぜ今回説明されているのかっていうことを、前回少しそういう説明も付け加えるって言っていたので、
1:43:03	うん。
1:43:04	安心していたところでしたが、
1:43:06	これんと、
1:43:09	はい、右田でございます。まず
1:43:12	今回の外部衝撃関連という説明グループ 1 の
1:43:18	趣旨を踏まえた対象物を選んでいるのが現状でございます。ただし、見ていただくと、建物構築物竜巻防護対策設備の設計説明分的には、屋外の構築物、体のアノタダ屋外の機器配管か。
1:43:36	が入ってません。
1:43:37	まず、前提はこれ介護資料の本体になりますんで、まず図がない、いず内で説明ができることということを念頭に、対象を選んだと。
1:43:50	そうです。外傷関係の説明のポイントがまず見えること、生活マスクングがないような図なりがちゃんと準備ができること。
1:44:00	いうことの二つの条件で選んだものになります。
1:44:05	はい、規制庁ハヤシD層、それが唐突感があるというのとあと 89 ページで、結局代表がまだ選定できませんっていうような説明をしているにもかかわらず、
1:44:16	今回サンプルをつけられていて今回のサンプルは結局代表も説明できないのに、
1:44:21	何を追加したんだっていうふうに、まずは印象として思ってしまうれると思うんですが、そこら辺の配慮っていうのをさせていただきたいんです。
1:44:31	はい、与儀西原でございますはい。
1:44:36	はい、ちょっと考えますはい。92 に入る場合に、
1:44:40	この後に、どういう趣旨でこのパーツをつけて今回説明しようとしているのかっていうのを示してるようにしたいと思います。はい。

1:44:52	はい。清ツボクラです。今、反省している断面でこういうところですよっていう、今回は途中結果ということでしたので、そういうところがしっかりわかるようにしていただきたいと思います。で、
1:45:04	結局その今の代表ができてないということが、8、92 ページ目からの図がそれぞれ結局、一つの条文の一つの要求しか矢印が立ってないような、
1:45:16	状況。
1:45:18	どれもバッチで累計じゃないバッチで説明してるような印象を持たれるんですね。
1:45:26	ちょっとぐらいはそういう配慮をしたものがあるのもいいのかなと思うんですが、
1:45:30	例えば 96 ページ目の主排気塔
1:45:33	もう、
1:45:35	舟木降下火砕物に対する配慮等、前回下アノす、先日のヒアリングでも挙げられてましたが、積雪に関してはここはどうでしたか結局、
1:45:47	人間ニシダでございますはい。
1:45:53	積雪も、
1:45:55	対象として考えていると前回と私も合わせましたが、考慮してるのは今、要求事項としてはひもづけはしてました。はい。
1:46:07	ただ、それがまあ、そうですねそれ一連がちゃんと統合して、
1:46:12	説明コサクです。ごめんなさい。それで言うと、
1:46:16	今入ったように、個別条文対応のページになってて、資料 3 のルールからすると、個別に説明するのはそのぶら下がった江田
1:46:29	シートであって、一番最初に全体像を示すシートを作るっていうことだったと思うんですけど、それはないんですか。
1:46:36	はい。いうふうにさせていただきます。物自体はありますので、はい。それを、
1:46:44	入れます。はい。
1:46:46	繋がる。
1:46:47	はい。
1:46:50	登坂です。繋がらなかったとしても、現状としてのありようとしてはそういう状況だということを示されるしかないのかなとは思いますが、あるのに、
1:47:01	提示されないと何だか訳わからない。
1:47:03	よろしくお願いします。大岡さんお願いします。はい、その増加です。ちょっとローワークとすればそういうところがどう使うかということでの今のその全体の、まずは要求を

1:47:15	やっぱりね、それで、それから仁木渡すってところを、
1:47:21	説明受けたところで 95 ページ目のところは、結局その、
1:47:27	冷却塔、日冷却とBが中に入ってるってことを示したいんですけども。はい、伊田でございます。はい。そうですね。ちょっと移動会議なりなんなり整理をしたいと思いますが、はい。
1:47:40	やはり、とりあえず今できる再提言とはいえ、それぐらいはしていただきたいなと思います。
1:47:48	あと先ほど話があった 97 ページ目、ちょっと個別論みたいな話でもあるんですが、結局、通す投信と鉄塔をボンディングで、
1:47:59	繋がっていてその理由は放電を抑制するためと、
1:48:04	ということなんで、今話題になっていた、竜巻防護具、
1:48:09	ファンと鉄塔との関係。
1:48:11	これだと説明がつかないと思っていますが、
1:48:15	いかがですか。
1:48:17	はい。与儀ニシダでございます前回もお話した、おっしゃる通りだと思ってます。はい。ちょっと全体方針も含めて整理をしないといけないと思ってますが、
1:48:29	おっしゃっていただいているように、97 ページの右上につけている引出動線ですね、この間カクウはと、防護盤と鉄塔の間隔、
1:48:40	そんなに変わりませんので、それが、
1:48:44	全体を物語っているのかなと思ってますので
1:48:47	方針としてちゃんとしたとしてちゃんと決めて整理をしていければと思ってます。はい。
1:48:52	はい。規制庁加来です。はい。
1:48:56	普通の自然科学現象。
1:48:59	見返さ払うことできないようなことを、比較で説明されたところだと思しますので、ちゃんと説明してください。
1:49:09	担保取れるように説明してください。お願いします。
1:49:13	あとコサクです。ごめんなさい。さっきの話の 95 ページなんですけど、
1:49:19	これって、
1:49:20	何でついてるの何を説明してるってということからすると、
1:49:25	冷却塔側の話の主になっているのか、北換気塔を処理してるのかって、どっちの方向になるんですか。本来やるべきバイクと北換気塔側の説明をする。
1:49:39	いうことをしないといけないと思う。
1:49:42	結局は、

1:49:46	波及影響で竜巻でいくと倒れても渡らない位置にあるか、新しい位置にあるのであれば、構造強度を確保して、転倒しない。
1:49:54	倒壊しないような高強度を確保しますっていうのが、波及影響側の評価に繋がっていくので、今回のこの流れとしては、
1:50:03	この辺の中に、冷却塔があると、その冷却塔に影響を与えないように、北関東自体は構造強度を確保する設計にするっていうのが、本来つなげるべき姿だと思ってます。
1:50:17	はい。
1:50:18	と、それは書かれるんですけど。はい。現状そのパーツが結局は、前回も議論させていただいた代表にも選ばれてなくてそのままデリケートまで今終わってるのが、11月30日、私をした
1:50:33	共通順位になってますので、そこ、
1:50:36	どこまで、
1:50:37	追加していくか、本来のあるべき姿に持っていくっていうのとすると、パーツが余りにも今現状足りな過ぎてというのもあって、はい。ちょっと考えます。はい。
1:50:49	小坂です。わかりました。どういう言い方をするかっていうことにも繋がるかと思うんですけど。はい。整理してください。
1:51:00	施設課です。あと、ちょっと細かいというか、99ページ目で今回竜巻のことを説明。
1:51:07	触れようとしてると思うんですが、あとバックプレートっていうのが、
1:51:12	発令だと思うんですが、これって呉オオバの部材なんですか、別なんですか。
1:51:27	すいません日本原燃の新保です。
1:51:30	すいません、こちらは6ヶ所。
1:51:32	田仲主任いら言いますますかね。
1:51:36	答えますかね。
1:51:45	はい、日本インター課です。いいます。他プレートにつきましては、防護盤を中学校に固定するためのプレートになっております。
1:51:57	はい、清長君そしたら本といった扱いで出されるってことなんですか。はい。日本ベンダーですこいつはオオバではなくて5番と私がつなぐもの。
1:52:08	です。はい。以上です。すいませんコサクです。説明は、設工認上の扱いがわかるように行ってございます。
1:52:16	5番の一部にしないと話説明できなくなるか。
1:52:21	共同評価とかいろんなところ、
1:52:23	全体ナガエ流していくと。

1:52:27	5番の直接支持構造物っていうならそれはそれでもありかなとは思いますが、
1:52:33	んな、そこら辺は整理されてないんですか。
1:52:43	日本原燃の石黒でございます。
1:52:45	ちょっとはい。こちら、ほかにも今回いろいろと設備対応してるところもありますので、その位置付けについてはしっかりと整理させていただきたいと思い
1:52:57	以上です。
1:53:00	はい、規制庁笠野当然そうだと思いますし、今申しあげました通り結局、
1:53:07	仕様表対象なのか、申請対象なのかとか、どこをどういうふうを確認していくのかっていうのをこれから、認識を合わせていかなきゃいけないところですので、
1:53:17	まずはそういう前提は、しっかりしてくださいというところで、ちょっと整理できてないみたいなんです。
1:53:24	これ以上はやめていきます。
1:53:27	あと101ページ目で、今回円筒垂鉛中心とかいろいろ検討してもらって、結局これも、
1:53:36	設備の外側は下にある基礎が基準になっていると、両端は、
1:53:44	なんでこの多分基礎ですよ。はい。そうですね。はい。
1:53:48	なんです。それはちょっと浮いてるので今、それがちゃんと基礎だとわかるようにして基礎がちゃんと設備の一部だとわかるように、
1:53:56	矢印なり何なりで、書いていただいた方がいいかなと思います。今は何かあるのかわからない状況です。
1:54:03	はい、乳井西浦でございます。承知しました。はい。
1:54:07	はい、規制庁からです。とりあえず再処理のグループ1関係101ページ目まで私から以上なんです、下の方はもしありましたらお願いします。
1:54:22	特にないようでしたら次100ヒグチ規制庁のアライですけど、よろしいですか。はい。
1:54:28	先ほどの95ページ目で、
1:54:32	環境の話で、
1:54:35	多分
1:54:36	原燃としては、緑枠囲みの、
1:54:40	フレーズとかを直すと、資料2とかそれ以上の上流まですべて直してやらないといけなくて時間が足りないの、会合までは図の差し替えぐらいが最低限なのかなと思ったんですけど。

1:54:52	そういう理解なんですかねまず。
1:54:55	はい、与儀修でございますはい。まずそこも含めて、先ほどコサクさん言っていた、どう会合で説明するのかっていうところのスタンスを決めて、
1:55:08	どこを直すかと思えます。おっしゃっていただいた私が歯切れがいまいちだったのはおっしゃっていただいた通り代表にはなっていないので資料3にタカキ等々出しませんし、
1:55:19	これを構造強度を確保するというのも含めたパーツがないと、説明が1年完結しないというところの修正があので会合前にととも間に合うような気もしないので、
1:55:29	あの会合の時点でのステータスを考えながらどう説明するかというところを考えますという回答させていただきました。
1:55:36	はいわかりました。はい。それぞれお願いしたいと思うんですが図としてはこのクドウ園の
1:55:43	大きさの話であったりとかっていうのも捕捉できるのかなと思っていますので、ちょっと資料のずれ図示している内容と、設計の
1:55:54	整合性っていうのをとれるように、そこら辺は明記いただくのが、最低限の収載なのかなってこのページでは思いました。
1:56:04	はい、井口でございます。しました。はい。
1:56:08	はい。気づいた点は以上ですいません。
1:56:12	成長オカで作るです。
1:56:14	101 ページ目までで何かありました。
1:56:18	ちょっと時間もあまり、すいませんコサクです。あの時ってところで申し訳ないんですけど、
1:56:24	1 点だけちょっと全体の流れの確認なんですけど、はい。
1:56:28	90 ページ
1:56:31	以降で
1:56:33	解析評価については随時だということになっていて、これはこれでいいんですけど、先ほどの次の、
1:56:42	項目のところでは最初に廃棄物管理を入れるとすると、説明方針は一緒にやっていきますということなんですけど具体的に、ここの整理をしていくっていうのはいつぐらいになりますか。
1:56:57	はい。神イシダでございます。はい。
1:57:05	グループ1 だけだった。
1:57:09	はい、西田でございます。
1:57:12	少なくとも評価の項目の抽出とか、全体、どういうものかっていうのを、この後でやるやつと合わせて整理していくのは、

1:57:22	もう
1:57:24	もう今の時点ないじゃない。代表決めてそれに従って、資料 2 の修正ができればということだと思いますけど、1 月には、
1:57:36	そういったことに着手できるのかなという気はしてました。
1:57:41	はい、古作です。
1:57:43	そうですね。ボックスは舞台、整理をして、説明が進んでいくということですが最初にも続いていかないと、多分耐震の方とかも持たなくて、
1:57:56	まずは、
1:57:58	整理ここで入れ込んでいくということで代表をどうするっていうことはやっておかないといけないのかなと思いますのでですね。
1:58:12	MOX超過です関連してなんですけど、今ちょっと言いかけたその評価項目一覧表の再処理側廃棄物管理側は、もうすでにできてるんでしょうか。
1:58:21	人間ニシダでございます。できてません。
1:58:26	ユフ
1:58:27	はい。
1:58:28	はい、規制庁笠野 1 回目で 00 資料整理してよ、評価要求は一応うたつていて、それを一つ 12 の中で、
1:58:39	やってきたところなので、そういうところ所徐々にやっていっていただきたいんですが、
1:58:45	また進め方は当然確認させていただきます。はい、西田でございます。はい、承知いたしました。おっしゃっていたようにレベル資料の別紙 2 で、立てた評価項目、今設計Dの設計項目の整理とかも含めて、
1:59:00	評価、評価のフラグがある矢内後他の設計項目が要るのか要らないのかって評価もしてますので、そういった検討も全部見ながら、整理をしていくのかなと思ってました。はい。
1:59:13	はい。杉坪田です。その方針だと思いますのでよろしくお願いします。
1:59:17	あと 102 ページ目からの
1:59:21	今回、審査をかける評価の説明方針なんですけど、ちょっとだけ
1:59:28	サンプルにつけていただいたところで、少し気になったところがありまして、まず 115 ページ目からの評価パターン 1 ですかね。
1:59:38	の、灯籠液受け皿として津波漏えい防止堰をどういうふう
1:59:42	組み合わせていくかっていう部分は、結局はもうすべての資料において、どちらも両方入って説明されるような、
1:59:52	評価条件までですかね。はい。はい。説明されるような感じなんですけども。
1:59:57	評価式とかまで全部こう、

2:00:00	一緒くたで説明されると、そういうことも、
2:00:02	はい、西浦でございます。はい。ちょっとどっちつかずになって恐縮でございます現状考えていたのは、ちょっとこれまで説明した経緯も含めて116ページに書いてあるように、
2:00:14	全部合わせ技になっていく形を考えてました。はい。これが今宿題になってやらなきゃいけない代表理事、類型化をして、
2:00:27	その代表で説明しますよっていう時のやり方たとも、これはリンクする気がするので、そこはちゃんと整理しなきゃいけないとは思ってます。はい。
2:00:36	はい、規制庁カシマそ、そういうケースは、今回のようにその液体が広がるってところの目的に、
2:00:43	応じて、これはセットで説明できますねとか。はい。そういうですかね。そうですね表に合わせて説明できますねということと、類似しているので、まさしくそこが、
2:00:56	先ほど言いましたインターネーション太陽熱評価プロセスを見たときに、同一とみなせるでしょうと。ただしその派生として評価条件の設定であったり、
2:01:07	最終的な計算の仕方だったようなところに、若干違いがあればそれを3部という丸い形の中のマエダとして、説明をしていくと。
2:01:18	いうことで1年のパッケージになるということで今は整理をしているのが今漏えい企業側の話です。はい。
2:01:26	はい。大丈夫です。そういう事例としてもわかりやすくして今回はよかったかなと思いますんで。はい。ありがとうございます。116ページ目でちょっと気になったのが、
2:01:35	ちょっと内容の話なんでグループ、この後で出てきてからでもいいんですが、サンポさんの欠損部の考慮が漏えい液受けたらば、ちゃんと対堆積なんですけど、はい。
2:01:47	説明のエザキが目、床面積から欠損の面積からになっていて、
2:01:53	これって、家、
2:01:56	その面積が最大になるかどうかわかんないんで、こんな設定で大丈夫なのかっていうのがちょっと、
2:02:03	気になったんですが、ここら辺は何で変えられたんです。はい。日本原燃、矢田でございます。
2:02:16	ちょっと確認した上で、ただ、そうするんであればその理由を書いてないと、よく、なんでこれで違うのってのがわからないので、ちょっと記載をもう少し拡充するなり何なり整理をしていきます。はい。

2:02:30	はい、衛藤ですよろしくお願いします。あと 100 古作です。ごめんなさい。今の点ですね、3 ポツにサンポ津さん、あとポポツ
2:02:40	家、それぞれリンクするんですね。はい。そこら辺がぱっと見でわかりにくいんで、そこは見え理解しやすいようにしといてもらえればと思います。
2:02:52	そういうところを何でこう取り扱いを近くするんだってことの肝を何か書いてくれるとよりわかりやすいかなと。
2:03:02	はい。与儀ニシダでございますはい。周知しまして、一通りですね、
2:03:08	3 点にも分けてますし。はい。それぞれ分けて書いているところが何でってところで、
2:03:14	はい。
2:03:15	2 ポツは対象だから、加来さんとをですね。はい。取り扱いを分ける理由がわかるようなキーワードを報告して、説明を拡充したいと思いますはい。
2:03:28	はい被災地の方からよろしくお願いします。あと、ここ、ちょっと気になるのが 3 ポツ目、あと 1 ポツの中の 3 ポツ目と書いて、
2:03:38	及びが、及びで、いろいろつなげちゃって、かなり読みづらくなってますので、おそらくちゃんと刺されて、適正化していただければと思いますんで、質問、
2:03:49	はい、仁科でございますはい。ありがとうございます。おっしゃっていたように溶液イケダのあった文章に、施設への影響無理やり繋いだ感があるので、文章を精査します。はい。
2:04:02	はい。超過です。あと細かい話で今、119 ページ目と、
2:04:08	120 ページ目の閉じ込め 03。
2:04:11	の名称がちょっと違っていたり、
2:04:15	投票 3 点、119 ページ目表 3、第 3.1 表の下の注記、
2:04:20	の、
2:04:21	代表の考え方と、
2:04:24	121 ページ目の第 6.1 表の注記、おそらく同じことを説明しなきゃいけないんですが、ということなってますので、
2:04:34	はい。そろえていただきたいと。
2:04:37	あと 133 とか 136 ページ目で地雷を今回、
2:04:41	方針ノジマつけているところなんかもちょうとまだ、
2:04:44	最新化できないままに、はい。
2:04:48	つついていけないのでそこら辺は、今後ちゃんと精査して、整合するものをつけていただければと思います。
2:04:55	はい、与儀ニシヤマでございます。はい。

2:04:57	しました。はい。
2:04:59	はい、衛藤です。あと、ここの評価項目とかは先日、ヒアリング今週月曜ですかねヒアリングの結果を、
2:05:08	踏まえたものが別添でついてきて、再処理のグループ 1、グループの設定なんかは、
2:05:16	今日の午後のヒアリングを踏まえたもので、ついてくると、絶対ですね一つにパッケージングされて戸部。
2:05:25	検討して作るというそういうことですかね。
2:05:28	はい。異議ニシダでございます。はい。まずう
2:05:32	はい、えっとですね。
2:05:34	最初の説明不足だったそうです。今日のヒアリングを受けて修正したものを別添としてお話をし付けてさせていただこうと思っております。
2:05:45	評価項目の方がおっしゃっていただいて、まず 11 のヒアリングを受けて、
2:05:52	前回も合わせて 116 ページのところ、修正をしたものが、フィードバックをかけるべく頑張ります。はい。
2:06:01	はい。今まで 3 番ですけど、はい。ちょっとどこまでの状態まで頑張れるかどうしようとかも、整理して、はい。対応したいと。
2:06:10	はい。既設オクです。緊急午前には出されると思いますので、そこまででしっかりお願いします。ですから以上です。
2:06:25	山口です。規制庁側から職員でございますでしょうか。
2:06:31	規制庁浜崎です。県だけ戻すの細かい話で申し訳ないんですけど、93 ページの、
2:06:36	FO-A設備の配置された部屋の発注のところ、先ほど
2:06:42	石原さんの方ですね断面ズーは対象するとコウが切っていないという話なんですけど、これ、
2:06:49	今回前回ツジがつぶれるとわかんないんですけどこれ、今回、XXアンドウ面って書いてあって、それっていうのは、下の方へ、平面図でいうとイシイ通りのちょっと上なんです、北川でここってまさに、
2:07:01	表示ができるんじゃないかな、例えば地上 1 階だと、
2:07:05	67 番以外は塗りつぶすこともあるし、逆に地下 2 階は、伊井さん、7 番郷塗り潰すことになると思いますので、はい。
2:07:16	はい。ちょっとはい。断面との関係で、
2:07:20	なるべく正確にというかはいい。
2:07:25	介護資料ですのではい。はい。はい。
2:07:29	はい、西田でございます。はい。
2:07:31	はい。以上です。

2:07:35	会合資料の規制上、
2:07:38	ございますでしょうか。
2:07:43	競売と振替最新の、
2:07:48	お願いします。はい。はい、野元でございます。では振り返りまず耐震たところから、
2:07:56	資料のちょっと現場に沿ってですね、やっています。6 ページ目のアノセガワまでのところが進めのところ、ここの今回説明のキーのオオキセンナにつきまして今回の説明に合わせて、
2:08:08	記載を適正化いたします。具体的には医長の中でデータの信頼性について説明するということを示しましてミイの中で、一次整理した自体もその分析まで行ったという結果を説明するように、再構成、
2:08:22	それから7 ページ目ですけれども、追加調査の進捗状況として、下水道層より表層地盤、
2:08:28	にいただきたくて単位体積重量等の進捗状況に係る内容の記載を追加しようと思っています。
2:08:37	次8 ページ目ですけれども、この中でですね少なくともA種、周辺で前の1のちょっと圧壊また9 ページまで流速を、はちょっとまた検討いたしますけれども、そんなことについて、
2:08:55	ところの分析まで今回終了して、残りの区間の時間になるといったような各グループのステータスの差分がわかるような、正確な記載と、
2:09:03	いうことでございます。
2:09:05	それから次が24 ページでございます。グループに適用する各データが4章のどれにひもづくのかが、わかるように見直しましてそのあとの分析の説明との繋がりが、
2:09:18	わかるように記載するということでございます。
2:09:21	次は29 ページでございます。
2:09:24	オートスペクトルはこれを利用して、確認する周期について、建屋周期より短周期というふうに考えてございますけどここの考え方、十分に性について、土地の減免としてきちんと検討すると。
2:09:36	いうことで宿題いただいているというふうに思っております。
2:09:39	で、
2:09:40	すいません。次が江藤さん。
2:09:43	ページ目でございます。
2:09:45	ですね、同定解析の結果について今後示してはるんですけども最初の前提をきちんと書くことというふうに、いただいとる。

2:09:55	15 ページですけれども、ここの所に坂野伴 1999 年以前の新聞載ってたりしまして、データが追加できる少ないことに起因するという元の考え方ちょっと今日口頭で、ちょっとしゃべりはしたんですけれども、
2:10:10	今回、昨日のヒアリングを踏まえて、記載を運用しますと言っておりましてそういう説明のミヨシとともに、文書で考え方がわかるような記載すること。
2:10:23	いうことでございます。
2:10:25	次に 36 ページですけれども、as-isの結論については随時の最終期がわかるように、物性表、それから構成表と合わせて、グループの地質断面図を
2:10:38	追加するということでございます。また 36 ページの結論ですけどもこれは 26 ページの分析の着目点と、ちゃんと対応をさせた記載と、
2:10:49	いうことで直したいというふうに考えてございます。
2:10:52	それから 43 ページですけれども、次回前後 6 のデータ分析を示すということでございますのでもうホームページの記載は、発表削除するんだろうなと思っております。ちょっと記載について検討したいと思います。
2:11:05	次の 44 ページ、水越清の整備と国的なモデル設定するとき、整理する内容して、踏まえまして記載を再精査ということで、
2:11:16	議会以降の説明において全グループにおけるas-isが示されてあることも、記載いたしますしそれから安定性の中でですね、これですね、設計としての、
2:11:28	こういう事項であると、いうことが、ああいう内容に、を踏まえた今度ですね、やること記載の再精査というのが必要だというふうに考えてございます。
2:11:40	岩松以上でございます。
2:11:46	はい。
2:11:48	2 ポツのパートになります。まずは、説明グループ、誰か全般としては、75 名 88102 ページそれぞれ頭に
2:12:02	3 施設部の名称入ってますがそれは内容に応じた適切な修正をさせていただきます。
2:12:10	あと、説明グループのところのパートでいきますと 73 ページの一番頭に隅括弧で過去の審査会合の経緯を踏まえた経緯というような、
2:12:20	内容がわかるような調査項目を立てますと、いうこと。
2:12:25	あとは、あの辺も非常に申し訳ない 74 ページで括弧書きで書いてる、ページ番号、ほとんど間違ってますのでここに修正をさせていただきます。
2:12:35	はい。ということですね後は、

2:12:40		70
2:12:46	77 ページ、ここで、	
2:12:49	まず尾島が会合での説明からの変更があったレポート、これは 10 月の審査会合からの修正だということが分かる記載に修正をするということと、	
2:12:59	建物構築物も含めた設備部と市の御説明での意見DSsも含めて全体の説明したい趣旨、	
2:13:08	関係するもの例示のものは、合理的に合わせて説明するということの趣旨もわかるような記載に修正をしますということと、	
2:13:15	重大事故のところは、構造設計と言いながら一部予算が入っていたり、関連性が説明する項目は網羅的にわかるように、記載を整理させていただきます。	
2:13:28	はい。ということは、78 ページで北海道の話は全体の説明方針を一旦整理をさせていただいて、実際そのように基づいた記載に修正をさせていただきます。	
2:13:40	あと屋内の機器配管とこの耐震に関する考慮というところはグループ 1 グループ家の住み分けというところがちゃんと前提がわかるように、記載の修正をさせていただきたいと思います。	
2:13:52	はい。あとは、	
2:13:56	もともと修正できてなかった説明グループさんのところに記載を修正します。はい。	
2:14:03	あと、表の方は、いないと評価全体のルールを整理して、それに基づいた記載にさせていただくということで、整理をします。あとは、例えば松木の 7、8182 津波分かれていますか	
2:14:20	別の話をしてみたところ合わせて説明する部分は、なるべく、	
2:14:24	病院とした形で見えるように、整理をさせていただきます。はい。	
2:14:29	に加えて、82 ページのところ、括弧書きがですね、何を言ってるのかよくわからないところは、	
2:14:35	整理をさせていただくということだと思います。はい。	
2:14:45	全般説明。	
2:14:50	あなたね判例な判例が今現状の判例になってますので、最新の判例する時に審査会合類の判例にちゃんと合わせて整理、	
2:14:59	はい。	
2:15:01	あと 88 ページからの説明グループ 1 最初説明グループ 1 階講堂設計の話ですが、三つ目のポツですねここ設計については以下のページでっていうところ、これ	

2:15:14	構造設計等の説明の観点で以下の二つのありということで、文章をつなげて整理していければと思います。はい。
2:15:23	あとは、90 ページ 91 ページの表は、デフラグレーションつけてましたが、これは中本に戻します。はい。
2:15:32	あと、数字になってる。
2:15:36	3、2-23-2 の話のところはちょっとその後ろに出てくる解析評価の整理の話を踏まえて、
2:15:45	整えていきますということの趣旨がわかるような記載をさせていただければいいかなと思いましたので、記載の修正をしたいと思います。
2:15:55	はい。
2:15:57	あとは個別の図が 92 から入りますが、この前に前てどういうものをこの後に示しているかということ。これは
2:16:09	89 ページで現在の生活に、
2:16:12	関係しますので 1 年の考え方を示した上で記載をさせ、
2:16:17	92 ページ以降の図をつけるということと、あとどっちでも示していたこの、
2:16:24	資料 3 の②に入る前の目次ですね、これをちゃんとつけて 1 年の関連性がわかるようにさせていただきます。はい。
2:16:34	あとそれ以外の、先ほどいただきました関係例えばですけど 93 ページの上、右左上の広報対象、入れたりとかいうのを追加をしながらということで全体整理をさせていただくということと、
2:16:48	95 ページは、少なくとも現状でいえる範囲になります整理をして、の修正なりをさせていただければと思います。
2:17:00	はい。
2:17:01	ええ。
2:17:06	101 ページの規則の
2:17:09	修正が必要。
2:17:11	あと 102 ページからの解析評価のところはまずタイトル、目標でいいのかっていうところは、全体の、
2:17:18	ちょうだいと含めて整理をさせていただくということです。はい。
2:17:23	あとは 104 ページのフローですね、これ評価項目一覧表に、後の検討から戻ったりということもありますので全体がわかるように、整理をさせていただければというのを、私が口頭で申し上げた。
2:17:37	103 ページの一井さんとの関係がわかるように整理させていただきたいと思います。
2:17:42	はい。
2:17:44	あとは、部隊のパートですね。

2:17:50	はい。
2:17:55	115 ページから始まる場所の 116 ページで、116 ページのまず概要のところは、文章が長くなってよくわからないところは対して、
2:18:06	なるべく切って、簡潔にわかるように整理をするということ。
2:18:10	116 ページのフローで、それぞれ増益受け皿等施設があるセキの考え方を分けているところは、この取り扱いを分ける根拠。
2:18:20	考え方ですね、これがわかるようなキーワードを出しながら、なぜそれでいいのかというどう考えたのか、ところがわかるような記載を整理をさせていただきます。
2:18:31	はい。あとは、119 ページと、
2:18:36	120 ページの補足説明資料のタイトルが違ったり、119 ページと 121 ページで代表の考え方が違ったりというところは修正させていただきます。
2:18:48	ということ、あと後ろの参考についてるところの評価項目立てについてですね、これが最新の状態になってないところは、パッカーのフィードバックをかけて整理をしていくと。
2:18:59	ということだと思います。はい。以上です。
2:19:04	山口です。
2:19:07	井清規制庁はばらつきありますね。
2:19:12	規制庁ハマグチなんですけど先ほど耐震のところ野元さんから話があった 6 ページの①のところは、Dたのを、不足及び信頼性という話でこれは前回の会合の指摘事項の打ち返しという位置付けをですね。
2:19:26	要は、これは一つ例ですけども、そういう位置付けですということは、当然念頭に置いた上でっていうことで、わかるような形で、方もそうなんですけども、
2:19:37	はい。はい。はい。そういう位置付けであると、いうことを、上では説明をしてもらえればと思います。承知いたしました。
2:19:57	前にヒアリングを終了します。梅野コウん、シマ
0:00:00	公開しました。季節ヤマグチです。それでは午前中に引き続き、設工認に関するヒアリング、
0:00:08	倒壊します。
0:00:12	出席者は、
0:00:17	記者について改めて紹介しますと。
0:00:21	規制庁側の出席者ですが本庁会議室からフジワラヤマグチ。
0:00:27	イトウその他WEBから、
0:00:29	コサクキシノカミデハバサキカサオカアライオノ。
0:00:37	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の構成説明紙資料の説明を開始してください。

0:01:00	六ヶ所音声ため、
0:01:04	駄目って言って駄目かどうか音声駄目なら答えられない。
0:01:07	40年です。六ヶ所です。聞こえてますか。
0:01:13	はい、聞こえてます。申し訳ございません。
0:01:17	はい。日本原燃事務局の中浜です。日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:24	Steeringチームより、イシハラ。
0:01:27	イシグロ。
0:01:29	タカヤ。
0:01:30	サポートメンバーといたしまして、セガワシミズ。
0:01:35	事務局より
0:01:37	もっと最初の事務局参加させていただいてございます。本日、午後のご確認いただきます資料でございますけれども、2点ございまして、
0:01:47	SA要求事項の整備、
0:01:50	及び再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に関わる整理の考え方。
0:01:58	以上2点の資料のご確認をいただきたいと思っております。
0:02:02	それでは説明の方開始させていただきます。よろしくお願いいたします。
0:02:07	はい。人間の部屋でございます。それではまず、12月11日に提出さらに12月12日に、中部飼料の修正をして、
0:02:18	提出をさせていただきましたSAの要求事項の整理という資料の方から説明を変えさせていただきます。
0:02:25	今申し上げました通り、こちらの手違いで二段階的な出し方になってしまいましたので、12日出した資料の頭にですね、上の方に、
0:02:37	11日のものからの変更箇所を緑で示してありますと書いてあります通り、青と緑が、前回からの変更点でございます。
0:02:48	はい。1ページ目のところは、また書きのところがオオウチになってますがこれは38条以降のですね個別の条文の間の本作業での位置付けと、
0:02:58	いうことを、今後の共通要因に持っていくための前段階の準備作業としての関係性も含めて整理をして記載を、
0:03:08	見直しをさせていただいたということでございます。
0:03:13	はい。
0:03:14	続きまして、変更点、3ページ目でございます。
0:03:21	悪影響防止の観点の整理ということで、関係性のある呉、イシイ水火災水が逆の等の事象との関係を踏まえて、その

0:03:33	影響を考慮した設計をしなきゃいけないということの確認をしていくということの観点で整理をしていくという、整理方針を記載をさせていただいてございます。
0:03:44	開いて
0:03:46	動きまして右下 4 ページでございます。
0:03:52	なお書きについては、マル※1 の識別の考え方を直で追加をした部分でございます。はい。
0:04:01	特にこの 4 ページでいきますと青字の一番最後の方の整理はと書いてある部分ですね。
0:04:09	大瀬外部火災の関係の事象との関係、以前前回のヒアリングで、許可の段階でも、敷地の関係から
0:04:21	事象として、下を考慮する必要がないとしたものも含めて、全体、どういう整理するのかということのご指摘をいただいています。その整理を 4 ページから
0:04:32	5 ページにかけて整理をしております。
0:04:36	これA-2 年に包含されると書いて結局この資料での整理の方針というものも、結論が書いてない状態になってますが、結局、
0:04:46	16 ページ以降の表で横軸に出すものをこの関係性の整理で導き出しているということでございます。
0:04:53	影響評価に包含される、もしくは、事象として発生しないことを確認しているものは横軸に登場しないと、というような整理をさせていただきました。
0:05:03	はい。右下 5 ページの 3 ポツでございますこれはSAの設備に対してどういう防護設計をしていくかという設計の基本的な考え方の整理をしていくということでございます。
0:05:19	結局もともとアノ 0※1 と書いてでも全体の方針を整理していくといったところには、
0:05:28	2 のページのところですかね、
0:05:35	言うなれば隅括弧が書いてある重大事故等への対処について、系統構成になった解説に書くところにあります通り多様性知的分サンボ数容量環境条件等こういったもの。
0:05:45	関係性を踏まえた整理をしている必要があるということで、この三本の下の衛星としての前提の考え方ということを整理をさせていただきました。
0:05:56	基本的にはA地区と、
0:06:00	5 ページの下から始まってます通り、ナカ井清としての考え方ですね、下ISAを中心に系統構成をするということ。

0:06:09	あと、
0:06:13	5 ページの下から 6 ページの頭にかけてですが、Ssへの影響度事象進呈速度とか事象進展に対する時価ユリとの関係を考慮して、
0:06:25	考えていかなきゃいけないということを、頭で整理をした上で、その上で、下 6 ページにあります通り、とりあえず多様性知的ルーター戸数様用の観点というのを(1)(2)、
0:06:38	環境条件、道路関係を(3)ということで、それぞれその考え方を整理をさせていただきます。
0:06:45	で、6 ページ(2)番のところで、常設としての考え方、書いてありますが、ここでDB設備と兼用しない設備常設衛星設備のところ、
0:06:57	可能な限り独立性と書いてますがここにはいわゆる独立性だけではなくて多様性ということも含めて、機能を維持するという観点が整理されるべきかなと思いますので、今後、
0:07:09	整理化をしながら整理をしていければと思います。
0:07:12	はい。
0:07:13	あとは可搬型SAの方は、いわゆる基本設計方針でも、一番頭にいくように、
0:07:21	代替元売DB設備、等、同時に機能喪失しないということと、常設衛星同じような機能を期待する常設衛星と同時に機能喪失しないということが、
0:07:32	設計方針の大前提だと思っております。それに加えて、可搬SAの場合は、2N+1 だったりというある程度個数を準備しますがそれぞれの
0:07:43	ものが、同時に機能喪失しないように、施設噴砂を図ることが、設計の前提になると思っております。
0:07:52	そういった形で頭から今ストーリーをかけて整理をさせていただいたということでございます。
0:08:00	はい。
0:08:02	ええ。
0:08:05	後は、10 ページ以降の別添ですかね。
0:08:10	のところは、今、
0:08:13	文章としての読みやすさだったり、タームを二つに分けてそれぞれ言いたいことを明確にするといったことを、整理をしてきた。
0:08:22	いうことでございます。はい。
0:08:25	そのあと 16 ページ以降に 5 件分 1 というのがございますが、前ページのところで、特に整理として、
0:08:35	やってきたのが、例えば 17 ページの 36 条の 14、また幼稚園位置的分散のところの項目の常設の頭の文章ですが、

0:08:46	ここでいわゆる位置的分散も含めた設計のオオモトの、
0:08:50	考え方を書いてますので、このところでも、DB側とのコラボということでコラボする時には、姿勢としての特有の許容限界ですかね、設計の考え方として多様性、位置的分散を図っていくと。
0:09:06	ということが、間必要だということでコンパイル※1をつけさせていただいて展開をしております。
0:09:15	これ 11 日だけ私が 0 になってたと思うんですけど丸だけだと、その意図が伝わらないだろうということで※1 をさせていただいているところでございました。
0:09:25	はい。
0:09:27	あとは理事会から大きく修正したところという、
0:09:33	操作性、
0:09:35	ニッタの
0:09:38	44 ページへ行って、
0:09:42	41 ページの操作性操作の確実性というところ、これ操作場所だったり操作、
0:09:50	トミイタ操作場所か、操作場所の環境条件という意味で関係する所、ディーラーとのコラボということ紐付けということをすべからくしてきたと。
0:10:01	いうことでございます。
0:10:07	どこだっけな。
0:10:08	443 万だっけ。
0:10:11	航空機の話とかはされたんですけど、先般か。
0:10:14	これの航空機はちょっと全般的にすいません書きながらやりすぎかもあるんで、ちょっと全体の考え方を整理しないといけないと思ってます。
0:10:23	はい。
0:10:26	あとを直しているのは、
0:10:32	1.2 社様への
0:10:35	はい、というのが添付 1 の修正のポイントでございます。
0:10:40	あと、今後につなげるという意味で、本当のゴールはここではないので、添付 2 の方でございますがこれがDBと、
0:10:50	コラボして一遍いわゆる呉べ。
0:10:54	共通順位の資料 2 とかですかね、設計項目とか、その設計項目で語ること、あと、代表も含めて選定をしていくという中で
0:11:06	紐づけていかなきゃいけないということで、
0:11:09	これ最終形に向けた作業の途中経過に近い形、ただこういう作業をやらないと、いわゆる竜巻とかでやっている添付 1 に、

0:11:20	赤字の隅括弧でSAとしての特有系事項、設計項目を足していくという作業に繋がらないかなと。
0:11:27	取得時にはなかなか難しいかなと思ってこの添付 2 の状態をまずは作っていかうということでやっております。
0:11:34	結局は先ほど、SAの基本設計方針がDBとのひもづけをして、DBの提携条件の容積率どこと紐づくかと。
0:11:43	やった上で、それに対応して、屋内屋外の機器が、あと建物ですね、構築物も含めて、どういう関係で義務づけするものがあるのかということ。
0:11:55	そこで考慮する設計項目は何かということですね、そういったものを示しているのが添付 2 でございます。
0:12:03	これを最終的には、
0:12:06	竜巻フカワで言う添付 1 で行っていたものをこれに合体させて、整理をしていくということを目指そうとされているところでございます。
0:12:15	はい。
0:12:16	その時には黒字で書いてあるところは同じであれば、そのまま工事DBと吸収されていくし、赤字は赤字でいえることなんですね。赤字の話が添付 1 に合流した時にはSA特有の要求事項として、
0:12:33	竜巻内の基本設計方針の展開の中で、合わせて見ていくものだと、いうことをわかるようにしていきたいというのが、作業としての今後の進め方とっております。
0:12:44	これを竜巻だけじゃなくて他の八条、
0:12:47	やはりにも展開をしていくということでございます。
0:12:51	はい。
0:12:52	最初の資料の説明以上でございます。
0:12:56	はい、規制庁山口です。それではまずはSN9 事項整理に関して、規制庁側から、
0:13:04	規制庁の藤原です。
0:13:07	今回、添付 2 をつけられて先ほど最後にご説明ありましたけど、今後その説明グループ 1 とかで説明されるような、
0:13:18	八条の他の事象とかも、これを
0:13:22	どんどんふやしていつていつていうことで整理されて、最終的にDBの方の竜巻の添付 1 ですか、そちに合流していつていつていうところで、
0:13:35	他の八条の事象っていつていつてくる感じですか。
0:13:46	はい、日本インダでございます下では金曜日を目指そうとっております。
0:13:52	規制庁ノジリさんは今週の金曜日ですね。わかりました。
0:13:59	規制庁の藤原です。

0:14:02	はい。で、中身の方の確認を、
0:14:06	定期たいと思います。
0:14:09	すいませんもう1点、先に年資料の構成というかその点で確認なんですけど、今説明いただいたこのSAの要求事項の整理の資料と、
0:14:21	あと次に説明していただく、説明グループの資料で、
0:14:27	この表とかがかなりかぶってくるんですけど、これって一別々で、今回と同じような形で整理をずっと続けていく方向性ですか。
0:14:40	はい。弓削志田でございます。そこの連帯の住み分けだったり全体の構成は一度考えさせていただきます。
0:14:49	もともと説明グループの方が、全体の枠を担っているところなので、そこで吸収できるものを吸収してと。
0:14:58	思っていたんですけどそれぞれに作業はしないというところで、なかなか修正のいたちごっこになってしまって最新の状態がうまく反映できてないという、
0:15:08	最もやっちゃいけない状態になっているのでちょっと作業の状況を含めてですね全体のスコープを整理をして、同じような資料がついてそれぞれ違う場所になっているとかってということがないように進め方を整理させていただければと思います。
0:15:23	はい。規制庁の藤村ですよろしく申し上げます今言われた通り、SAの要求事項の整理は12月12日に提出されて、次のバージョンになるんですけど、次に説明される。
0:15:36	資料の中の、この同じような部分については、11日に提出された状況であったりと、あとまた、説明グループの方の資料に載ったところで、この
0:15:48	SAの要求事項の整理の流れというか、進め方みたいなどころもあるので、こういった形で整理していくかというところを今後は検討していただきたいと思います。
0:15:59	で、中身の方の整理について確認をしていきたいと思います。
0:16:05	それまでと、
0:16:07	資料の構成とかで何か規制庁がハラダ、コメント等ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:16:16	コサクです。
0:16:19	本来わあ、
0:16:21	共通12でできりゃいい話が、
0:16:27	上手く着手できなかったということがあってどういう視点で対応すべきかということの論点整理でこの資料が出てきてるんだと思っ
0:16:37	てまして。

0:16:39	だとする等、最終的には共通 10 人を落とし込めばいいと、いうことだと思っ 思うんですね。
0:16:46	落とし込むにあたり、表なんかはそう、そうなってくんでしょうけど、文章 でいろいろと今回も練られてきているところが、
0:16:57	様言わないように入れ込んでいくということを、さっさとしまえばです ね。
0:17:04	それで一本化になるんじゃないかなって感じがするんですけどどうで すかね。
0:17:09	でございますおっしゃっていただいている通りですね、もともと京都を作れ ればアノコウ作業も、特に必要なかったところを、なかなかうまくつけれ ないので、
0:17:23	その前段階の整理をしようということで始めてます。そうですね。それぞ れ本部いろいろ書いてますけど、これがいわゆる共通の資料 2 なりを 作り込むときに考えていたバックデータというか、
0:17:37	背景にあるものを、共通事務内を作った時にうまくどういうところにソー ティングしていくか入れ込んでいくかということも整理をして、共通に結 びつけていければ、
0:17:48	あまり他の、どっちがどっちということも含めて考えなくてもいいとは思 います。はい。ちょっと全体の整理を、そういう観点でもさせていただけ ばと思います。
0:17:59	はい、長田です。この段階で、前回もそういう話したんですけど、それが 着手できなかったがゆえに、結局
0:18:08	気づかずになっちゃったっていう感じがあると思うので、このタイミングで 整理をして
0:18:15	整理し切るという形に進めていただければと思います。
0:18:22	千原さんどうぞ。
0:18:24	はい。規制庁の内村です。それでは本文の方から、あと全体的に本部 から波及して、表の方にいってもいいかと、添付ですかね、の方にいっ てもいいかと思うので、確認を進めていきたいと思います。
0:18:38	まず、
0:18:40	5 ページあたりの話になるんですが、
0:18:47	5 ページの隅括弧が 3 ポツの中の隅括弧 D、SA 設備の設計の設定の ある前提となる基本的な考え方とかのところでもいろいろと書かれてい て、
0:18:57	一定期間の範囲においてみたいな話とかがあるんですけど、全体的 に、
0:19:04	安全上昇のない、

0:19:07	期間とか、
0:19:09	そういう言葉で今まで整理されてきている。衛藤。
0:19:14	あれですかね、特に井清でいうと、内的、SAの非安重みたいなところですかねそういったところでもよく、
0:19:22	るその衛藤、
0:19:25	安全上支障のない期間って、具体的にはどれぐらいの日数とか時間であったりとか、松木までいくのかわからないですけど、その辺どう考えられているのか今まで
0:19:36	具体的にお聞きしてなかったので、今回お聞きしたいんですけどもいかがでしょうか。
0:19:47	はい、荻野伊勢でございますまず
0:19:50	DB側でもよく出てくる安全用防護対象にし、防護対象市以外の安全機能を有する施設は、大体いいによって機能を確保するか、安全上支障のない期間で交換によってその機能を確保すると。
0:20:08	いうことを言っているものはまさしく安全機能との関係で、安重がいてその中に例えば安全機能を有する施設がいてそれぞれの
0:20:19	機能要求とかの重要度に応じて、どこまでそのシステムの維持ができるかと、ということから期間をはじくのかなと思いますけれども結局、
0:20:28	工程停止も含めてどうするかによって時間も変わってくると思うのでそこは確かに詰めていかなきゃいけないところだと思います結局規定上の
0:20:38	措置の期間をどう取っていくかということに繋がるのかなと思います。一方この5ページで言って当該事象発生後の一定期間の範囲というのは、いわゆる重大事故の確立、重大事故が発生する。
0:20:50	期間をどう見積もるかということ、それまでに準備をしておくことによって、事故が起こった時には確実に対処ができるようにするということだと理解をしておりますけど。
0:21:00	この企画をどうするかっていうのは、はい。ちょっと考えますが、
0:21:07	1週間とかではないと思ってます。
0:21:10	もうちょっと長い期間かなという感覚でいますけどそれが、それでいいのかっていう議論をちゃんとできるようにには準備はしないといけないと思ってます。はい。
0:21:19	はい。規制庁の柏原です。今おっしゃられたように、今後、こういったところは詰めていって保安規定なりでも示していかれるのか。
0:21:31	と思いますので、それがおそらく今まで実用炉なんかでもされてきていると思いますので、そういったところを踏まえて、今後考えられていくっていう理解でいいんですかね。

0:21:44	はい。日本原燃志田でございますはい。全戸呉の発令年度の実績も踏まえてはい。考え方を整理をしてご説明しなければいけないという認識でおります。はい。
0:21:57	はい。規制庁の藤原です。
0:21:59	よろしく申し上げます。はい。
0:22:01	コサクです。
0:22:03	石原さんが説明をされた説明で回答されてたときの前半後半が何か切れたようなことと言われてたんですけど、何が違うのかちょっとよくわからなかったんですね。
0:22:18	結局ワー期間といっても頻度概念で、頻度が高いものは、
0:22:27	切れ目なく、機能を確保すると。
0:22:31	頻度が低いものはある程度の期間内で復旧すればいい。
0:22:36	ということ。
0:22:38	或いは対策をとればいいということ等、
0:22:41	何だろうと想着いてまして、
0:22:44	で、
0:22:45	従来もう、重要な機器については多重化を図っていて、その片系が喪失した状態で、どれぐらいその
0:22:58	までに、両システムを維持していけばいいかということでAOTが決まっていると、ということですから、概念に相当するのが何で、
0:23:13	一方でそれよりも頻度が低くなりグレードが低いということで、少し余裕を持って、
0:23:21	設定をしているというものがどういうものであり、
0:23:25	今回の重大事故等対象施設が、
0:23:28	どの部分がそれに相当するのかと。
0:23:31	いうことを整理をしていただければいいんだと思っております。
0:23:36	再処理の保安規定、もう当初から設定する際に実用炉の経験を踏まえてですね、設定をされているはずなので、
0:23:47	そこら辺を見比べて実用量で製造しましたかと。
0:23:52	というようなことも念頭にですね、ササッとまとめていただいて
0:23:57	お話いただければいいんじゃないかなとは思いますが。保安規定の審査ではまだないんですけど、そここの部分がそれに相当するつもりで設計してますと。
0:24:09	いうふうに言うていただく必要はあると思っております、それは保安規定に引き継いでもらうということかと思っております。以上です。
0:24:18	はい。日本原燃庄田でございますはい。ありがとうございます。おっしゃっていただけてる通りですね規定で安重とかの

0:24:28	機能喪失時の
0:24:31	何だ、
0:24:32	機能回復までの期間ですね。
0:24:37	そういうのを設定してるもの、設備の重要だったりTだったり、その辺を回復しないといけない状態にするための猶予期間という、そういうことの、対象になる今回の設備の関係性というのを整理をして、各発電所の実績も、
0:24:52	見ながら考えながら、整理をして、説明できるようにしていきたいと思います。はい。
0:24:59	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願いします。では続けて、6 ページ目のところに入るんですけど、両括弧でまた重大事故等への対処に必要な系統構成と、
0:25:14	本日も説明されていくのかと思いますけど、このパートのところの、
0:25:21	両括弧 1 の少し上のところ
0:25:24	是正設備の設計のところ、軸となってる多様性地域分散個数要領で環境条件っていうところで、
0:25:32	相互に補完し合ってるっていう話はこれまでのヒアリングで確認して、関係するから、整理しなければいけないという話が、ここで表されているんだと思っています。
0:25:42	で、もう少しこの部署をわかりやすくするのであれば、両括弧 1 が個数容量のことを、下に書いているのであれば、多様性知的坂さんよりも先に声数及び夜を書いていただく方がわかりやすいかなとは思っている、
0:25:55	理解できたので、今後、言葉を精査するときに整理はしていただきたいと思っています。で、
0:26:02	両括弧 1 のところが、衛藤その個数及び容量の部分だと思うんですが、ここは基本的に個数のことしか書かれていませんが、容量の部分ってどうなりました。
0:26:17	はい、宮城西田でございます。はい。
0:26:21	はいそこも含めて被災を整理しますまず
0:26:26	バックアップも含めた容量というと湖水容量のどちらかという個数よりの記載が多いと思ってますとはいえ、
0:26:34	容量といっても計測範囲みたいな容量の話もあれば本当の設備の容量の話で、個数とか瘻性があるようなような話もありますんで、全体含めて必要な期待に、確認させていただければと思います。
0:26:50	市長の藤原です。はいよろしくお願いします。
0:26:53	続けて、両括弧 2 のところ、ここが対応政治的分散のところかと思いますが、

0:27:01	7 ページ目の一番上のポツのところで、DB設備と兼用する常設井清設備はっていうところの最後共通要因に対して健全性を確保する設計とする。
0:27:13	というふうに徳田しで書かれてるような気がするんですけど、他のところも、健全性って確保すると思っているんですけど、他との違いって何かあるんですか。
0:27:29	前みりあでございます選択として選択肢として取り得るものが、ないというか、オプションがないので、限定的にここだけ書いてますがおっしゃっていただいている通り対策は当然ながら、いくつかの
0:27:47	選択肢のどれかを取るといこと、その中のプロには健全性を確保するという含まれると思いますので、全体誤解がないように記載は整理をさせていただければと思います。
0:28:02	はい。規制庁の藤原です。よろしくお願ひします。今の記載だと、多少誤解を、そこはおっしゃっている通り、産む可能性があるので適切に記載を整えていただけたらと思います。
0:28:15	その7 ページ目に入って、可搬のほうに入っていくと、二つ目のポチで、また、個数の話が書かれているんですけど、
0:28:25	ここで、両括弧1 頭に追加してほぼほぼ同じような話が書かれていると思っていて追加情報としては100 メーター以上とかですかね。
0:28:35	追加したいのはその100 メーター以上とかだけなんですかね。あとどこにどれぐらいの個数オクみたいな話とか、付加する情報とかはないですか。
0:28:47	はい。イノウエ社でございます今言われたような今は、いわゆる指定企業さんのあるものをそれぞれ距離を離すということで共通要因に倒れないという話をしていますが、オク場所自体も、例えば、何か、
0:29:04	系統としていくつかタイプが違うものを使うときも、そのタイプが違う1 系統が例えば系統構成できるようなものをそれぞれ別の場所に置くとかそういうこと
0:29:16	ホッカンの時の考慮っていうことを言われてますか。
0:29:20	はい。規制庁の磯貝です。1ヶ所に必要数全部置いてしまうのかとか、
0:29:27	そういう、そう。わかりましたはいすいませんでした。はい。日本インダでございます。承知いたしました保管場所を設定する時におっしゃっていただいているように全部を全部、
0:29:40	私的呉さんと言って、その位置的分散のABって分けた時の場所ってというのが一つの、例えば保管場所に全部入れてしまうと、同時にやられたら意味ないだろうっていうのも含めてちょっと考え方を、
0:29:53	誤認もしていければと思いますはい。

0:29:55	はい。規制庁の藤村ですよろしくお願いします。
0:30:00	続けての(3)のところでの整理なんです、文章中 2SA設備への
0:30:09	とか、
0:30:09	事象進展速度、事象進展に対する時間余裕の観点を考慮してっていう話がされ
0:30:16	とう。
0:30:17	あれ。
0:30:19	元に整理した結果の表ってその要素って入ってるんですか、今なんか入ってるように見えないので、どうせあの実際どう整理したかったのかを、
0:30:29	考え方は、いえ。はい、西田でございます。はい。まず、確かにどっちかとなってしまうのは恐縮でございますおっしゃっていて、(3)の文章のリード文で書いたもの。
0:30:42	それぞれ考える要素っていうのを、それぞれの横野パーツでですね、はめ込んでいって全体のストーリーを作るということが、したいことではあるんですが、番号おっしゃっていた。
0:30:55	来ている通り、事故との関係でいくと、
0:30:59	どこだっけな。
0:31:01	工程停止の話ナリタ形成で工程停止の話をしていたり、それ以外にも事故の起因にならないような、外外傷みたいなものは、僕考えるかみみたいなものも含めて、
0:31:13	全体の要素をこの中に入れていきたいというのがもともと考えているところです。平常なりきれてないところは修正をしていければと思います。
0:31:20	規制庁の藤原です。
0:31:22	そうですね今、多分整理したい内容が盛り込まれてなくて、見えない状況かと思っておりますので、この両括弧 3 についても整理をいただけたらと思っています。
0:31:33	で、両括弧 123 って言ったところとかですねこの資料を読んでいて、
0:31:41	一番最初に共通 10 人イクノ行く前の、その前段階としてちょっと整理が必要だということでこれを整理し始めて、
0:31:51	これがじゃあどう共通中に展開していくのかっていったところがわかりづらいのかなと思っているんですけど、例えば、両括弧 1 とか 2 とか 3 とかっていうところで言うと、
0:32:04	共通 12 でどう展開していくとかそういうイメージとかありますか。
0:32:10	はい。人間ニシダでございますはいそこもちょっと手当をしようとは思いますがおっしゃっていただいている小令和、

0:32:18	1人を整理しようということに大分表を行ってしまっているところなので実際は0※1と振ったものっていうのが、どういう考え方で、このマル※1で言っているSA特有の条件設定ですかね。
0:32:33	が、導き出されたかそれが妥当なのかというような考え方の整理をしたいというのがこの隅括弧以降の考え方でございます。
0:32:43	結局資料、今日トイレ行くと資料2で、先ほどあった最後の添付2でやる時どう、それぞれのDBSAの設計項目を抽出するときに、
0:32:53	政府としての赤字で書く特有の考え方っていうかね条件みたいなものを紐づけていくということ。
0:33:01	が、最終ゴールだと思ってますんで隅括弧で下角括弧の中で出てくる赤字のものが、確かにその考え方が正しいと、そういうどういう考え方でそれが成り立ってるのかっていうところをここで今一生懸命今、
0:33:15	解説をしようとしているということでございます。そういう意味でこの3ポツの文章と、
0:33:22	7ページ以降の兵頭、そのあとの下、前でしたらね、別添1の表、これが全部コラボして、最終的な姿にどう結びついていくかっていうところを意識して整理をする必要があると思ってます。はい。
0:33:37	はい。規制庁の二村です。
0:33:40	そうですね。全体的にどう、共通12の方に展開していくか、両括弧1とかであれば個数容量の話なので、
0:33:51	特に各条のSAの方に振っていたりとかいった話もありますし、衛藤。
0:33:58	市田キムラさんであれば配置設計を見るにあたって資料3でどう整理していくかみたいなのところもあると思うので、そういった今後どう展開されていくのかっていうのも、イメージがつくように結局、最初の話で共通授業も、
0:34:14	さくっと作ってしまえばみたいな話があるので、もうあれかもしれないですけど次の段階でもう見えるのかもしれないんですけど、それが整理の方向性を
0:34:24	思い描いた上で、こういったところの整理も進めていただけたらいいのかなと考え方を整理していただけたらいいのかなと思っています。
0:34:37	はい、宮城西田でございます。はい、ありがとうございます。この資料の目的でもあります。はい。考え方を整理して、最終ゴールへの位置付けということの関係性も含めて、整理をさせていただきます。はい。
0:34:51	コサクです。今の点、ちょっと物体に話ししておきたいんですけど、
0:35:00	(3)で言われているのは、(2)基本的な概念を言われていたものを、ポイントになるところを今日抽出して、次につなげると。
0:35:13	いう古藤でいいですよ。

0:35:17	はい。井上ニシダでございます。はい。その通りでございます。そうならない部分もあります。
0:35:23	はい。補足です。つまみ食いになっててせつかくその(2)で、論理構成を下の2、例えば、
0:35:32	可搬の
0:35:39	外的SAの関係っていうところですかね。
0:35:43	8ページの、
0:35:46	ところの右側、
0:35:50	これは
0:35:57	これ、具体的に何かって言うと地震と火山です。
0:36:02	その随伴ですよ。
0:36:05	それ。
0:36:07	2N+ α ってというような話で書いてますけどそれなんか繋がりがります。
0:36:23	これを言うと1.25ですか。
0:36:28	そういう意味では確かに繋がってないですねはい。設計にSsで動的機能維持も含めて見るって言うところと、いわゆるこの外おっしゃってるっていうとですね重大事故の発生原因となる外的事象等の、
0:36:42	でいうと、地震と火山が出てきて、それ以上も含めて言うと、それに対してはまず、耐える設計するという部分、先ほど布田さんが、健全性か、
0:36:53	01ってところがまさしくそうなのかもしれませんね。そこの関係の中もちゃんと設計をするということプラス、それ以外の事象起因がない日に対して、
0:37:03	見えるっていうか別の場所に置くことによって機能喪失を下げ、同時機能喪失の事を避けるとか、全体のストーリーが前の方と繋がってないですねはい。
0:37:13	はい、大坂ですそういうことで、まず、このポイントは、主に左側かもしれませんが、健全性確保では対応できなくて、
0:37:26	諦めてます。
0:37:28	いう時になんでそれでいいのかっていうと、2N+ α でとか、
0:37:33	或いは多様性、独立性があつてとかっていう、
0:37:37	古藤の説明をするとのパスです。
0:37:43	安重等違う対応をとっているということで許容されるのか。
0:37:49	いう説明のパターンを作るということだと思ってます。
0:37:53	で、
0:37:55	そこがちょっとはつきり、せつかく(3)の枠を作ったのに書いてないってことで、或いは逃げなくてもいいものがあるはずなのに丸々逃げた書きぶりに

0:38:08	しているところもあって例えば常設のアマノ、7 ページですね常設の外的、
0:38:15	については、全部が
0:38:20	逃げてるかのように書いてますけど、そうではないはずなので、
0:38:24	そ、そういったところも含めて整理をして、どの部分が、駄目で、て対策としてはこういうふうなことで大丈夫にしますと。
0:38:34	いうことを明確にしてください。
0:38:37	一方で、右側 1.2Ss だったりということで※2 の話になるんですかね、プラスアルファとして考慮するものと、
0:38:47	いうことで、それも対象が何でどうしていくかということ、これが共通中に行ったときに、プラスアルファとしてDBと統合する。
0:38:59	中でも、プラスとして説明をする項目というのでちゃんと引き継がなきゃいけない部分なので、引き継ぐ内容というのを具体的にしてくださいと。
0:39:07	ということかと思えます。
0:39:11	はい、日本イシダでございます。はい、ありがとうございます。今いただいた内容を含めて踏まえて、整理を進めます。はい。
0:39:21	規制庁の藤原です。
0:39:23	と、
0:39:24	続けてくとすいません、これはちょっと細かい部分なんですけど 8 ページ目のところで、
0:39:32	ハバノその四角の中の左側の部分の際、三つ目のポツの設備の大きさも手の届く範囲であることと、
0:39:43	の可搬型である特徴を考慮していったところの説明したい内容を、
0:39:49	もう少し補足していただいていいですか。
0:39:57	はい、日本イシダでございます。はい。
0:40:02	わからないですがやりたいことは、可搬型衛星自体の設備の大きさ、形状なりを考えたときに、人が容易に、にジョセツとか除条件っていうか
0:40:17	外的要因を排除できると、いうことをそういう作業ができるということが前提だと、いうことを書きたいというのがもともとの趣旨で、
0:40:27	すいませんコサクです。結局それは、
0:40:31	DBと何が違うんですか。
0:40:43	はい。与儀の伊勢でございます。おっしゃっていただき、これはあれですね。
0:40:50	DBの世界でも、そういう場所にあるものは同じ条件、できるものはやりますっていう話だと思うので当然建物に入って建物の屋上だって、

0:41:00	除雪をするわけで除外をするわけで、やろうとすることがあまり変わらないですね。はい。ちょっとこの辺の整理もしていければと思いますはい。
0:41:12	はい。規制庁の橋村ですよろしくお願いします。
0:41:17	続けて、
0:41:19	10、すみません、12 ページまで飛びますが、
0:41:25	12 ページの
0:41:27	溢水薬品の 12、13 条の 119 番のところで、二つ目のポツは、
0:41:35	幹事のお話かなと思うんですが、一つ目のポツは、他の時の話をしているのか、使用時の話をしているのか、これってどっちですか。
0:41:48	はい、乳井ニシダでございます括弧書きが頭にある通り保管時の話なんですけど、
0:41:54	そういう人でもあれだよ、分けて書く必要があるかって話。
0:41:58	新保。
0:42:00	そういうこと。
0:42:02	はいちょっと整理をしてはいやりたいことは補完のお話です。はい。
0:42:07	規制庁のフジワラですわかりましたじゃ両方ともご感じの話。
0:42:16	これはさっき少し、
0:42:18	これですかね。
0:42:20	石原さんから求めましたけど、分けて書く必要があるんですかね。
0:42:26	はい。二本木ニシダでございます。ここはですね。はい。
0:42:31	この資料に限らず、みんなのくせが出てるところで、どこまでを同じ分類というかというところのゴールとの関係ですね。甲斐。
0:42:43	的な内的も含めたいろんなハザードに対して、機能喪失しないようにやりますって意味では一緒。
0:42:51	やり方が大きいから、箱みたいに入らないかシートで下オカだけなので、そういう意味では目的からすると同じなので、書き方をちょっと工夫します。はい。
0:43:02	規制庁の藤村ですよろしくお願いします。
0:43:06	あと、続けてと、14 ページ。
0:43:10	の、
0:43:11	ところで、
0:43:13	14 ページの 3 ポツの屋外の、
0:43:18	常設の 3 ポツ目の三つ目のポツとか四つめのことなんですけど、まず三つ目のポツ、

0:43:25	屋外の常設衛星設備に関する設計方針に対しては、DB設備の設計方針のうち、建屋に関する設計方針を紐付けるって書いてあってちょっとこれが理解。
0:43:38	できないんですけど、
0:43:40	設備、構築付けが入ってるかもしれないですけどSAの
0:43:45	タダ、建屋に紐づけるんですかって言ったところが、屋外の、
0:43:51	機器配管とかそっち系じゃないのかなと思ったりもしたんですけど、この点の整理って、どういう考え方なのか説明してください。
0:44:18	はい。はい、与儀でございます。最も高かったのですね、これ
0:44:23	屋外の常設衛星設備に対する環境条件とかいろいろ考えなきゃいけないことを見たときに、そうになってないので今から言いますけど、
0:44:33	建屋も含めると、DDT建屋で言ってる条件も、設計方針も考慮して、全体カバーしていきますよってのがもともとと言いたかったことです。はい。
0:44:45	規制庁の藤村です。はい、建屋の方も含めてってことで実際具体的には、この後に続く店舗1ではどういう感じになってるんでしたっけ具体例、どれか説明していただいていいですか。
0:45:00	はい。ちょっと待ってください。
0:46:03	はい、日本インダでございます。29 ページ見ていただきますと、
0:46:07	36 条の 9192 ってSA側では要求が並んでますと、36 条の 91 これ屋内の設備はということで、
0:46:19	外部衝撃に耐えられるような建屋に収納することで、機能を確保すると、これは屋内の設備に対することなので、これは
0:46:30	竜巻に行っても例えばですね竜巻に行っても、屋内の竜巻防護対象施設は建屋内に収納することによってその機能を損なわない設計とすると。
0:46:41	いうふうに流れます。今度 92 番見ていただきますとこれは、屋外の常設重大事故たい設備が出てきたときに、結局、これが
0:46:53	屋内屋外の分け方だけなので、いわゆる収納する建屋も含めて全体どうカバーしていくかということになったときに、建屋で竜巻でいう今じゅ、15 番か。
0:47:06	16 はないわ。
0:47:10	二名はこれで 116 名中 56 建屋か。
0:47:14	だからこの連帯屋外のと言ってオクないのと言ってしまった建屋が抜けるので、この 92 番側で、建屋の設計を竜巻で語っているものもあわせて、
0:47:24	この中で紐付けをしていきますよというのがもともとと言いたかったことです。

0:47:30	町のフジムラ提出わかりましたまず 14 ページの
0:47:36	記載されてる文章を修正しましょうねっていうのがまず 1 点かなと思って います。で、10%コウ 16 のところに紐付けたときに、
0:47:47	今回付けられている添付 2 とかで言うと、
0:47:52	タテアノあそこタケヤのところに紐ついて、
0:47:58	だっけ。
0:48:00	そこでの常設衛星に対しての話ってどういうふうに展開されるんです か。
0:48:11	ここに来ると、さっきのところでは建屋を紐付けた時に、今度ですね、
0:48:18	さっきの話でいくと、16、19 か 19。
0:48:26	さっきの 1 で屋外の常設重大事故対処設備の後、優勝がもともと SA 側 の主語ということです。そのまま単純に屋外の、
0:48:37	結びつけるとすると、ここで言うと 19 番に紐づくのは、屋外の機器配管 だけが関係しますよねということになるんですが、実際これは途中の建 屋のことも含めて考えなきゃいけないんじゃないかということなんです ね。
0:48:55	ような、
0:48:56	これタケヤのやつどこでいいけど、
0:48:59	提案するものが設計基準になって 19 名でされてるんですね、犬 9 番 は、わかった分かった、わかった分かった。
0:49:08	これに何かもうちょっとちゃんと書かないと分かんねえな。
0:49:11	やばいだよね、防護対象に入ってるやつは 19 番で受けてるけど、防護 対象設備を収納する建屋もっと前なんだよねきっと。
0:49:20	面倒くさい声。
0:49:22	設計基準はそんなにありませんがやってることを多分説明しようと思っ た後においては無理だよ。
0:49:31	立岩タテ 65 万人、15 番目です。
0:49:36	15 番結びつける 49 番、15 番ヒロキ 19 番。
0:49:43	設計基準上は、みずからが防護対象になってないっていうのが、15 番。 そんなことないじゃないや言うという感じ。
0:49:52	うん。だから、漏れがないようにコイケて、D で言うアンリュウの伴でも さ。でもあれだよ。
0:50:02	すいません。はい。コサクですけど。
0:50:07	今の会話を聞いて言うとう基本設計方針の書き方、設備を書いているのと 建屋を変えての書き方が、
0:50:18	少しぶれがあるというところ、或いはそれから、
0:50:23	重大事故の方が十分書き切れてないということを穴埋めするために、

0:50:32	飛ばし先っていうのをさらにいろいろと考えていって、漏れのないようにしようとされてるってことですか。
0:50:40	はい。日本原燃板谷でございますはい。おっしゃっていただけてる通りです。はい。
0:50:46	コサクです。だとしたら、設計方針直したらいいんじゃないかっていうのがまず一つ。
0:50:52	で、もう一つは、
0:50:55	紐付けとして、
0:50:57	屋内SAを屋内DBに紐付ければ、
0:51:04	屋内DBの設計方針、
0:51:09	使う、同等にしますということなのだから、DBで建屋に飛ばすわけで、
0:51:15	それとセットにおのずとなるのでわざわざこっちで二つしかなくても、DB側でくっついていくってということにはならないですか。
0:51:23	はい。人間のイシダでございます。まずおっしゃっていただいて、
0:51:27	オリタ部分もあると思います。おっしゃる通り今屋内SAは、外部処理に耐えられる建屋に収納式ってところで、屋内のDB設備の防護対象の設計に飛ばす。
0:51:53	規制庁の内原です。石原さんの声がこちらは途絶えたんですけどこちらの、
0:51:58	あれですかね。
0:52:00	通信状況の、
0:52:02	が悪い。
0:52:06	こちらの声を出してない。
0:52:08	ネットワーク、
0:52:13	数でいい。
0:52:14	行くというよりは基本は
0:52:17	一本線で繋がっていけるようにという、
0:52:21	ことの中で補足として付記するということで対応されてたはずなので、そのルールを持ってくれば問題ないんじゃないかなと思います。
0:52:32	はい、上西でございます。ありがとうございます。おっしゃっていただけてる通りですね、DB側の設計項目の整理でおっしゃっていただいたように、建屋内に収納するものってのは、その周りを囲ってる建屋の設計っていうのを、
0:52:45	次の設計方針に預けたりして、飛ばしてカバーして紐づけていって、
0:52:49	ある意味では、SAが、その頭に飛ばせば、
0:52:53	面的に流れていく。
0:52:55	はい。

0:52:57	理解しました。ありがとうございます。
0:53:01	規制庁の藤原です。ちょっと膨張側は少し音声が飛んでいた部分もあるんですが、何となく理解ができた気がするので、
0:53:10	はい。
0:53:11	ありがとうございます。
0:53:14	コサクです。それで言うとそのDBの方での紐図、
0:53:20	県の四方の修正は、
0:53:23	終わってるんでしょうけど次の週で終わった形になってるんでしょう。
0:53:31	はい。宮城ニシダでございます。はい。54 ページとかでも展開する前の議論のやつが反映されている形になってますので、そういう意味で、ここで書いてるならそれ理解してやれよって話ですね。はい。はい、おっしゃる通りです。
0:53:46	そうですわかりましたそれで整理を
0:53:50	して進めていただければ、
0:53:54	キヨウラさんどうぞ。はい。規制庁の藤原です。
0:53:57	ありがとうございます。整理を進めていただきたいと思います。ちょっと
0:54:03	2 ポツのところでは1 点聞くの忘れたので、少し上のところに戻るんですけども、2 ポツの悪影響防止の部分で、二つ目のポツのところのその他の悪影響についてはってざっくり書かれてるんですけど、
0:54:18	これまでのヒアリングで、
0:54:21	その前のページの前の 3 ページ、
0:54:24	ところで悪影響防止なんかは整理されていると思うんですけど、この関係で、
0:54:29	どう整理しようとしているのか言葉が足りない部分とか補っていただきたいんですけど。
0:54:36	いかがですか。
0:54:41	はい、さようでございます。今言われてるのは事業時点で言う悪影響防止の二つ目のポツと、前の方の 3 ページの文章の関係です。
0:54:54	3 ページで書いてある、この趣旨するのが、設計基準の影響募集の設計方針として具体的に、
0:55:01	こういうことは網羅して、配慮しなさいってことが記載されてるので、
0:55:06	粛々とただ応援は紐付けだけっていうのを、
0:55:11	ただこれだと。
0:55:15	それで竜巻の話書いてるけど、次、内部発生したマツモトの悪影響って全部かかっているように、
0:55:21	それと 16 条の 3 をかける。

0:55:25	規制庁日下です。ちょっと質問をもう少し丁寧にして、一つ一つ回答してもらったと思うんですけど。
0:55:34	3 ページで書いてあるのは悪影響防止という頭に 16 条ともう書いてあるんですけど、
0:55:43	地震かざ火災溢水、
0:55:46	薬品漏えい、その他の自然現象、人為事象、
0:55:51	ていうもの。
0:55:53	カラーによって
0:55:56	他から影響はあった。
0:55:59	受けると。
0:56:00	いうことについて、
0:56:04	それを全部 16 条で説明するつもりですか。
0:56:11	はい、日本イシハラでございます。そういう形になっているというかそう説明をつけます。ただ、そう説明している今の段階で、
0:56:24	何かかなり無理があるなという気がしてきましたそれぞれ事象の状況が違ったり、考えないといけない公立高校違うのに、全部案いうで示している方と、
0:56:36	これは何か条文とか事象が分かれてる意味が全くなくなってしまふところもオカが一生命分けているところとの差分がまた出てくるな。
0:56:44	いうこともあってはい考えコサクです。
0:56:48	なので、14 ページで見るとそうではなくて、竜巻のところで説明しますとかっていうことが書かれてるんだと思うんですけど、違います。
0:56:59	はい。宮城ニシダでございます。はい。竜巻がおっしゃる通り固縛の話もあったんで、徳田しで書いてますけどそれ以外の事象もどう考えるかの整理がいいか。
0:57:10	はい。
0:57:11	はい。
0:57:12	コサクです。で、
0:57:14	なので、ちゃんと振る場所っていうのを明確にして具体が繋がるようにしましょうねっていうのが前回のコメントだったと思うんです。
0:57:23	そうする等、基本は地上系の自然現象については、そちらに不アノ 16 条でも確かに影響を受けないっていうようなことはあるので、
0:57:36	一番頭にはあるのかもしれないんですけど、そこで自然現象なんかは八条で対応してリティ、合わせて見ていきますということで振って、
0:57:46	いくと、16 条で振っている。
0:57:51	ことから、

0:57:53	SAから降るときに 16 条経由D八条に行くというのでも、構わないとは思いますが、
0:58:01	その辺りの考えを整理をしてそれが具体的にここでわかるようにしてもらえればなと思いますが、16 条経由になるんですかね。
0:58:12	でも、個別、十八条でもいい評価機能維持と言っているのでも、和気が含んでるような気はしますけど。
0:58:23	悪影響防止外観光を考えた設計をしなきゃいけない。36 条から 10 年と飛んで、
0:58:31	それをわざわざ 16 時を返して渡すっていうこと、意味があるか。
0:58:36	何も書いてなかったんですよ。
0:58:38	全然意味があるとは思いますが、これはピーク講師は、何でしたっけ、設備グループだと、SAとDBと一緒にコラボになって、
0:58:48	何グループでしたっけ、4 グループ 4、3 パターンで買ってるって言ったのにちょっと引きずられて無理くり紐づけてるところあるんです。
0:58:58	それは機能との関係がありますかって話。
0:59:01	環境条件高齢者、機能委員っていうのもあるかもしれないけど、全然なことだよ。うん。
0:59:09	そういう意味でいくと、うちがやんなきゃいけないんで、16 条もふわっとしてるから、ウェブクルーはちゃんと昇給してない。それぞれがちゃんとそれぞれの状態のところ必要なところに飛ばしにいってってことを、
0:59:21	ウタダ 16 条愛する必要ないんじゃないかなって言うのはそう思います。
0:59:26	ちょっと整理します。はい。
0:59:28	はい。補足です。私も、
0:59:31	経由する必要はないかなと思って、個別条文では、波及影響防止読めないってなると、
0:59:39	しょうがないなっていう感じにはなるんですけど、大体読めると思うんで、その場合には直接紐付けていけばいいと、いうことだと思います。そうすると 16 条でもまず、個別に、
0:59:50	との関係性を明確にして、36 条でも明確にしということで、紐づけは個別の方にしてしまうと。
0:59:58	というのが一番いいかなと思います。その中で、内部発生飛散物は飛ばし先ってのはなくてこの部分でやってるので、16 条に飛ばしますと、
1:00:08	ということで 16 条リンクを貼るのを、
1:00:12	まさにDBで 16 条でやってることに限定すると。
1:00:15	ということだろうなと思います。よろしくお願いします。
1:00:20	はい。日本原燃志田でございます。承知いたしました。
1:00:24	規制庁の藤村です。整理よろしくお願いします。

1:00:30	で、
1:00:32	主に本文、もしくは本文から波及してってところでの確認事項。
1:00:39	ざっと私の方でお伝えしたかった部分を確認しましたので、それ以外閉庁側から確認ある方いらっしゃいましたらお願いします。
1:00:50	超過ですね、
1:00:53	先ほど元西原さんから説明があった4ページ目5ページ目の外部火災の関連2点、また書きなお書きの二つなんですが、
1:01:04	これちょっと前回コメントしたいとの回答に今回なってないような気がして、
1:01:11	前回、まずこっちの4ページ目の下のまた書きの方は、
1:01:16	森林火災に何でもかんでも紐づけてしまうと、今ちょっとそのFARSITEの出力値を透過いろいろ書いていてその森林火災は、
1:01:28	おそらくその延焼防止機能防火対象防止機能とか、
1:01:34	そういう熱影響を、ちゃんとそのFARSITEの出力をもって説明しようとしているものになってるんですけど、一方で、
1:01:43	敷地内の、
1:01:44	火災は全部その、
1:01:47	オカタグチ側で起こるので、そういったものも漏れなくちゃんと、
1:01:52	説明できてますかっていう質問だったっす、
1:01:56	今回もまた、結局森林火災に紐付けるという説明になってたので、ちょっとそこら辺の整理聞かせていただけますか。
1:02:09	井出志田でございます配まらずはおっしゃっていただいている趣旨は理解しつつも、
1:02:19	僕は第1回の時に衛生関係で十時01でしたかね、許可の本文. 呉の記載から、今回、どこの家でどういうことを紐付けていくかという時に、
1:02:34	SAのところ、外部火災として森林火災は明確に書いてあると言いながら、近隣工場の火災が、
1:02:43	記載が明確にとびあ書いてあるかという、森林火災の陰に隠れてるような感じの書き方になっているので、そういったものも含めて、基本設計は先ほどコサクさんが基本設計をし直したらいいじゃんって言われたら、それやったらもう全部終わり。
1:02:57	解消されるんですけど、現状はその中の書き方を見ながら、どこにどうひもづけていくかというのを考え方を整理していこうということをやっているから大分、
1:03:07	こねくりまわしてる感じになってるような気がします。はい。
1:03:11	はい。喜多長官ととはいえですね、
1:03:16	結局、敷地内のことを小保方の外側で、

1:03:21	論じれますかっていう疑問があるんです。
1:03:24	はい、吉田でございますまずおっしゃっていただいた火災の現象として防護設計側での見方、見ていくときの評価となったり設計の考え方ということの類似性があるかと。
1:03:37	いう点からすると同じ見方が難しいと思います。はい。
1:03:41	なのでそういうことも踏まえて、どう分類するかということは今一度整理できればと思いました。はい。
1:03:48	施設部カセ論じるのが、
1:03:52	苦しくなればそれは、
1:03:54	ちゃんと適切に直す方向なのかなと思いましたので、5 ページ目の上のホンダオザキこれもちょっと、
1:04:02	コメントと違ってですね、
1:04:05	結局、熱的な影響評価の観点で、航空船舶火災とか車両火災っていうのは、近隣工場等の火災に包絡されますっていうふうに説明してきたものに対して、
1:04:19	今回そのSNLのアクセス性とか操作性とか、そういうその熱的影響等また別の観点でいろんなことが出てきたけどそういうのもちゃんと包絡して説明できるように、
1:04:32	ひもづけられますかっていう質問だったんですが、それはその、
1:04:37	外部火災では、そういう日熱影響評価の包絡性というのをやっていますが、他の条文でもいろいろやってると思うので、そういうところもちゃんと地震をもれなかったの。
1:04:47	抽出して、論点としてちゃんとやってくださいねっていうのがコメントで、振り返りでもそういうふうに言っていたらと思ったんですが、やっぱり何か、
1:04:56	影響評価のことだけ書かれてきたので、どうぞお譲りやってますか。
1:05:13	はい。井手志田でございます。まずははい。回答になり切って恐縮でございます。ここでも言っていれば、
1:05:23	性として、DBとは違った視点で、アクセス性だったり操作バスの話であったり、いろんなことを考えた。
1:05:33	影響を考えなきゃいけないというのは認識をしています。その上で、ここで単純に書いている影響評価に包含されているのがどういう影響が想定されるから、この中で、個別に見なくてもいいんだと。
1:05:49	いうことをもうちょっと考えていることを文章化して、説明ができるようにさせていただければと思います。
1:05:57	はい、鶴岡ですその方向でよろしく願います。とりあえず以上です。

1:06:05	規制庁の藤村です。すいません以上ですと私言ってたんですけど 14 ページの先ほどの話でいろいろと議論があった悪影響奉仕のところの部分なんですけど、
1:06:17	竜巻の部分で、
1:06:19	14 ページの 2 ポツのオクユキ防止で竜巻一つ目のポツで、竜巻 14 と 15 と 19 と 29 に紐づけるってあるんですけど、
1:06:31	今回添付していただいた添付 2 のところで基本設計方針見ていくと、竜巻の 21 って、波及的影響の話が書かれてる。
1:06:42	基本設計方針なんですけど、ここがひもづかないんですか。
1:07:08	はい、西田でございますまず紐づけてないまず理由は、いいかどうかはちょっともう一度考えます
1:07:17	これSA設備自体が悪影響を与えないということいわゆる加害者にならないということを見るために、固縛なんかの措置をしますということを語っていると。
1:07:28	いうふうに意識をします。一方竜巻の波及の基本設計をし 21 番でしたつけ、は、被害者に、
1:07:38	会社、
1:07:41	これもこれもコバヤシの木が被害者にならないように、波及だけおよぼし得る施設は、
1:07:47	構造強度を持たせる設計しますっていう、加害者視点での設計を述べてるんですよ。
1:07:54	そういうことだ防護対象施設が被害者にならないように、オカなものを頑張りますそう、ちょっと主語が逆転してですね。でもやることの設計があると、そっちの方が近いんですけど、
1:08:08	基本的っていう概念の方が近いんですけど、その主語が全然違うフレーズを同じように紐づけるところに気持ち合わせるさを感じて、
1:08:20	いう紐付けになった。
1:08:25	日本インダでございます。ちょっと被害者加害者いろんな視点がありますが設計として何を担保するかということです。ごめんなさい。今で言うと、
1:08:36	気持ちはよくわかるんですけど、36 条のSAって、そもそも加害者被害者両方要求かかっているじゃないですか。ありますね。そうするとそこにも紐付けないと、耐オオツカナイトウオオキことになりません。
1:08:52	返すことです。
1:08:54	はい、ありがとうございます。はい、おっしゃる通り、はい。

1:08:59	はい。規制庁の藤原です。21も紐づくということで、あと先ほどの、どこまでの議論にありました通り他の事象も悪波及影響のところ紐づけて言った時にも、
1:09:13	同じような観点で、抜けないように、整理していただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
1:09:20	他規制庁側から何かありますでしょうか。
1:09:24	コサクです。先ほどのオオオカの点ですけど、やはりそのDBとそのまま、
1:09:32	適用するとか、DBのことやってるからSAは十分ですってということではなくて、SAとしても考えることがあり、或いはプラスアルファで考える。
1:09:44	いう時に包含するっていう表現は、かなり間違えやすい表現だと思うので、最低限そういう言葉ではなくしっかりと関係性を明確にして、
1:09:56	※2であれば※2として、どんなことを見るのかと。
1:10:00	ということだ。
1:10:01	ラリーの※1でもですけど、
1:10:04	ちゃんと違いがわかるようにここでまとめておかないなという
1:10:09	よろしいですか。はい、上西でございますそうですね私も話しながら前回でも含めてちょっとおっしゃっていただいたようにDBは、
1:10:19	施設の中の話をして、内側の話をして、原発事故なんかは他の距離があって影響がありませんと言って終わっている。
1:10:28	セミナーと今度アクセスルートも含めて
1:10:33	ユリ場所も含めた、DBとは違う場所の話も考えなきゃいけないとすると、交流事故がまた変わってくるので、おっしゃっていただいているということも考えた上で、
1:10:43	何をどう語らなきゃいけないかということ、それでも個別に挙げる必要があるのかわからないのかということをした上で、条件で付加価値がつくのであればおっしゃっていただいてマル※2がついて、
1:10:53	メインとしてこういう事項が出てくるということの整理かと思しますので全体
1:10:59	小崎さんにおっしゃっていただいたことを、あと岡さんとのやりとりを踏まえて整理を進めます。はい。
1:11:09	規制庁の藤原です。このSAの要求事項の整理前の資料全体について、規制庁側から何かあればお願いします。
1:11:21	規制庁の荒井ですけど。
1:11:24	10ページ目ですかね。
1:11:27	別添1の話に戻っちゃうんですね
1:11:32	別添1の、

1:11:34	中出アノ。
1:11:37	括弧①から各校③まで分類しているんですけども、
1:11:42	10、10 ページの目の最初の 5 行ほどのリード文の中で、紹介文って言った方が適切なのかもしれないですけど、
1:11:54	累計のパターンとしての視点が少し書かれてて、外部衝撃等は発生の要因になるかどうか。
1:12:02	ていうところと、可搬型設備の特徴を考慮したていうところはあるんですけど、
1:12:08	①から③で、
1:12:11	実際見てみると、①がもう常設で 023 がもう過半ってなあって、
1:12:18	要因となる事情かどうかっていうところを、
1:12:23	等を
1:12:24	可搬か常設化以外の視点で振り分けたていうところってどこでどこなんでしょう。
1:12:32	少しわからなくてですね。
1:12:35	上の柱書きと表の整理が、
1:13:01	今一番は要因とならないんですよ。でもこれ常設に限っては、
1:13:07	ニワニワ領域の主あるでしょ。いや、でも、適切に何か混在してる。本当にわかった。
1:13:18	違う。
1:13:20	違う。さっきのさ、いや、基本的にはさっきの、
1:13:24	5 ページからの流れで、7 ページに表を作るんじゃないですか。これは絶対成立じゃないですか。はい。この視点で多分分けていくと、多分繋がらないから。はい。
1:13:35	同じような、同じっていいんじゃないのかな。浅香です。
1:13:41	おっしゃっていただいている通りで、7 ページ 8 ページの表でちゃんと書いてないよねって話を先ほどしてですね、これを整理をするとおのずと、
1:13:52	常設と可搬で同じ視点で対応するようなことっていうのがあって、
1:13:57	出てくるはずなんです。そういうのをちゃんと分類し直すと、
1:14:03	理解が進むんじゃないかなと思ってまして、この表を作るには、7 ページ 8 ページの表をまず作るにあたっては、その前の 5 ページからですか。
1:14:14	はい。
1:14:17	15 ページからですね SA って何だっけってところの整理をしっかりと読み解けばいいんじゃないかなと。
1:14:26	いうふうに思います。よろしく願い。
1:14:28	はい、三井田でございます。承知いたしました。

1:14:32	規制庁です入り返しましたダウン指摘のない場合、その前の兵頭同じような内容だった。ここもあんまり言及されてなかったのと言ったっていただけなんですけど。
1:14:43	あと最初の方で説明があった通り、これらの作業が何に繋がるのかっていうところが、今後整理されていけばですね、
1:14:53	この作業の意義とかそういうのは、だんだん見えてくるのかなあと思っていて、次の資料の中でも全体のすごい迷路みたいな表はあるんですけど 1 枚紙の
1:15:04	多分その中でこの中の内訳の作業の内容っていうのは書ききれてないような気がしていて、そこら辺明確になればいいのかなと思っています。以上です。
1:15:17	はい。乳井ニシダでございます。はい。ありがとうございます。そうですね。説明グループの設定の中にスケジュールをフローが書いてありますけどいろんな項目を細分化してますが結局これがどこのゴールに向かっていくのかということ。
1:15:32	それぞれの目的がちゃんと明確かということですねその辺の整理も進めないといけないと認識してます。それは、頭の全体の整理をする。私の方がやんなきゃいけないと思いますけどそういうことを進めていければと思います。はい。
1:15:52	規制庁山口です。私の方からちょっと 2 点、確認したいんですけども。
1:15:58	まず 10 ページの溢水薬品の上から三つのポツで、想定破損による溢水に対して機能喪失する接続孔に対する設計で、
1:16:11	ここで終息後の水位を低下させるって機能回復を図る設計ってあるんですけど、この終息後の水位を低下させるために何らかの措置とかを取るみたいな。
1:16:24	ということなんでしょ。
1:16:32	はい。宮城ニシダでございます。うそ接続自体操作場所になりますので、操作のためにそこに人が行くことによって扉を開ける。そのときに当然、
1:16:43	水が拡散されて、水位が下がるとかですね、それでも変わらない場合は何らかそのミツイを下げるための行為をすることになると思います。そういったところが書いてないってということですかね。
1:16:57	はい。規制下ヤマグチイシタソウノナカタダ持つだけオカモト谷そういうたい措置をとられるってことであれば、そういったところはちょっと明確にさせていただけるとわかりやすいかなと思いました。
1:17:11	と、あと、
1:17:12	12 ペイジーで、

1:17:15	以前もう一声になるところ防水シートって被水に対する防護として防水シートが出てくるってことで、
1:17:26	可搬型っていう特徴も考慮して、DBの方で行ってる固定されるような防護盤とは違って防水シートなりで対応されるっていうことでも理解したんですけども、
1:17:38	使用するその防水シートとかホッカンばこののちょっと設工認での扱いていうのがわからなくて、
1:17:45	防護盤であってあればその水圧とか耐耐震性に対する強度とか設置位置の考え方っていうのを聞くことになると思うんですけど、防水シートヤノカンバラこ。
1:17:58	何か対策設備とかになるのかとか、共通 12 でどう、どこで登場して、何か説明展開していくのかとかその辺りのイメージあれば、
1:18:09	説明いただけると。
1:18:23	はい、乳井の伊勢でございます対策設定ここもちゃんとイトウを書き下すということが必要だと思うんで、整理をしますが、は可搬であるということで移動させることが可能だということの趣旨を、
1:18:37	踏まえて今防水シートだったりオカババということをやってますいわゆるこれ
1:18:42	設備置いてる状況での何ていうんでしょう。
1:18:47	資機材の扱いだと思ってますいわゆる防護盤のように何らか水圧に変えるとか、
1:18:57	ここ、
1:18:58	機能を持ってるとかですねそういうことを期待してるものなくて、1年に何らかその石塚の影響を様、防げれば、あとは可搬なので移動して別の場所に置けばですね、その影響が回避できるというようなことの一連の流れで整理ができればなということで思っていました。
1:19:16	ただ、その趣旨が伝わるかというこの文章でとても伝わらないのでそこは整理をさせていただければと思います。
1:19:24	規制庁山口です。
1:19:26	確かに何か防水シート等は、確かにやっぱりミキもあるんですけど、
1:19:31	保管箱とかだところ水が入らないようなちゃんと構造になってるとかちょっとどれほどのものなのかはコサクです。
1:19:40	ごめんなさい。
1:19:42	資機材であろうと、基本設計方針として言う必要があるんですよ。で、
1:19:49	これ、防護版って言うてるのはそれを使用表に入るんですか。
1:20:04	日本インダでございます。仕様表には、このセキの終了は、
1:20:10	いえ、いける仕様書を開け本の集合体である。

1:20:15	ちょっと確認をしますすいません。
1:20:20	はい。補足です。確認していただく食うところで、言っておくと、仕様表であらうがなかろうが、結局、
1:20:29	業績方針としては言わなきゃいけないくて、そうすると説明をしなきゃいけないくてということで、
1:20:35	大枠としてはそんなに大きく違いはないんじゃないかなというふうに思ってます。
1:20:41	先ほど山口が言ったように、保管箱で水密性確保しますなんていうものは、何らかの説明は、
1:20:52	当然必要になるということだと思ってます。
1:20:55	防水シートもですけど、そうすると移動できるからって言われてましたけど、
1:21:02	被水最初に受けるものは避けようがなくてですね。
1:21:06	そうすると移動できるから大丈夫ですってという説明にあまり、
1:21:10	意味を
1:21:11	感じないんですけど、
1:21:14	何なんですかね。
1:21:26	はい。人間のイシダでございます。はい。おっしゃっていただいてご理解をして後は私の理由を説明したいかというところをちゃんと整理をしていければと思います。はい。
1:21:38	そうですね。耐えなきゃいけない環境条件があれば、それに対して平良委員と出席しないといけないというのはおっしゃる通りだと思います。はい。
1:21:50	はい。規制庁山口です。求め、
1:21:54	市政に対するボックスに対して防護するっていう機能を期待するのであれば、あんまり違いがわからなかったのもので、
1:22:02	ぜひよろしくお願ひします。
1:22:07	規制庁の千葉です。その他、この資料について、規制庁側からありますでしょうか。
1:22:14	成長課です。ちょっとだけ確認させていただきたいことがありまして 53 ページ目から、今回つけていただいた、
1:22:23	添付 2 で、
1:22:25	まず、上の、
1:22:27	上にある設備、これが再処理の第 2 回設工認でセキとしてエントリーするものなんでしょうか。

1:22:43	人間0社でございます。まず、おそらく全体を変えてうんじやないと思うので、家系統的というか種類別にもらったものを書いているだけの気がしますので、
1:22:58	頭を入れないなんなり、工夫はさせていただきます間違った情報にならないようにさせていただきます。
1:23:04	はい。わかりました。で、新設をすると、安重兼用と非安重兼用っていう分類があつて、これは
1:23:14	どういう意図で、こういうふうに一見分けた。
1:23:17	記載になつてるんですか。はい。SAの基本設計方針は局からもそうですけども、DBA防護対象施設以外の安全機能を有する施設だと。
1:23:29	いうところで、SEが何か言ってるかっていうと、
1:23:33	安重以外の違うな、あんティアンジュとは書いてあん以外の安全機能一律給水施設と兼用する、いわゆるSA設備はということでしたし書きで
1:23:47	代替措置とか
1:23:50	支障のない期間での交換とかっていう話になりますのでその仕分けをしようということで書いてありました。
1:23:55	はい、わかりました。安重兼用と非安重兼用の中に、結構同じものが入ってるんですが、例えば、今見ている買い手形成設備の静的の一番上、批判、
1:24:08	批判ジュケンヨウが排気サンプリング設備で集排気塔になっていて、その隣の安重営業の方にもあつて、下から2番目に入っていたりしてこれが、
1:24:20	その下の方、泣いて形成設備の動的の方にも開いていたりしてこれは、部材がそれぞれ関係するものがあるかということですか。はい、西田でございます。やっていただいたように、ちょっとどう書き上げたあれですけど同じ設備名称で、
1:24:38	いわゆる安全系統のものと避難所の系統になっているものがあります。耐震化は確か酢の物とCのものと、確か仕分けがラインごとにあつたはずなので、
1:24:47	それをもともとは言つてるところでした。はい。それを共通12とかで展開するときとかって何かイメージつついてますか。
1:25:02	はい。日本ニシダでございます。えっとですね、まず、
1:25:08	構造設計なりのところでの代表をどうするかっていうところですね、ここを上げるべきも多分検討なり、設備の構造なりの類似性をもって谷何らか代表を選ぶ。

1:25:20	これを、前からおっしゃっていただいておりますと、お話してるところ具体化できてないところが非常に弱いんですけど、DBとSAを合体した時に優しく、DBの代表にSAの
1:25:33	ものをオンする必要があるのかなのかってところも含めて全体整理が必要だと、いうふうには思っています。はい。はい。社長からわかりましたと、りあえず現状野瀬、理解しました。以上です。
1:25:50	規制庁の藤原ですけど、今のところその設備名称とかかかるっていうのが、同じ言葉で整理されてるのでもう少し工夫はされないんですかねその系統がわかるようにとか。
1:26:06	それは共通事業法で整理すればわかるってことですかね。
1:26:11	はい。ちょっと考えます。はい。
1:26:18	で作って、あれ、これ。そっか、設計グレードが高いところだけだっただ。
1:26:26	後者さぼってるから、事業所廃棄等が巢守たって書いて耐震クラスで出して欲しいと。
1:26:36	だよ、1個だけ。
1:26:39	ちょっと考えます。はい。
1:26:41	はい。規制庁の藤原です。
1:26:45	過去の資料で、規制庁側から、
1:26:48	なければ次の資料に移りたいと思いますので、原燃、説明をお願いします。
1:27:01	はい。日本原燃瀬谷でございます。それでは説明グループの設置に係る整理の考え方という資料をでございます。
1:27:10	はい。前回のやりとり踏まえまして修正をしたのは本文はですね、
1:27:22	どんな
1:27:24	組合グループの中での隅括弧の整理を、をどうしていったということで、
1:27:32	まず説明グループ1とそれ以外のもので全体進めていくところを、別添での1から3の仕分けも含めて全体像の整理をしているというのが、
1:27:45	2ページの文章でございます。プラス、
1:27:48	遠方今回幾つか足しているものが、整理方針、説明すべき項目の整理方針と言っているものが隅括弧の書き方のところの整理を、
1:28:00	させていただきました。本来同じ書き方ということだとは思いますが、やってる作業の違いそれぞれにつけさせていただいているので、八条外傷等36条と、
1:28:13	8条36条以外ということで福住加古の方で整理を、
1:28:19	方針を書かさせていただいて、追加をしたということでございます。はい。

1:28:25	あとは先ほどの新井さんからご指摘あったので4ページのところはもう一つ全体のゴールとの関係ですね、目指すべきところと、消費税の目的ということも含めてもうちょっと工夫をしながら、
1:28:38	定義をしていければと思いますそれぞれの四角がいつばいついて業関係とかもわかりづらいという形で、
1:28:44	進めます。
1:28:48	はい。
1:28:49	8ページ、これが
1:28:54	外部衝撃8条関係の隅括弧の書き方の
1:29:00	方針っていうかね、を書いているものです。
1:29:05	はい。
1:29:08	はい結局は、整理手順と2ポツで書いてあるもの、010に変えてみかこんところ、構造設計を確保する設計ということを書き方、評価対象加工計画とかですね。
1:29:24	あとはハザードイの名称を変えた上で、それに対する防護設計ということと、括弧書きで構造設計の内容がイメージできるようなキーワードを書くといったようなこと。
1:29:37	介護は、③番であるのが、対策設備、丸々設備の設計とか、対策の内容であったり、いうキーワードと、そのあとに、その設計ですと、いうことがわかるような書き方をすると、
1:29:51	いうことで仕分けをしています。はい。
1:29:54	対策セキュリティが③番ぐらいに、いずれか飛んでいくという形ですし、外傷関係のいわゆる侵入防止みたいなものだったりラクナル設計だったりというものが②番と、
1:30:06	いうこと、あとは構造強度そのものを確保する場合は①番というような分類なしということで整理を進めています。
1:30:14	はい。36条の隅括弧以前、非常に長い文章で書いてたものをなびくキーワード化するという作業とそれぞれのパターンでどういうふうを書くかということ整理したものが、11ページ以降についてです。
1:30:31	郷でございます。
1:30:34	17ページからが8条36条以外の整理方針ということになります。これ基本設計方針をブレイクしていったその中から、
1:30:46	基本設計方針でっていう内容から積み括弧を抽出するというやり方を踏まえて、どういうふうに隅括弧の記載にするか、ごとの方針を示したのが17ページでございます。
1:30:59	はい。
1:30:59	それでは、本文及び移転というのを追加したものでございまして、あと、

1:31:05	細かいこと書いたり章関係でいくと、
1:31:14	8 条関係のが 22 ページ以降についてますから、これは特段KEKないで、
1:31:23	はい、今関です。
1:31:25	そうか。今の隅括弧の書き方に応じて記載は修正してます。でもこれ青字にも何もあってもいいかわかんないけど、
1:31:38	具体的には 25 ページとかです。ね記載が青字になって継続に金括弧の書き方のルールに従った修正をさせていただきます。
1:31:51	の整理をしてということで 69 ページ以降の 36 条の扱いは全体含めて整理をさせていただきますが現状、
1:32:02	若干フェーズが合っていないところはどのようにしていくかも、考えさせていただくとタダ驚見加古を整理すると、いうことを説明グループの設定ではやりたいと思っていたので 70 ページ以降の表で例えば 71 ページのように、
1:32:18	記載をしていくということで、整理をしてございます。
1:32:24	はい。ただこの 71 ページも含めてですね、SAのシートは非常にわかりづらいんと、作っておきながら思ってたまだちょっと整理をさせていただきますと思います。
1:32:40	71 ページはまだわかりやすい方でございますが、これは足を
1:32:49	ちょっと非常に三つのグループに分けるときに、どこまでがその前のグループ説明グループ 1 の範囲なのか、赤字で貸してるSAがどこと関係するのかっていうのが、
1:33:00	後ろに行きますと非常にわかりづらい記載がありますんで全体、整理をして見直しをしていきたいと思っているところでございました。はい。
1:33:13	あと隅括弧の方で見てニイツは耐震とコラボをという話で、97 ページのところで、隅括弧の書き方アノんが決めた方針に確定、てにした形を書かせていただいております。
1:33:30	はい。
1:33:32	あとは 8 条 36 条議会在が、101 ページからでございます。
1:33:39	こちら委員会の
1:33:46	やりとりも踏まえまして、一つは、
1:33:50	溢水と課題の関係、イセ牛消火用水を利用料の件をどうつけていくかと。
1:34:01	ということで、現状は今、これまで規制側ともちゃんとコラボしながら最終形に持ってくつもりで考えてますが、
1:34:10	108 ページでるのは、いわゆる 2 年間の放水量みたいなものの溢水量ということは、イセイデカノウ仮置じゃないですけど余計に分として与えて液説明をしますと。

1:34:24	ただ評価設備の構造設計に関わるものについては、葛西グループ側アノグループ 4、
1:34:31	4 で説明をしていくという関係性の今整理についてを今、
1:34:38	絶対言えない。はい。
1:34:40	係長リンクオカないと。
1:34:44	はい。あと 115 ページの計装のところ、臨界検出器がもともと入って いましたけども、これ計装で出てくるというのは、臨界の条文からここに 飛んできて、
1:34:59	今、※3 で書いてあるstageのパラメータの把握の内数で、理解経営危 機の話の設計としては展開をするという整理かと思しますので、
1:35:10	越智永見警視にして、今健康が委員会から受けて、
1:35:17	あ、何とも、人材が飛ばしちゃうんだ、あれ、必ず飛ばすときは、受け側 も変えて、
1:35:23	133 ページ、委員会の方で係争板橋記載をしてますのでこれの受けを 係争にも書きたいと思いますが、133 ページの 4.2. 2 とかですね。
1:35:36	それで、系統設備側にその設備の設計方針は降ります。
1:35:40	いうことでリンクを取っていると、いうことでございます。
1:35:45	はい。
1:35:47	あとは 127 ページの大きいクドウ用燃料これすみません、こちらの手違 いでBを忘れてましたので、追加をします。
1:35:56	いうところでございます。
1:36:00	はい。購入整理をした結果として、最終的にもうすでに午前中呉ご出席 をいただいておりますので修正が必要ですが、
1:36:12	145 ページ以降に色で説明分類説明グループの説明が載っています。
1:36:20	具体的には、148 ページから、
1:36:25	がその対象になります。午前中に介護資料で受けた指摘については同 じように反映をします。
1:36:32	いうことを前提に整理を進めさせていただきます。
1:36:36	はい。
1:36:37	例えばですけども、148 ページの 1.2 主に向けた関係の話だったり、
1:36:49	を、
1:36:51	資料の建物構築物のところに入っている、重大事故大切にかかる構造 設計括弧位置的分散固縛等であったり、屋内で配管等に入っている重 大事故防災設備から構造設計括弧位置的分散
1:37:06	等であったり、何を説明したいのかがわかるように記載を、整理をして いくということ、あと 1.2Ssの話も今別出しにしていますけど全体コラボして ということであれば、それがわかるような趣旨の文書にすると。

1:37:19	言ったような修正をさせていただきます。
1:37:23	同じように、152 ページ以降の表をですね、ご検討いただいたご指摘を反映をしつつ整理をしたいと思います。
1:37:33	ちょっとやはり例えば、152 ページとかで、
1:37:40	大関グループで事業化の関連条文のところパーになっていて、別グループでというので展開をしておりますけど、これ安様とのコラボ、先ほどの
1:37:51	悪影響防止をどう整理するかでまたここ変わるので、あれですが、ああいうところで、ISAが絡んでくるという意味で、SAの条文との絡みで書いてますけども、
1:38:03	実際ここには本来あるべきものではなくて、実際はグループさん側で書かれるもの、ここで書くと多分百名グループ 1 の説明範囲がよくわかんなくなってしまうので、こういった整理をしないといけないもの。
1:38:16	やっぱり、その辺の、
1:38:19	違うウエダね、ニシズミが 100 アンリユウ 153 ページの溢水とか火災も同じでもともとここに書いていただかずにおかしくて、
1:38:29	本来の御説明グループ 2 の方に、改善 2 とか 4 で書いてなきやいけないような話がここに紛れ込んでいたということは、全体整理をさせていただきます。
1:38:40	はい。
1:38:42	あとは、
1:38:47	それを含めて、その最終的な説明グループの説明に持っていく前に、各条文の隅括弧を全部並べて、類型グルーピングをしているのが 161 ページ以降のように、
1:39:01	なります。ここでもそれぞれの隅角はどの説明グループに入るかということを整理しているんですが、
1:39:11	オオキはどこ行った。
1:39:17	結局は、
1:39:18	170 ページのうちの上が津波のところ、グループ 3 になってますけどこれグループ区域の間違い。
1:39:27	またこれ当然これも午前中の話であります、津波のところの括弧書きの屋外保管は意味がわからんのでこれは削りますと。
1:39:37	いったようなことですかね。
1:39:39	はい。あとは、
1:39:44	間違ってる、反映がうまくいってないのか。
1:39:50	まだ、大丈夫。

1:39:54	157 ページ、これはすみません、単純にアノミキリです。こちらですイメージチェックが 17. アノしさが見えてますので、次出すときはちゃんと 2 として出させていただきます。はい。
1:40:09	はい。説明は以上になります。はい。
1:40:16	規制庁の藤村です。
1:40:18	衛藤先ほど説明の中
1:40:21	に午前中の、
1:40:22	医療、
1:40:30	えっと後々この
1:40:36	整理の作業のイメージにあたりと、
1:40:43	修正に基づいて変更
1:40:47	に向かっていくに、
1:40:50	の中でどう整理していくかみたいなところは検討お願いします。
1:40:55	あと、これからの午前中は大枠での話ぐらい。
1:41:00	かなり
1:41:02	ザクツと言ったところの話だけだったので今後堤加古の清についても、細かい点確認していきますので、そういったところを整理するにあたって、
1:41:14	隅括弧の記載の仕方であたりとかいったところも、留意事項であたり少し方向が変わる場合には、その文章の部分等も修正なり、
1:41:24	こう考えていただけたらと思っています。
1:41:28	まず、
1:41:32	喜納展というか
1:41:35	各条文の説明すべき項目を、
1:41:39	160 ページ以降で整理されていて、これを、
1:41:44	午前中の、
1:41:46	指摘にも関係するんですが、目的が何かみたいなのところがあって、
1:41:53	例えば、説明すべき項目括弧詳細版、
1:41:57	その次の、
1:41:58	ところには要約版って書いてあるのに、何かその手を出してないような気が、ていうかそういう整理になっていない気がしています。
1:42:08	で、例えば、今もうすいません個別で言ってしまうと 160 ページ今見ていただけてますけど、
1:42:14	耐震のところ可搬型設備っていうのが詳細版でも可搬型設備と、
1:42:20	これは多分、耐震設計のことについての説明する話なんだろうっていうのは推測できますけど、

1:42:27	詳細版ではどういったことを説明したいのかっていうのをきちんと理解できる状況での記載をしていただいて、それを説明グループ1とかで整理されているその前の、
1:42:39	何ですかね、そこに入れるにあたっては、スペースの問題もあたり見やすさの観点もあたりするので、こういった言葉で、
1:42:49	束ねたりとかしながら、
1:42:52	何を整理、説明するのかっていったところを示していきますみたいなことを整理されていくと思うので、その点を、
1:43:00	全体的に実際できていない気がするので、
1:43:05	やっていただきたいんですけど原燃の認識としてはいかがですか。
1:43:15	はい、次のイシダでございます。はい。まず、161ページの可搬設備はおっしゃっていただいている通り何を示したいのかが、
1:43:26	これだけではわからないんで見直しを考えていきたいと思います。
1:43:31	それ以外の項目についても、基本、基本設計方針有給を踏まえた
1:43:39	すべき項目。
1:43:41	の輸出をやっているつもりではありますが、今一度そのイトウ目的との関係ですね、全体見て、整理をして、
1:43:52	させていただければと思います。以上です。
1:43:55	はい、規制庁の趣旨、
1:44:00	具体的に、
1:44:05	ないんですが、尾藤が、それまでのすいません、さっきの資料、SAの要求事項の整理の
1:44:16	整理を行っているところとちょっと重複している部分についての隅括弧の整理といったところは、先ほどの一つ前のところでの整理、
1:44:27	今後検討するにあたってこちらもリバイスされていて、共通12の方に向かっていくと。
1:44:35	いったところかなと思いますので、適宜整理をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
1:44:44	衛藤。
1:44:46	具体的なところでさっきの午前中の話で、すいません聞き漏らしたかもしれないですけど、津波のところの整理もしていただくということだったと思っているので
1:44:58	36条と7条35。
1:45:01	離れている部分についての整理を検討されるということかと思います。
1:45:07	はい。

1:45:13	はい、イノウエニシダでございますはい。ありがとうございます。おっしゃっていただいた 7030 条と 36 条津波は、セットで説明するタイミングは、わかるように、整理をさせていただきます。はい。
1:45:28	あと
1:45:32	わかりやすいのが 160 ページから以降の、各条で整理されている項目後で水追加された部分とかが後に整理されているので、
1:45:46	何だろう、まとめてもいいところが、分けて書かれていたりとかするのでその辺の整理もしていただきたいんですけど具体的に言うと 167 ページ。
1:45:55	166 ページの途中から 16 条 36 条の話があって、
1:46:01	整理されていってるんですけど、そこから六条 33、次のページですね。
1:46:07	六条 33 条みたいな話、操作性の話があり、またその中で 16 条 36 条っていうのも、
1:46:15	出てくるんですが、そういったところの整理もしていただく。
1:46:19	行けると思っているんですけどよろしいけどよろしい。
1:46:23	はい。日本イシダでございますはい。ありがとうございます。瀬下。
1:46:27	そうですねもともと 16 条 36 条があるところに、30、30 含めた調査店の話の全体追加をしたときに、前後と集合体のまとめ方も含めて、
1:46:39	整理をできればできるようにしていきます。はい。
1:46:43	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願ひします。で、166 ページから 167 ページにかけての 16 条 30
1:46:54	106、
1:46:55	いうのを一番最後
1:46:58	検査性代替設備により、
1:47:00	必要な機能を、
1:47:02	下、
1:47:03	研修っていうのが三つ書かれてる。
1:47:07	それとあと次のページの
1:47:09	最初の二つとの関係がよくわからないんですが説明いただけますか。
1:47:13	はい。二本木ニシダでございます 166 ページの最後は消し忘れですいません。はい。試験検査性だけがこの下、パートの枠の対象になります。はい。
1:47:25	規制庁の藤原。
1:47:26	衛藤。
1:47:31	詳細版の方にも、試験検査性しか入らなくて、
1:47:37	はい。はい。そういうことです。はい。はい。
1:47:42	規制庁の藤倉です。わかりました。いえ。

1:47:47	久慈。
1:47:48	書いてあるか。
1:47:51	内野。
1:47:52	維持設計ってあるんですけど、これって機能維持なんですか。
1:47:56	工程の停止は、
1:48:05	はい、宮城西田でございます。はい。
1:48:11	うん。
1:48:12	おかしな日本語ですね。はい。ちょっと整理をします。関連する工程を予定することによって、
1:48:19	機能維持、機能要求される状態から除外をするというのがももとの趣旨だとは思いますがはい。日本語の精査をしますはい。
1:48:29	はい。規制庁の藤村ですよろしくお願いします。
1:48:32	あと、先ほどの、
1:48:35	整理の中でも議論になっていた悪影響防止その下の、
1:48:39	悪影響防止なんですけど、ダイバー生産物のコールの悪影響防止の下の方にですね、これも結局前の整理だと、本番があったので、何が含まれているかがわかったんですけど、
1:48:51	ここに来ると、詳細版のアケイ希望しか書かれてないので、何を含んでいるのかっていうのがわからないんですけど、ここも整理していただけますか。
1:49:02	はい。乳井ニシダでございます先ほど一つ目の資料の整理を踏まえて、詳細ミナミカワ 2 番目ですね、この中で約金星何を含んでいるかと、いうことを明確にしていければと思います。はい。
1:49:17	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願いします。
1:49:22	あとそのページの一番下では、先ほど説明も少しありましたが、気になっていたのが、臨界の
1:49:31	臨界検知の
1:49:35	部分。
1:49:37	が、係争に振ってますと言っているんですけど他の事故条文とか、清野設備条文とかって、計装関係のものってそっちに振りはないんですか。
1:50:06	はい。ニューメディアでございます。はい。もう一度チェックはします。
1:50:12	鼻から計装の中に設備区分を入れて、全体を整理しているもの。
1:50:18	等、この委員会のように、移行対象との関係があつてそこに明示的にその設備を設置することを書いた上で、その機能自体は、設計自体は、係争になります。
1:50:33	いうことをやっているものがほかに、2 番目のケースがないかどうかをもう一度チェックをした上で、整理を反映できればと思いますはい。

1:50:42	清町の藤尾です。
1:50:45	おります。それは精査して、
1:50:47	係争の 20 条 47 条の部分の一つ目っていうのは、基本的にはその鳥羽氏が、明示的にされているのは臨界の分だけですけれども、民間しか
1:50:59	現状の譴責だけなんですけども、他も全部含むっていう理解でこの常設重要家。
1:51:08	費等の等に何が含まれているのかが一つしか書かれていないのでどこまで、
1:51:15	考えたらいいのかなと思ってるんですけど、あとそのもう一つの、
1:51:20	可搬型冷却ユニットと分けてで、これを出されている理由とかが、ちょっと理解がしづらかったんですが、ここの説明も少し補足していただけますか。
1:51:32	IPウエエダでございます計装のところは、重要機器は、重要経費と、何だっけな。
1:51:43	何か名称あって、重要計器と何か、大体定期だけ重要計器代替計器だっけ。重要計器のアプリなんか、もう 1 個ランクカナダなかったっけ。
1:51:55	だっけ。
1:51:59	キューツと、
1:52:01	一般にそれを見てわかったのは、
1:52:06	日本インダでございます。ちょっとそこは、はい。整理をもう一度しますこれですね。
1:52:15	おっしゃっていただいているのは、この事業契機には左側にある重要。
1:52:22	常設重要計器、常設重要代替計器、一連の流れのものを入れて書いております。
1:52:30	可搬型空冷ユニットと原因等六ヶ所等の機能設計という分けた理由は、この構成する設備のところでは、大枠、例えば説明すべき項目の抽出の考え方のところに、※3、
1:52:48	2 番目のポツに、全体の構成書いてますけど、設定方針を読んでいくと、もともと許可も含めてですけども、経費に対する設計と、空冷ユニット経営者等その付随のもの設計方針を、
1:53:01	書き分けていたので、そこを書き分ける形で鷺見加古分けたというのがもともとの考え方です。
1:53:08	はい。規制庁の藤原です。考え方はわかりました。今の説明すべき項目ではそれが理解できないので、その表現を、
1:53:18	わかるようにしていただきたいんですけどイマダと、物が書いてあるだけで、どういった分類をしているのかがわからない状況です。

1:53:27	なので計装するために必要なもの、
1:53:31	かけそっか、計装系で、当測定するために必要なものたちを、
1:53:37	分けているというのであれば二つ目の隅括弧はもう少し、どういったものを、こっち側で整理して説明するのかっていったところがわかるようにしていただきたいんですけど、よろしいでしょうか。
1:53:50	はい、ありがとうございますはい。計装で出てくるいわゆるAパラメータの収集、呉等に関わるメインの機器の話と、それをサポートする。
1:54:01	設備の設計というのを、分けているというような趣旨もですね、わかるような、角括弧の記載の、
1:54:08	考え方を整理していきたいと思います。はい。
1:54:11	はい。規制庁の藤村ですよろしくお願ひします。その上でもう一つ確認なんですけど、その一つ目のパラメータの把握に関わるっていったところは、情報把握計装設備の方もこちらに、
1:54:23	入ってくるっていう理解なんですか。
1:54:30	はい。日本イシダでございます。はい。そこはそうですね。この前も何か宿題いただいて、私からしていけない気がしてます。119 ページで加工で今、
1:54:42	4.3. 12 情報把握設備を含むと言ってますけどもこれと、計装関係での説明する範囲の整理をしておかないと、
1:54:53	またどこで何を説明するかというのが抜けが出る可能性があるんで、全体の構成をどうするか、やり方にしていれば、
1:55:04	どこを主軸にするかで、20 条、47 条を説明する時に合わせて、この情報ワークの系統設計なんかも含めて説明しますってやり方も、
1:55:13	できますし、そこが、
1:55:15	これは慣れないんで、野辺君は何だよ。
1:55:18	多分、
1:55:20	来年、
1:55:21	代表設備を抜けていく時にとか設計項目を目的にてやらないと、連結部、
1:55:31	それからどっちみち計装設備でいうコウノ計器の設計等、このシステム経済現状把握を含めた点検実施設計を、ちゃんと合わせ技で説明できるような構成にしておかないといけない。
1:55:43	そうすると、そうなる一方でどう対抗していくか。
1:55:49	はい。全体としての説明の流れを考えた上でこれで1も見てうまくしておかないと、後々面倒くさい部分なりそうなのでは、整理を進めます。はい。
1:56:02	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願ひします。

1:56:07	今回は、新しく作っている生活の勤怠の方で、
1:56:13	整理をしていたりとかするので、その
1:56:16	勤怠とかも含めてですかね、そのあたりの整理はしていただきたいと思っています。
1:56:28	はい、日本イシダでございます承知いたしました。
1:56:33	はい。
1:56:34	規制庁の藤原です。
1:56:40	あとは、
1:56:47	今、質問する項目忘れたのもしこの間で、何か規制庁側から確認事項ある方、お願いします。
1:57:02	規制庁からですちょっと軽微な話をし、各条文の説明すべき項目先ほどから話題に上がっていたところの 165 ページ目、
1:57:13	あたりから、
1:57:17	説明すべき項目の要約版の方にバーが出てきたんですけど、このバーってどういう意味ですか。
1:57:33	はい。与儀ニシダでございます。はい。これ右見ていただくとちょっとねグループ 2 だったり 4 だったり、まだ作業が追いついていないということでございまして、
1:57:44	現状のステータスからバーになっているということがわかるように、注釈を書きます。はい。
1:57:50	はい、蘇武です。だから、そこは詳細版と同じってということではなくてまだ整理できてないということですね。はい。はい。
1:57:57	はい、規制庁カセわかりました。で、あとちょっとメッシュ感というか、今回いろいろ説明追加いただいたところの参考を確認はしているんですが、
1:58:10	例えばですね。
1:58:16	グループ 1 なんかだと、もう一つの事象、その他解消なんかだと一つの事象に対して一つずつ、
1:58:23	整理しているものとか、
1:58:26	あとちょっと分けているものとかの考え方を教えていただきたいんですが例えば 164 ページ。
1:58:40	凍結の後コウがあって、凍結やコウなんかは、一つに、
1:58:46	要約版の方まとめていってそのあと降水なんかは、
1:58:51	二つに分けて、
1:58:53	括弧の方で少し明確化していると、ここは、
1:58:57	なんで、構成別に、

1:59:01	はい、日本イシダでございますこれは右側に行っていたかと、代表となる説明グループの通りグループ1に入っているところとグループじゃないってところで、協会があったので、その協会で、この括弧書きのところ、その協会で、
1:59:17	分けられる考え方との整合取ろうかなと思ったところでした。防水塗装みたいなものは、建物全体の構造共同の説明に合わせて、絶対クリックして説明しようかなと。
1:59:29	いうことを、巻頭文の一つは、溢水の貫通所で貫通部の設計と合わせてやろうということでグループの分類をしたのでそれに合わせた括弧書きと、
1:59:41	いうことで、整理をしました。はい、規制庁甲斐です。わかりました。その観点で、163 ページ目の、
1:59:49	一番下の落雷、ここはどっちもグループ1名に直線嫌いと間接ラインに分かれてるってというのはこれはやっぱり、やることが違うからとか、そういうことですか。
1:59:59	はい。日本イシダでございます。はい。おっしゃっていただいた通り落雷に対する防護設計と言いながらやはり経路が大分違うかなということもあって直営と監査ぐらいで分けさせていただいてます。
2:00:12	これも一緒にしても、結局、設計の中で分かれていくので、結果はインザキがしますが全体として、特に間接台側、我々としてみれば、ちゃんと説明しないってね範囲でありますので、
2:00:27	そういう意味で分けさせていただいてます。はい。
2:00:30	江藤家ですとりあえずと現状の考え方はわかりました。あと、航空機のところなんかにあるDB対象とか、ほかにもDB対象ってあと二つぐらい出てきたんですが、
2:00:43	そこはSEと一緒に説明するとキーに。
2:00:46	ここはDBの分だけですよっていうかそういうことを示したいのかなと思ったんですがそういう理解。はい、宮でございます。BB対象という言い方をしておいて、
2:01:01	それがAD学ということをお願いしたいと。
2:01:05	ちょっとこれも書いてる人がわかるような日本語にできればと思います。はい。現状は新規のものがDBだけだといったようなものも含めてその違いを明確にしたいという思いで、
2:01:17	加古和氣を開催しますはい。
2:01:20	はい、規制庁コマツちょ。
2:01:23	わかりました。で、あと、SA関係で、
2:01:27	167 ページ目ぐらいから、

2:01:32	作業量を含め、
2:01:33	というふうにも入っているものがあるが全、これ全部ニコスよりを含めて書いてるんですけど、これは、
2:01:41	詳細版の方ですね、これ、これは
2:01:44	何か当たり前の話としてもう書かなくていいとかそういうことでもないんですか。
2:01:51	家田でございます。はい。
2:01:55	うん。
2:01:59	はい。
2:02:00	これは何でしょう。先ほどの1個目の資料との関係も含めて整理をします。個人的には、当たり前だと思ってます。はい。
2:02:11	はい、規制庁カシマアノとりあえず理解しました。
2:02:14	ちょっと私から軽く以上。
2:02:18	古作です。
2:02:23	とわからなくなったので、
2:02:25	確認をすると。
2:02:27	先ほどのグループが違うの
2:02:34	どこまで説明するのかを明確にする必要があってカッコ脇を書いてますというのは、理解はでき
2:02:42	方針を理解できるんですけど、
2:02:44	164 ページグループ2に振っているっていうのが貫通部止水処理等ということに、
2:02:53	なっていて、生物学的事象も同じG
2:02:58	状況なんですけど、
2:03:00	これって何でグループに振ってるんですしたっけ。
2:03:19	日本イシダでございます。だんだん私も不安になってきました。
2:03:25	簡易数分の水を止めるという趣旨で、左側で行く進入防止、
2:03:32	時ってこれ進入防止のシーンも、
2:03:34	分類の新じゃない。
2:03:36	違う。
2:03:38	ということの趣旨でいくと、
2:03:42	屋外水に対する考慮と同じだと、いう趣旨で、もともとグループにつけようということでした。
2:03:53	とはいえですね、製造、託児所と一緒にグループ2って言われると、何か不安がしかないな。はい、小阪です。おっしゃる通りでして、
2:04:05	かつ、そこはグループ1で説明したとしても、溢水関係についてはグループ2で合わせてというこ等で、

2:04:14	言えはよくて、うん。
2:04:17	なんかグループ 2 に入るカラー式っていうほど、グループ 1 で説明しても困るってことじゃないと思うんですよね。
2:04:26	はい。
2:04:28	午前中にも道道の話でもありましたけど、
2:04:31	南海、
2:04:33	グループ 2 のところでいすよっていうのに引っ張られすぎてる気がするので、なるべくグループ 1 で説明するものはして、ただ、水の関係のクローズするのはグループ 2 でっていうことでもいいと思うんで、ちょっと、
2:04:50	少し軌道修正してもらえるといいかなと思います。
2:04:53	はい、日本インダでございます。はい。集計いたしました。そうですねグループ 1 で、建物構築物の構造設計なり何なりを説明するといったときにはやはり、
2:05:04	この中である程度説明する範囲ってのは限定せずに、大枠でちゃんと説明していくと。
2:05:09	ということかと思うんではい。趣旨は理解をしました整理を進めます。はい。
2:05:16	はい、相澤です。あと大枠としては、機能設計というのと防護設計ということで、趣旨がわかるように言葉じ。
2:05:27	使い整理をしているところだとは理解しつつ、先ほど機能維持設計という表現だったり、
2:05:35	あとは
2:05:38	材料構造の辺りとかで、強度の確保と、
2:05:43	いうところで止まって、
2:05:46	五つか半になると確保する設計といたりといったところのぶれがあるのはどうしていくのでしょうか。
2:05:55	はい、梅田でございますはい。構造強度と、共同設計、
2:06:02	強度確保、
2:06:03	前回やりたいことが、あの映像が同じようなもので、日本語の書き方が違うのやっぱりおかしいので、統一できるように整理をしていきますはい。
2:06:15	あと全体的にそうですね。日本語の無礼というかユーザー気があるもの、考え方がどっかで何かおかしくなっていないかっていう視点も含めて見て、
2:06:25	記載がちゃんと統一的になるように、今一度整理をさせていただければと思います。はい。
2:06:33	はい、蘇武ですよろしくお願いいたします。

2:06:37	強度の確保っていうのでは比較的理解できるんで、無理に設計とかっていうので統一をしなくてもというふうには思います。
2:06:47	一方で機能設計とか
2:06:51	イトウを通じさせるために統一した方がいいというものはし、先ほど残す容量をどうすんのっていうことも含めですね、整理していただければいいし、その用語の中にはこういう意味を含みますっていうのを、
2:07:03	最小なり注記なり、定義入れておけばいいんだと思って、整理をしていただければと思います。
2:07:12	はい、日本インダでございます承知いたしました。
2:07:17	規制庁の藤原です。
2:07:19	161 ページ。
2:07:23	ところを見ると、耐震の部分で、グループ 3 での説明があるんですけど、
2:07:29	これってどういう説明があるんでしたっけ。
2:07:49	はい、米田でございます。ちょっとこれもみんなエビナ気がしますので、全体整理をします。原料はどうも
2:07:58	SAの新設、新規号のSAAは機能との関係でということで、耐震をグループさんに送っているようですけど、
2:08:08	全体の建物構築物屋外機器配管屋内機器配管を受けてきたときにそれがグループ 1 か 2D、多分耐震関係の整理ができる。
2:08:21	いうことを前提に多分全体整理をしないといけないんじゃないかなと思いますので、ここは、中身を見ながら整理をさせていただきます。はい。
2:08:31	はい。規制庁の内村です。これまでのヒアリングでもそういった話があった。
2:08:39	コサクです。それで言うんですけどね、新規物はっていうこと言ったら、第一グループ位置に勤怠は入らないはずですけど今回説明されますよね。
2:08:49	はい、おっしゃる通りです。
2:08:51	はい。コサクですなので、後じゃなくて、あくまで耐震なり何なりっていうところ、こっちの方で言えばグループ 1 なりになり、やる。
2:09:02	ものであって、そのうち機能については、グループさんに送りますということでしかないんじゃないかなと思います。よろしく願います。
2:09:12	はい、家田でございます。はい。ありがとうございますその通りだと思います。整理を進めます。はい。
2:09:19	規制庁の有井です。あと、156 ページとか、この全体的な整理の中で、別グループで説明を行う項目が消えていくのかもしれないんですけど、
2:09:32	さっき少し前に確認した、16 条 36 条の部分の工程停止だったり代替設備のところの記載が結構

2:09:43	こうハチャメチャな気がしていて、
2:09:46	消えていくので、とは言いつつも、今後、グループ進めていくと整理されると思いますので、例えば 116 ページのところなんかは、
2:09:57	16 条 36 条の一つ目の矢印の 1 個上に、工程停止があつて、矢印の幾つか下にもあつて説明グループを分けようとしてたのかもしれないですけど、
2:10:09	そういったところの整理が後での一覧表とずれているといったところもあるので、残っていくところについては確実に整理をしていただき、また今後整理していくところについてもきちんと、
2:10:21	精査していただけたらと思っていますがいかがでしょうか。
2:10:26	はい、日本イシダでございます。はい。承知いたしましたはい。全体の並びであつたりということも含めて、残るところは、記載を整理をします。
2:10:36	ということで、先ほどおっしゃっていた 16 条の関係、今回 1 回外してということで、グループ 3 の時には、整理をする必要があると思いますけどそんな時にはちゃんと整理したものをお出しをします。
2:10:49	ということで進めさせていただければと思います。
2:10:53	規制庁の塩原
2:10:56	宗。
2:10:58	52 ページからでのこのグループイチノセの中で、後で追加されたところに多く散見されている気がするんですがその隅括弧の中で、どこで代表を示すかみたいなの。
2:11:10	グループ 1/31 とかそういったものの何か注書きがないところがあつて、例えば、155 ページの可搬型設備については可搬型設備、
2:11:21	だけで角加古が終わっていたりとかしますので、他のこういったものが、
2:11:26	あります 153 ページも、8036 条のところの対比等による機能維持設計のところも、どこでっていう話が、
2:11:36	見えなかつたりとか、そういうところがあるので綺麗にさせていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
2:11:50	はい。はい。はい、どうぞ。すいません日本の石田でございます。全体ルールをちゃんと整理をして、
2:11:59	統一感を持ってやります現状は他のグループで代表飛ばしたり他から飛んでいきたいというものはこの代表との関係を変えたりと、
2:12:10	いうことを関連する、グループを変えてみたりということをしてますが、そういう関係がなくてここで多分クローズするようなものであつたりは特段書いてないというのが現状ですけどそういったことのルール等の関係も含めてちゃんとなってるかと。

2:12:25	いうことを今一度整理をさせていただければと思います。はい。
2:12:31	規制庁コサクです。ちょっと今頃で申し訳ないんですけど、グループ 7 の説明項目見ると、何でなのって思うのが幾つかあって、
2:12:44	要領とかの説明は機能の説明っていうの先ほどのSA設備なんかは
2:12:51	オノとしてはグループ 12 で登場させつつもグループ 3 で説明しますと。
2:12:56	ということなのでグループ
2:12:59	ティービーのその他変更みたいなものはグループ名でっていうのは理解できるん。
2:13:04	ですが、
2:13:05	先ほど少し話になってるので、
2:13:08	検査性、試験検査性みたいなのは、
2:13:12	7 で説明しようとしたら、
2:13:16	全設備、
2:13:18	脳死
2:13:19	元検査性の話をドンと出さなきゃいけないって感じなり系統構成なり、構造設計っていうことで説明をすることになるので、
2:13:30	グループ 1 に基本的に触れちゃったほうがいいんじゃないかっていう気がするんですけど、どういう考えでしょうか。
2:13:45	はい。二本木ニシウラでございます。現状はちょっとグループ名ナカというところが若干確かに本当にそこまで引っ張るのっていうのは、例えば SA系と、
2:13:56	機能設計を説明するときに、系統構成なり、試験検査性も含めた機能設計に説明するのであれば、グループさんでやらないといけなくてそこで、例えば、
2:14:08	代替する側のもとのDBとの関係はどうなのかという説明をしようと思うと、そこに 16 条も引っ張られて、グループ 3 でやるっていう、
2:14:18	整理もあるかなと思っておりましたがおっしゃっていただいたグループー井の関係は、先ほどあった全体の系統構成だったり、構造だったり、ということ、程度グループ一次全体を枠示していくんだと。
2:14:32	いう考え方にした時になったときに、立ったときですね、そこはもっと前の方で説明するんだよねっていうところは整理が必要だと思いますので、今一度その観点での整理をさせていただければと思います。
2:14:47	はい、そうです。
2:14:49	あまり上流からの、
2:14:52	ことだけにとらわれずにですね実際に共通 12 の資料 3 を作るにあたり、なるべくその合理的に、一体として説明できるというのが

2:15:03	今回の整理の肝だと思うので、その点で考えていただいたらいいかなと思います。それで言う等を、
2:15:18	ほかにグループ 7 ってどんなのがあるかなあと。
2:15:22	いうので、少しざっと見たんですが、
2:15:27	等、
2:15:29	冷却塔、移設する冷却塔っていうのもう
2:15:33	オクがいい設備ということで、
2:15:38	通常で言えばグループ 1 に入ると。
2:15:40	いうことなんですけど、グループ名に飛ばしてこれは、
2:15:46	グループなの。
2:15:47	がいいんですかね。
2:15:55	そもそもこれわあ、
2:15:57	新たなもので本当は早めに分割で申請されて、建設に着手したいっていうふうに、本来の分割であればなるはずなんですけど、はい。
2:16:08	一つはまず、グループ名に入っているのは今回代表も含めた一連の説明をどうしていくかといったときに、竜巻でいうと、
2:16:23	崩壊熱に対する除去に対する影響云々ということを考えた時に新設の冷却当店はその子、関係、
2:16:32	検討してみれば屋外の、
2:16:35	ミキ配管室屋外機器として、そもそも今回十条での関係ということも含めて、全体の説明の枠に入れないと、完結しないっていうのも多分あると思うので、
2:16:46	そういうものも含めると、グループ 7 はちょっと遅いなという気がします。はい。そういった意味も含めて全体の整理をしていければと思います。はい。
2:16:57	はい。補足です。よろしくお願いします。
2:17:02	ほかに。そうですね。グループその関係でグループ 7 というのが、各条文散らばってる。
2:17:10	ところがあるので、そういうのを整理されると大分前のグループの雑多にいっぱいあるけど、本当にどうすんのっていうコメントあったと思うんですけど。
2:17:19	今言ったところを対応すると、比較的絞られて、そのその他変更の機能に関するということになってくんじゃないかな。
2:17:29	思ってます。
2:17:32	新田変更の関係でいうと 167 ページの第 16 条の部分、試薬貯層地下化、

2:17:43	いうのも、これもどちらかっていうとグループ一位で外部衝撃に対してどうこうというこ等で説明された方がわかりやすいような気がするんですけど以降です。
2:17:58	はい。日本原燃志田でございます。今おっしゃっていただいて、もともと地下化にした発端は何だと言われた外部衝撃の航空機墜落火災か何か発端の安全、
2:18:09	その関係も含めて地下にあることによってというか影響がないっていう、NTAの説明の中で、これをやってしまえばですね、グループ1の中で十分上乘せ。
2:18:19	名刺出るかなと思いますので、全体、そういう意味で、整理をしていければと思いました。はい。
2:18:27	はい。補足です。
2:18:30	等細くなっちゃって申し訳ないですけどあと1点だけ言うと、
2:18:35	169 ページの海洋放出管、
2:18:40	これは、
2:18:43	系統構成変えるっていうことだったと思うんですけど。
2:18:51	あれですかね機能に関係するからグループなのっていうことなんですかね。
2:18:58	ニューメディアでございます。これMOXとの繋ぎのところの系統ですね。はい。
2:19:14	全体の構成としてみれば、
2:19:17	企画課、
2:19:19	柳沼って、
2:19:20	またて何かなんかそこは1、12月、
2:19:23	タテはナカの決定は、
2:19:25	何か一緒にやったら終わりや、ああじゃないか、だからこそ徳田してやったら、何か、
2:19:35	梅田梅田とよって俺が言っちゃ駄目だけど、
2:19:38	はい。ちょっと全体ですねこれもそうですね。はい。何かとの関係で、
2:19:43	説明グループの磯ババン中に説明するんであればできるような形もあり得ると思うので、定義。はい。
2:19:52	はい。
2:19:53	私から以上です。
2:19:56	規制庁の藤原です。
2:19:58	もう1点165ページの、
2:20:02	一斉のところなんですけど、水のところだけ修理による機能維持設計ってあるんですけど、他の事象に関してはないんですけど。

2:20:14	すいません人間でした。何ページ、165 ページ、
2:20:20	一番、
2:20:29	ちょっと待ってくださいね。
2:20:42	それだけではない。日本のシェアでございます。ちょっと全体確認をして整理しますあれですね、逆に言うと、
2:20:52	163 ページとかの予備費、それは違うのかSA単独の話か。
2:21:00	大丈夫だよ。これ一緒じゃないっすよっていうか、だから 165 ページのかぶってんじゃない、予備費にヨリキドイ設計と、主任。
2:21:11	そう。ちょっとまだ、
2:21:15	ちょっと全体見てはい。整合とりますはい。
2:21:19	規制庁の藤原です。はいよろしくお願ひします。はい。
2:21:27	あと、規制庁のムタグチちょっと。
2:21:40	ところ
2:21:45	全部、
2:21:47	いくつかにだけ当ては
2:21:54	前に本郷モンマ
2:21:58	税務的確認書も、
2:22:00	合間には、
2:22:03	Aは生物学的事象、積雪構成以降、凍結まではみんなですよ。
2:22:11	はい、上西でございますこのページで首都凍結から生物的学あい、
2:22:18	沿岸イマダ塩害までですね、一緒、全部コウに入る感じ。はい。
2:22:25	規制庁の藤村です。はい。一応理解はしてて聞いてたんですけど、詳細版のところではそういうのはわかるようにしておいて、これらに対する
2:22:39	まとめるときにはこういう言葉で整理しますっていうふうに
2:22:42	がいいのかなど思ったので、
2:22:50	はい、与儀ニシダでございます。いたしました。
2:22:54	規制庁の橋村です。この資料について、僕は、全体として、規制庁側から何かありますでしょうか。
2:23:11	規制庁の千葉です。ないようですのでここまでの振り返りはこの続きのままいけそうですかそれとも 10 分ぐらい休憩とった方がいいですか。
2:23:35	はい。与儀ニシダでございます。十分ほどお時間いただけますか。
2:23:40	はい。規制庁、小倉です。では湖西 15、
2:23:45	殺処分再開ということで一旦録音停止
0:00:00	規制庁のフジムラです。
0:00:02	それでは日本原燃から、本日のヒアリングの振り返りよろしくお願ひします。

0:00:09	はい、与儀西田でございます。まずSAの要求事項のステージでございますが、まず、
0:00:17	今日の2番目の資料との関係ですね、全体の作業の流れと、最終的なゴール、あとそれぞれのアウトプットの目的とか、
0:00:28	いうのも含めて全体を整理するという宿題が一番大きな宿題かと思えます。そういったことをやってそれぞれの資料での役割分担というのを明確にしていきたいと思えます。
0:00:40	はい。
0:00:43	あと資料自体でいきますと、一つは、
0:00:50	3ページであった悪影響防止の整理ですねこれを、全体通して整理をしないといけないと、16条8条とか他の条文等36条の関係と、
0:01:02	いうことの整理があったと思えます。はい。
0:01:06	あとは
0:01:09	4ページで言っている外部火災関係の整理、特に5ページ、船舶事故も含めた
0:01:19	影響評価に包含されると言っているもの、これの考え方ですね、をちゃんと整理をして、影響評価に包含されるという日本語自体あんまり適切ではないので、
0:01:30	全体整理をして、どういったことを追加で考えなきゃいけないかに対してどういう意味で、ことを考えて、影響があるじゃないやということ考慮する必要がないのかどうかということ全体整理をしていくということかと思えます。
0:01:45	はい。
0:01:48	5ページからの3ポツの話の、特に7ページの表を、に至るまでのまず流れ。
0:01:56	しっかりと整理をしていくということ。特に7ページのところは、今、重大事故の発生の要因とならない外的外部次長鬼頭と重大事故の発生の要因となる外部衝撃等及びその随伴でしょうと。
0:02:10	分けていますけどいわゆるこれが、表で添付でいう丸野※1※2の関係だということも前提に全体整理をしていくと、いうこと。あとこの整理等、ちゃんと別添側も紐づくように、
0:02:24	定義をさせていただきたいと思えます。
0:02:27	はい。
0:02:29	あとは、全体に言葉の使い方、書いてることの趣旨がわかりづらいところの修正が必要な点が多くあったと思えます。手の届く範囲とかいろんなことを言ってますが、

0:02:44	これが全体の目的設計行為に対してどう関係するのかということをやんと認識して、記載を整理をしていくということ。
0:02:53	あとはSN防水シートとオカモトの件も、設計上の考慮をどうということをするのかという認識を持って、記載の整理をしていくということかと思いません。
0:03:08	うん。
0:03:09	あとその入賞と、14 ページの文章ですねこれも前の方の文章との関係も含めて、教育委員会の中での留意事項アノジンボミキの考え方。
0:03:20	は、記載の整理が必要な部分かなと思ってます。
0:03:25	14 ページにいくと2 ポツのウエキ部署竜巻のところをひもづける先のところの整理ですね。
0:03:31	本当は内部発生したんだというその他のウエキのところ、これの紐づけの仕方、
0:03:36	直接的に、16 条というのを直接的に関係する条文に紐づけていって、16 条が同じように整理をしていくということも含めて、コラムの仕方を考えると、
0:03:47	ということかと思えます。はい。
0:03:49	あとは、3 ポツのところも、上から3 番目のポツ、言いたいことが言い表せないところは文章の修正が必要だというふうに思っております。
0:04:02	はい。
0:04:05	はい。それが一つ目ですかね、事業の議会でございます。
0:04:12	二つ目の説明グループの方は、ちょっと全体的には先ほどの資料と同じで全体のタスクの整理ということをやらないといけないということ。
0:04:23	あとは、それぞれの説明の、特に括弧の書き方の整理をやっておりますが、これは関係性を1 度、
0:04:33	その別紙の表で、後ろの方の表の中でシライたご指摘を踏まえて、一般のフィードバックが必要な部分があると思うので、呈したいと思いません。
0:04:44	はい。あとは、別紙。
0:05:00	アベベッショニワれたんですね。
0:05:09	これ関係ない。
0:05:16	何だっけ。
0:05:19	生まれるんだ。
0:05:26	青井サンポいいや。
0:05:29	はい。すいませんでした。別紙3 ですね。
0:05:36	委員会検知器アノ八条 36 条以外の整理で、向井建設、

0:05:41	オオノ、A系の計装との、2回の事故も条文の関係のアカセのところは見積もってますし、それ以外のところも、
0:05:51	こういった関係のがないかということは今一度チェックをしていく。
0:05:55	ということかと思えます。はい。
0:05:58	あとは、
0:06:02	2. . .
0:06:04	制定の表、これが一番ご指摘が多かったですが、
0:06:14	松波とか午前中のやつを踏まえて修正しますという項目は基本的に当然修正をしていくということと、
0:06:24	それ以外には
0:06:26	堂本に書いた詳細版と要約版と、これは正解版という9番の趣旨をちゃんとはっきりさせて、それぞれ記載を整理していくと、
0:06:39	重複してるところもあつたりするのでその整理の仕方を考え、
0:06:44	ということかと思ってます。
0:06:46	あとグループ1とグループ2で分けるために記載を、括弧書きで修正してたりしたものがありませんでしたが、これそもそものグループの中でどこまで続き説明するかということも、整理関係あるということで、
0:07:00	関連して修正が入ると思います。
0:07:03	はい。
0:07:05	あとは言葉としては、
0:07:09	あかねで関連する構造停止のうちの維持とか悪影響防止で何を対象にしているかわからないとか、というような記載の整理をしていかないといけない部分は、多々あると思いますので、あわせて指摘いただいた部分だけじゃなくて、
0:07:25	項目も前回にさせていただきます。
0:07:28	はい。あとは、Aが最後に話のあったグループ名に落ち込んでいるもの、これもAグループ1Bの中で説明すべきものっていうのが本来あるんじゃないかと。
0:07:41	この点の整理を進めて、全体のグループの説明の方針を整理につなげていければと思いますので、引き続き検討をさせていただきます。
0:07:51	はい。
0:07:54	はい。以上です。
0:07:56	はい。規制庁の内村です。一つ目のSA19事項の整理のところでは、この資料とかのリバイスとかっていうところとか、
0:08:07	ずれるかもしれませんが、安定し上昇のない期間っていうのは、検討していくというお話があって、それはよろしく願います。

0:08:15	はい。弓削志田でございます。承知いたしました。はい。理解をします。はい。
0:08:22	規制庁の藤村です。どっか振り返って九州側から何かありますでしょうか。
0:08:29	とコサクです。今回の振り返りの内容ということじゃないんですけど、
0:08:34	今日のヒアリング呉の中で、前か振り返ったことが適切に反映できてなかったってことがいくつかあったと思うんですけど、
0:08:45	それって振り返りBで、
0:08:50	の有効性っていうのを疑われる感じになるんですけど。
0:08:55	今回の振り返りで、そういうことがないようにできるのかと。
0:09:00	というようなこともあり、今日の振り返りでは画面共有なかったんですけど、
0:09:07	どういうふうになってるかっていう実情を教えてくださいませんか。
0:09:13	はい、与儀西田でございます前からもそうですねこれを
0:09:21	精度を上げていかないといけないと確実に抜け漏れがないようにということで、前も振り返りをするときに、メモを作ってもらったやつを見ながらもう私がその時にやりとりした内容を踏まえて、付加価値をつけて説明している内容
0:09:39	それも含めて振り返りのメモに反映をしつつ、全体、抜け漏れがないように、チェックをしながら、資料に反映をしていくということを、
0:09:50	あと文字起こしみたいなものを作ってですねその振替メモとの関係を含めて抜け漏れがないかというチェックをして、
0:10:01	資料へのフィードバックをかけていくという作業を、
0:10:05	実際やらないといけないというのが現状認識ですか。なかなかうまく追いついていけない、回ってないというのが先ほど岡さんから1趣旨が違うと。
0:10:16	ということでご指摘をいただいたものに繋がっていると思います。今一度ちょっとやり方も含めて整理をして、そのときにやりとりをした内容が適切に資料に反映されるようにするためにどうすればいいかと。
0:10:30	その中で再度議論をして、やり方の整理にしていければと思ってます。はい。
0:10:38	はい。コサクです。よろしく申し上げます。で、
0:10:43	過去で言うと、
0:10:46	どうしようもなくなっているようなものについてはコメントリストとして提示を受け、その対応方針も確認してということで、認識共有を図ってきたところですけど。

0:10:59	どこまでやる必要があるかということにはなるんですがあまりそのヒアリングでですね何度も同じように、どういうということだと、そういった対応に移行してもらった必要があるかなと思う。
0:11:12	てます。資料としてはそんなところですけど、体制というか、取り組みの状況でいうと、
0:11:22	Steeringチームの人が、
0:11:26	祝一井フォローしない等、対応できないっていうのでは、やはり回らないんで、
0:11:33	振り返りで、このメモに起こすという意味は、
0:11:38	Steeringチームで考えていることというのが、サポーターなり人事部にしっかりと伝わるって
0:11:49	それーが実行された状態でレビューに入れると。
0:11:54	いうことにするためだとも思うので、
0:12:00	特に
0:12:02	振り返り時点の目も十分でないというようなものについては、
0:12:08	早期にちゃんと認識共有を図れるようにしておく。
0:12:12	いうことが必要ですし、こちらと認識が合わなそうな部分っていうのは、この場でちゃんと文字、その場でメモを修正するなど、
0:12:23	というようなことも含めて対応いただく必要があろうかなというふうに思いますので振り返りの運用も含め、
0:12:31	また検討して次回対応いただければと思います。
0:12:34	今回で言うと、
0:12:37	さすがにSteeringチーム呉の特に石原さんなんかの人シキイが、
0:12:44	ぶれていたということは、
0:12:47	どうですかね。
0:12:48	何か。
0:12:49	一部分少しずれてたような気もするんですけど。
0:12:52	石原さんの認識をしたらどうですか。はい。与儀ニシダでございます。私も記憶がハヤシかったところありますけどはい。申し上げてることは以前と変わってるつもりもないですし、
0:13:05	船舶事項のところも、今から考えれば、その時ですね、岡さんとのやりとりをして、確かにその病院として考えるべきかどうかということも含めて整理が必要だと。
0:13:18	いう発言をした記録もありますので、そういったところをしっかりとキャッチアップして、資料に展開してもらったということになれるようにですね、つなげていければと思います。はい。
0:13:29	はい。補足です。それで言うと、言われたら確かに遠い。

0:13:34	前回そういったなんていうことであれば、それがちゃんと文字起こしされていれば、さすがにチェック漏れはなかったと思うんですけど、その前段での作業漏れもなかっただろうと。
0:13:47	ということだと思うので、やはり、
0:13:50	メモ起こしをですね、しっかりとすると。
0:13:53	いうのをその場でやればいいしやれなかったものは、その日のうちに対応しておくということかなと思って、引き続きよろしく申し上げます。以上です。
0:14:05	はい。日本原燃石田でございます。はい。ありがとうございます承知いたしました。
0:14:10	規制庁山口です。他は全体を通して規制庁側から何か確認ありますでしょうか。
0:14:18	原燃側も特によろしいでしょうか。
0:14:23	はい。特にありません。
0:14:25	はい。それではこれで本日のヒアリングを終了しますので録音を検診